

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
1	北海道	北海道	北海道特有の歴史文化を活用したインバウンド交流施設整備事業	北海道の全域	「北海道」と命名されてから150年目を迎える平成30年に向け、北海道の歴史や文化を活用したインバウンドの受入体制を強化するため、北海道開拓時代の「村」を再現し、建造物は外観だけでなく、内部まで詳細に再現し、展示している「北海道開拓の村」をインバウンドの交流・体験施設としてリニューアルすることにより、外国人観光客500万人の達成を加速させることを目指す。
2	北海道	北海道	輸出拡大に向けた食のイノベーション強化プロジェクト	北海道の全域	全国的にも稀な民営による公設試である北海道立工業技術センター(以下単に「センター」という。)は、函館地域に集積する研究機関等と連携した研究開発や、有力な地域資源である水産物など、道産食材の国内外への売上拡大に向けた企業等に対する技術支援を行い、道産食品の輸出目標1,000億円(H30)に貢献し、地域経済の活性化及び雇用の増加につなげる。
3	北海道	北海道	女性が輝く農業人材育成施設整備プロジェクト	北海道の全域	農村女性は、農産物の生産や経営面だけでなく、女性の視点を活かした農作物の新たな加工方法や消費者との交流等、様々な場面で役割が期待される一方、北海道は、他県と比べて女性の就業人口が低い状況にあり、特に39歳以下の若い世代では女性の割合が少なく、女性就農の拡大と地域への若い女性の定着が課題となっている。 このため、先端技術等を活用した農業研修を実施するために必要な研修交流・宿泊施設を整備し、北海道農業の担い手確保や高付加価値で収益性の高い農業経営を目指す。
4	北海道	北海道	アートでつながるミクスチャー空間創出事業	北海道の全域	三岸好太郎美術館を大人も子どもも楽しめ、地域の物産も購入できるアートツーリズム施設として再構築するとともに、道内の美術館の作品や関連する特産品等を展示・販売することにより本美術館をショーケースとして国内外に発信し、入場者の増につなげる。また、美術館を核とした広域観光周遊ルートの形成も進め、外国人観光客等の増加を図る。
5	北海道	札幌市	ICTを活用したアイヌ文化発信の空間整備事業	札幌市の全域	地下鉄さっぽろ駅コンコースに、通行人や観光客など多様な人が滞留・交流でき、新たな手法でアイヌ文化を発信する「ステーションミュージアム」を整備し、これまでの移動の通過点ではなく、アイヌ文化発信の導入口として、様々な情報が得られる空間を形成するとともに、ビッグデータなど先端技術を活用し、関係情報はもとより、属性等に応じた観光や市政情報を届けることで、案内機能を強化し、市内・道内の観光振興につなげるほか、人流・属性情報を分析することで、物販への誘客や商品開発などマーケティングにつなげていく。
6	北海道	小樽市	建築ストックを活かしたリノベーションシティ・小樽	小樽市の区域の一部(手宮地区、中央地区、山手地区及び南小樽地区)	市指定歴史的建造物「旧寿原邸」においてリノベーションスクールを開校し、本市建築ストックの再生を図るための拠点として活用する。市内中部地区に所在する空き家や「旧寿原邸」をDIY講座・修復実習の題材としながら、修繕済みの空き家については「小樽市空き家バンク」への登録を進め、移住フンストップ窓口と連動し移住希望者とのマッチングを行なうとともに、「旧寿原邸」をお試し移住施設としても活用する。また、「旧寿原邸」においてリノベーション作業も常時公開し、建築ストックの有効活用を国内外に発信する。
7	北海道	帯広市	体験・滞在型観光推進施設整備計画	帯広市並びに北海道河東郡音更町、土幌町、上土幌町及び鹿追町並びに上川郡新得町及び清水町並びに河西郡芽室町、中札内村及び更別村並びに広尾郡大樹町及び広尾町並びに中川郡幕別町、池田町、豊頃町及び本別町並びに足寄郡足寄町及び陸別町並びに十勝郡浦幌町の全域	帯広市を含む十勝エリアは、雄大な自然環境や基幹産業である農業から生産されるおいしい「食」など、この地ならではの観光資源に恵まれている。しかし、このすぐれた地域資源を十分に活用できておらず、十勝が観光の目的地となりきれていないため、適適型の観光に留まっている現状にある。地域資源を活かした体験・滞在型観光を振興するため、十勝の自然空間を最大限活用し、特別な時間や新しいライフスタイルを提案し、十勝観光のブランド化を推進することで新たな「ひと」の流れを創出し、交流人口の増加や域内消費の拡大を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
8	北海道	網走市	日本体育大学と連携した障がい者スポーツを核とする地方創生	網走市の全域	平成29年4月に開校予定の日本初のスポーツ教育を軸とした日本体育大学附属高等支援学校が整備する150m直線走路を屋内化(国内最長)し、1年中、雪や風雨などの天候に影響されない障がい者スポーツのトレーニング、研究、指導者育成のフィールドとして活用する。
9	北海道	稚内市	稚内市生涯学習総合支援センター整備事業計画	稚内市の全域	既存施設の老朽化や機能面において利用者ニーズに対応できないことに加え、教育機関が点在していることで、各分野の連携が不十分な状況が続いている。また、人口減少が続くなか本市では、人材の有効活用と地方創生を総合的にプロデュースする人材の育成が喫緊の課題とされてきた。生涯学習総合支援センターを整備し、これらの課題を克服することで、学習を通じて全ての世代が生涯にわたり活躍でき、市民が安心して住み続けられる生活環境を構築し、人口流出を抑え、学びを活かした就業機会の拡大と活気ある地域社会を形成する。
10	北海道	赤平市	炭鉱遺産活用による観光地域づくりプロジェクト	赤平市の全域	市外からの集客は年2回の大きなイベントが主であり、人の流れ、地域経済にもたらす効果は一過性。そのため「炭鉱遺産」という地域資源を活用し、安定的な人の流れをつくる「炭鉱遺産公園ガイダンス施設」を整備。ガイドの活動拠点はもちろんのこと、炭鉱資料を展示し、観光客の呼び込みや産業歴史の学びの場とする。また、北海道と夕張市、三笠市などの空知産炭地、小樽市、室蘭市と連携し、「炭・鉄・港」のストーリー性を活かして産業遺産の日本登録を目指し、地域活性化、赤平市の地方創生に寄与するものとする。
11	北海道	北海道松前郡福島町	新たな陸上養殖技術の開発による「蝦夷アワビ」ブランド化計画	北海道松前郡福島町の全域	古くから重要な産物として扱われているアワビは、漁獲量が安定しないため消費者のニーズに合った供給ができない状況にある。本計画は、陸上養殖によりアワビの安定した出荷体制を構築し、福島町とアワビ食文化の歴史をひもとき、年間を通じた食の提供と、特徴あるアワビ関連商品を開発し特産品としていくもの、食の提供や関連商品の製造を町内で行うことにより、「福島町にあればいつでもアワビが食べられる」を定着させ、観光客入込数の増加と陸上養殖アワビの消費拡大により地元の雇用促進につなげ地域の活性化を目指すものである。
12	北海道	北海道上磯郡知内町	しりうち地域産業拠点整備プロジェクト	北海道上磯郡知内町の全域	人口減少を抑制し、持続可能な知内町を将来に引き継いで行くためには、安心して住み続けられるまちづくりとともに、雇用を生み出せる主力産業がしっかりとまちづくりが必要である。このため、安定して地域産業を持続的に維持発展させるため、各種施策(雇用・担い手支援、人材育成支援、ものづくり支援など)の展開と併せて地域産業の拠点となる施設整備を通じて、担い手育成や新規雇用の受け入れを図り「しごと」と「ひと」の改善を進め、地域に活力を与えて地域経済の発展を持続的なものとし自主・自立のまちを目指す。
13	北海道	北海道爾志郡乙部町	地域商社「おとべ創生株式会社」による産業活性化計画	北海道爾志郡乙部町の全域	平成28年10月に設立した地域商社「おとべ創生株」で開発した商品などを販売する拠点が町内にないことから、新たに特産品販売拠点を整備する。
14	北海道	北海道爾志郡乙部町	交流人口の増大を目指す地域活性化プロジェクト	北海道爾志郡乙部町の全域	人口減少が著しい乙部町においては、産業活性化対策はもちろんのこと、観光振興や移住・定住といった、交流人口の増加対策も平行して進める必要があることから、人に優しいまちづくりを目指し、高齢者や障がい者でも、ちょっと暮らし体験ができる「バリアフリー移住体験住宅」を建設する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
15	北海道	北海道空知郡上砂川町	シニアパワーを活用した子育て世代の就労支援創出プロジェクト	北海道空知郡上砂川町の全域	地域で暮らす子育て中の母親の社会参加を支援するためのセミナーの開催や高齢者による子育て見守り支援が提供できる場として多世代交流拠点施設を整備する。 また、開業を希望する方へ専門アドバイザーによるビジネスレクチャーの展開や施設内に coworkingスペースやサテライトオフィスお試し体験スペースを整備する。
16	北海道	北海道上川郡東神楽町	東聖ひじり野地区コミュニティ拠点施設整備事業計画	北海道上川郡東神楽町の区域の一部(東聖ひじり野地区)	地区公民館であるふれあい交流館の増築及び改修により、地域住民の活動拠点や子供たちの学習の場となる寺子屋の整備のほか、地産地消の促進や交流イベントを開催するにぎわい交流広場を設けることで「人と人」、「人と地域」を繋ぐ地域住民の主体的な活動の場の創出と、行政サービスの拡充と簡易郵便局の誘致や地域公共交通拠点となるバス待合所を整備することにより、利便性の高い生活基盤を確立するための複合施設として交流拠点となる「まちの駅」を整備し、多世代にわたり住みつけられる地域づくりを構築する。
17	北海道	北海道上川郡美瑛町	市街地における観光拠点の整備による町内滞在型観光の創出計画	北海道上川郡美瑛町の全域	市街地観光拠点の再整備を実施し、町内に点在している観光スポットを巡る動機付けや観光客の町内滞留の仕組みを創出することにより、滞在時間の延長に伴う経済効果の向上、美瑛ファンの創出による地域ブランド価値の向上を図る。地方創生に向けた他の事業との連携を図った事業展開をすることで、将来にわたって持続可能な地域づくりを推進する。
18	北海道	北海道上川郡剣淵町	桜岡宿泊研修施設多機能型整備計画	北海道上川郡剣淵町の全域	剣淵温泉レークサイド桜岡に、インバウンドを含む滞在型観光の旅行者のみならず、本町では未整備の移住・定住体験施設や農業体験実習受入施設の機能を新たに持たせる。さらには、交流のある企業との連携による社員研修受入など、様々な機能を兼ね備えた宿泊施設へと模様替えする。また、移住・定住体験や農業・就業体験実習の相談・受入窓口、地域商社が取組む物流の確立や6次産業化の拠点などの機能を有する事務室を新たに整備する。
19	北海道	北海道増毛郡増毛町	増毛駅を拠点とした地域ブランド形成プロジェクト	北海道増毛郡増毛町の全域	鉄道廃線後の増毛駅を地域ブランドの核になる施設として、自然と歴史、建造物、景観や多種の特産品などの観光資源の情報発信、交流人口の拡大によるまちの賑わいを創出するための拠点として整備する。増毛駅と増毛駅周辺のふるさと歴史通りや増毛港を一体として地域資源を活用した観光振興、特産品のPR・販売等による産業振興、雇用創出へとつなげることを目指す。
20	北海道	北海道枝幸郡枝幸町	「心とからだの子育てサポート」推進プロジェクト	北海道枝幸郡枝幸町の全域	本町の未婚率は、全国・全道平均は下回るが、人口1,000人当たりの出生率は低く、夫婦共働きの割合が51.1%で水産加工業に就業する女性の割合が非常に高い。本計画は、養成した「枝幸版子育てコーチ」が主体的に活動できる拠点施設を整備し、子育て世代が求めている支援や幅広い年齢層が集える交流の場の提供から働き方改革を実践する。これにより創出される「まちの魅力」を町内外に発信することで、地域で子育てを温かく支援する機運の醸成、Uターンを促進を一体的なプロジェクトとして実施し、人口減少に歯止めをかける。
21	北海道	北海道利尻郡利尻富士町	漁業担い手育成・確保推進計画	北海道利尻郡利尻富士町の全域	町の基幹産業である水産業は、近年担い手不足や資源の減少などにより非常に厳しい経営環境にあって、漁業就業者の安定的な所得確保による経営体質の強化及び、未来の水産業を支える担い手の育成・確保が大きな課題となっている。これらの課題を解決するため、漁業者をはじめ関係機関や団体等と一層連携を深め、資源増大対策や漁業担い手の育成・確保に取り組みすることで、漁業の再興を起点とした労働人口の流入につなげ、高齢化及び人口減少に歯止めをかけることを目的とする。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
22	北海道	北海道斜里郡斜里町	つなげる・つながる子育て拠点整備事業	北海道斜里郡斜里町の全域	本事業は、当町において、児童館を整備し、テラスや小上がりスペース、調理室等の改修をすることで、日常的に使用できる交流スペースの確保を図り、また、テレワーカー事業により来町する子育て世帯やその他の町内外の子育て世帯へ対し、「自然豊かな斜里らしさ」を体感できるような施設づくりを行い、さらに、高齢者や体の不自由な利用者でも使いやすい安全性、利便性を確保することで、異世代交流の拠点となる施設、どの世代も活躍できる拠点づくりを目指す。
23	北海道	北海道紋別郡西興部村	地域商業施設整備事業計画	北海道紋別郡西興部村の全域	将来の人口減少・少子高齢化に対する緊急性の高い地域拠点づくりとして、商業施設を活用した買い物弱者への買い物機能の維持・強化と地域コミュニティの場を提供することにより、単なる商業施設整備だけではなく福祉政策と社会インフラ整備施設として位置づけ、地域の暮らしを支える生活基盤としての拠点施設を整備し、人口減少の鈍化を図るとともに、未来への投資という経済対策の趣旨にも重点を置いた地域経済活動の自立的循環を促進し、地域活性化に取組むことを目的とするものである。
24	北海道	北海道紋別郡西興部村	エゾ鹿皮なめし工房整備事業計画	北海道紋別郡西興部村の全域	平成28年度よりNPO法人猟区管理協会が、本格的な商品加工製作と販売事業を手掛けることを受け、従来の課題である脱毛工程や皮なめし作業の効率化と原革の品質向上を図り、商品生産向上と新たな顧客の獲得や観光体験メニュー等に取組み新たな雇用を目指すとともに、地域活性化に努めます。また同時に、既存クラフト・サークル活動を促進し、人材育成と確保に取組み、持続可能な生産体制へ繋げエゾ鹿の利活用の先駆的な地域の確立を目指します。
25	北海道	北海道有珠郡杜町	農業人材誘致と農工商連携による産業力強化プロジェクト	北海道有珠郡杜町の全域	農業人材確保に向けた「研修→就農→経営安定→販路拡大」の各段階におけるフォローアップ体制を整えるため、必要な支援制度や施設の整備・充実を図るとともに、農工商連携による販路拡大や観光面での相乗効果創出を目的とした支援制度の整備、中核施設(道の駅)の販売機能向上等を行う。また、各々の施策効果を拡大するため、情報発信力強化(プロモーション活動)を一体的に展開する。
26	北海道	北海道勇払郡厚真町	あつまサテライトオフィスビレッジプロジェクト	北海道勇払郡厚真町の全域	当町の立地条件やブロードバンド整備環境などの優位性を活かし、サテライトオフィスの誘致を推進する。その受け皿として、平成28年度から運用している「お試しサテライトオフィス」と同型のものを追加整備する。加えて、廃止した保育園をサテライトオフィス兼 coworkingスペースに改装する。これらの2施設を整備することによって「お試し」から「本格立地」までをカバーできる体制を構築する。 また、施設の整備と並行して、個別企業へのアプローチによる誘致推進や、施設の自立性を高める仕組みづくりの検討を行う。
27	北海道	北海道勇払郡厚真町	厚真町農業担い手育成推進プロジェクト	北海道勇払郡厚真町の全域	農業者人口の減少に歯止めをかけるため、新規就農(希望者)者の育成から、新規就農までをワンストップでサポートする体制を構築する。具体的には、担い手育成の中核拠点として「厚真町立研修農場(仮称)」を、廃校を活用して整備する。また、担い手育成の推進母体である「厚真町農業担い手育成機構(仮称)」を設立し、上記研修農場の運営のほか、研修農場の研修生が新規就農する際における農地の先行取得等を行う。以上により、農業の持続的発展を図ることを本計画の目標とする。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
28	北海道	北海道河東郡上士幌町	生涯活躍のまち 上士幌町創生包括プロジェクト事業計画	北海道河東郡上士幌町の全域	本町では、町民の健康寿命を延伸し、住んでみたい・住み続けたいまちを創生するため「生涯活躍のまち」の取組を進めており、安心して暮らせるための「地域包括ケア」の充実、「生涯活躍(地域貢献)できる場の創設」などによる「移住・定住の促進」、中高年齢者の移住の加速化やまちなかの円滑な移動、住民交流機能の強化のため「交通ネットワーク拠点」及び「生涯活躍のまち体験施設」の整備を図る。
29	北海道	北海道白糠郡白糠町	観光資源を磨き上げた観光地域づくりプロジェクト	北海道白糠郡白糠町の全域	白糠町では、舞踊、音楽、食等の貴重なアイヌ文化を再認識し、価値を高める事業を推進してきたが、観光等の地域産業への活用はできていないことから、地方創生加速化交付金を活用し、民間事業者と連携したアイヌ文化の舞踊等の体験を核とした観光プログラムの調査・開発、首都圏でのプロモーション事業等に取り組んでいる。プログラムの開発や受け入れ体制を整備し、既存するアイヌ文化を磨き上げた新たな観光事業を行うことにより、安定的な収入を確保し、事業者の自立を図っていくとともに、交流人口の増加による地域活性化を図る。
30	青森県	青森県	青森県IoT開発支援拠点整備計画	青森県の全域	第4次産業革命時代のものづくり産業において必要となるIoT、ロボット技術等の基盤技術習得と研究開発の技術支援のための「IoT開発支援拠点」を(地裁)青森県産業技術センター工業総合研究所(青森市)の敷地内に増築し、IoTデバイス創出のための設備を設置することで、IoTデバイスの設計・試作から評価までをワンストップで支援する。また、試作開発技術支援を通じて、県内企業へIoT関連技術の普及やIoT人材の育成を図る。
31	青森県	五所川原市	「立佞武多の館」機能強化による周遊観光と食の拠点化事業	五所川原市の全域	中心市街地に位置する「立佞武多の館」の展望ラウンジ(レストラン)の設備改修等を行い多様なメニュー提供を可能にし、その産地を広く紹介することで同館を食と周遊観光の拠点とするとともに、市特産品の代表である「十三湖産ヤマシジミ」の冷凍施設を産地である十三地区に新設して、観光客に通年安定供給できる「冷凍シジミ」の供給量を確保し、特産品の産地と観光拠点との連携を強化することで、シジミをはじめとする地域特産品の販売拡大、地域周遊観光による交流人口増加、地域活性化を目指す。
32	青森県	むつ市	脇野沢コミュニティセンター(銭湯)を核にした小さな拠点による脇野沢創生プロジェクト	むつ市の区域の一部(脇野沢地区)	本市の中でも特に人口減少が著しい脇野沢地区において、地域住民が共に支えあう地域コミュニティを創出し、誰もが生涯にわたって活躍できる地域づくりを実現するため、そこで暮らす人たち自らが主体となった地域デザインを策定し、地域運営組織が地域の運営・経営を担い、安心・安全で暮らしやすい生活環境の整備、暮らしを支える多様な産業の振興等を自ら推進することができる、小さな拠点づくりを進め、持続可能な地域社会の形成を図ることとする。
33	青森県	つがる市	未来への投資につながる道の駅を拠点とした農産物直売施設整備事業	つがる市の全域	道の駅アースストップ内にある農産物直売所は、販売スペース狭い、バックヤードがないなど道の駅に設置されている好条件にも拘らず効果が十分発揮されていない。そのため、道の駅施設内に農産物直売所を整備し、市内で生産・製造された農産物及び加工品等の一層の消費拡大及び農家所得並びに雇用機会の向上を図る。併せて、近年、道の駅を利用する観光客が増加したことで手狭になった駐車場の拡幅、トイレや空調設備の改修を行い、観光拠点としての機能を充実させ観光客増を目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
34	青森県	青森県東津軽郡今別町	「フェンシングの聖地いまべつ」拠点整備計画	青森県東津軽郡今別町の区域の一部(二股地区)	<p>「フェンシングの聖地いまべつ」として、日本で唯一の合宿施設を併設したフェンシング専用施設を整備し、北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」から約200mという抜群の立地条件ながら、都会では味わえない、静かで豊かな自然に囲まれた、競技・練習に集中できる環境づくりを目指す。</p> <p>また、既に決定している2020年東京オリンピック事前合宿のため、来町するモンゴルフェンシングチームの他、国内外の各種チーム、大学・高校の部活動合宿を数多く誘致することにより、交流人口を飛躍的に増加させることを目指す。</p>
35	青森県	青森県西津軽郡深浦町	ふかうら地域産物PR販売拠点施設整備計画	青森県西津軽郡深浦町の全域	<p>町の遊休施設を改修整備し交流機能・物販機能を創出することによって、地区の住民生活上と観光客の利便性向上を図り、商店街の振興と観光拠点化、そして稼ぐ施設化を図る。</p> <p>管理運営については町商工会に委託して町商工業の拠点施設として位置付け、当地区に皆無となった食堂を開設するほか特産品や鮮魚等の販売、加えてチャレンジショップコーナーを設けて新規の担い手育成を図るなど物販機能の創出と起業支援に取り組む。</p>
36	青森県	青森県南津軽郡藤崎町	ふじさき食産業創造拠点整備事業	青森県南津軽郡藤崎町の全域	<p>藤崎町は地域に魅力ある仕事が少ない、若者が都市部へ流出する状況が続いており、また、地域産業は経営規模の縮小や廃業が今後想定され、地域雇用の減少が懸念されている。そこで、地域商社を核として、食の販売活動拠点である「ふじさき食産業創造拠点」を整備し、ふじさき品質の新たな農産加工品・飲食メニューの開発販売、地域産業と食産業の効果的な相互循環による町民所得の向上、地域産業の担い手育成や交流人口の増加による若者の定住移住促進施策を一体的に展開することで、地域に魅力ある仕事を創出し、町の人口減少を抑制する。</p>
37	青森県	青森県北津軽郡鶴田町	道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」を核としたスチューベンぶどうブランド化推進計画	青森県北津軽郡鶴田町の全域	<p>道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」はこれまで、他の道の駅との差別化を図るため、特産のスチューベンぶどうを柱とした商品開発と販売を行ってきた。このスチューベン6次産業化を推進するため、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」の一部を増築及びCAS冷凍庫等を整備する。これにより、既存のスチューベン加工商品のブラッシュアップや新商品開発、イートインコーナーの増設などの機能強化が図られ、施設全体の販売額増とそれに伴う地元産原材料の購入量増を目指すものである。</p>
38	青森県	青森県下北郡風間浦村	風間浦村活イカ備蓄センター改修計画	青森県下北郡風間浦村の全域	<p>風間浦村活イカ備蓄センター改修により、施設の環境改善を図り、新たな利用者と観光客の呼びこみによって施設の事業収入を増加させ、季節営業の営業形態から通年営業できるまでの自立性を確保し、雇用の拡大と活イカをはじめとした水産資源の付加価値向上、消費拡大と販路拡大につなげる。また、室町時代から続く下風呂温泉の賑わいを取り戻すため「元祖烏賊様レース」等のイベントや、水産資源の活用を通じて観光宿泊者の増加を目指す。</p>
39	青森県	青森県下北郡佐井村	ヒト・モノ・カネ・情報を呼ぶ賑わい空間創出事業	青森県下北郡佐井村の全域	<p>本村の海の玄関口である観光拠点施設は、観光船・高速船の発着所でもあり、村内外問わず多くのヒトの循環があり、本村地域経済における最も重要なエリアである。今般、更なる賑わい空間創出により地域経済の活性化を図るため、ヒトを呼び、モノを活用し、カネを動かし、それらを情報でつなぎ循環させるため、当該施設を拠点とした賑わい空間創出により、更なる交流人口の増加による地域の活性化並びに地域経済の振興を目指すものである。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
40	岩手県	岩手県	産業競争力強化支援拠点整備計画	岩手県の全域	<p>岩手県工業技術センターに電子機器の設計・試作・評価機能、新素材開発・評価機能を備えた研究施設(次世代ものづくりラボ)を本格整備し、IoT応用製品の開発力、急速に革新が進む材料技術への対応力、3Dプリンタ等を活用した新たなものづくり技術への対応力の強化を図ると共に、電磁両立性を評価する電波暗室等を整備することで、海外展開に向けた国際規格等への対応を支援し、自動車・半導体等の本県中核産業分野や医療機器・航空機産業などのものづくり成長分野への進出に向けた技術支援体制を構築する。</p>
41	岩手県	岩手県	いわての農林水産物ブランド化拠点整備計画	岩手県の全域	<p>消費者ニーズ等に対応した、高品質な農林水産物の生産が拡大し、全国トップレベルのブランド産地を形成することにより、高い所得を安定的に確保できる経営基盤を構築し、持続可能な農林水産業を確立する。</p> <p>特に米について、県産米の食味向上、生産コストの低減などに取り組むとともに、県オリジナル新品種について、計画的な作付拡大等によりブランド化を促進する。</p>
42	岩手県	岩手県	宮古港多目的ターミナルを拠点とした観光と物流の振興による復興促進プロジェクト	岩手県の全域	<p>本県沿岸地域では、人口減少や少子高齢化問題に直面しているが、東日本大震災津波からの復興が進み、平成30年の宮古・室蘭フェリー航路開設や外航クルーズ船寄港、更には、平成31年のラグビーワールドカップ釜石開催を控え、三陸の文化や魅力を国内はもとより世界に発信する絶好の機会が巡ってきている。フェリーやクルーズによる地域の活性化、観光客へのおもてなし活動を通じた地域住民と行政、更には、次世代を担う若者や女性等が相互に交流できる場が必要であり、宮古港多目的ターミナルをこの拠点として整備する。</p>
43	岩手県	盛岡市	総合交流ターミナル機能拡充事業	盛岡市の区域の一部(玉山地域)	<p>公設民営の市総合交流ターミナル施設(ユートランド姫神)の機能を拡充し、「若者」「スポーツ」「都市部との交流」をキーワードに、地域資源を活用した誘客促進や交流人口の拡大を図るため、農家カフェ・レストランや宿泊棟のゲストハウスへの模様替えのほか、屋外交流サイトを新築する。また、施設整備と併せ、本市が取り組む環境の地域づくり(生地域エコタウン構想)や地域おこし協力隊を活用した体験型観光プログラムの構築などを一体化したプロジェクトとして実施し、相乗効果を発揮しようとするものである。</p>
44	岩手県	大船渡市	樺の里おおふなと拠点形成推進計画	大船渡市の全域	<p>当市は、自生ヤブツバキの北限地といわれ、平成9年度に樺展示施設として大船渡市総合交流ターミナル施設を開設し、観光誘客を図ったが来場者は減少している。また、東日本大震災以降、樺の利活用が注目され、市全体で樺産業化に向けた取組強化が課題となっている。</p> <p>こうした中、集客や樺産業化の拠点として同施設の機能強化とともに、市民参加型の樺実収穫等の仕組みづくり、民間団体等と連携した特産品・飲食メニュー等の開発支援を行い、多様な業種が参画する「樺の里おおふなと」の地域ブランドの確立と交流人口の拡大を目指す。</p>
45	岩手県	大船渡市	碓石海岸観光拠点化推進計画	大船渡市の全域	<p>当市は、豊かな自然や食、心温かい人柄などの魅力を観光イベント等で広く宣伝し、観光誘客を図ってきたが、通過型観光に留まり、観光入込客数が減少していることから、観光関連産業をはじめ、地域活力の低下が課題となっている。</p> <p>こうした中、集客や情報発信の「ハブ」として碓石海岸レストハウスの機能強化とともに、官民連携して「大船渡ならではの」体験プログラムや特産品・飲食メニュー等の開発・提供を通じて、着地型観光を実現し、交流人口の拡大と観光関連産業の裾野を広げ、総合産業化を目指す。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
46	岩手県	花巻市	新しい人の流れをつくる拠点賃貸工場整備事業	花巻市の全域	<p>本事業は、起業化支援センターや岩手大学生産技術研究センターと連携しながら、市内企業及び誘致企業が新事業進出、海外進出への支援や新商品開発による付加価値増進など、海外の低価格製品に負けない企業競争力を維持しながら、マーケティング支援による販路拡大など、企業の稼ぐ力を高めながら新規事業展開するため、開発スペースや緊急増産用スペースとして地域企業がシェアできる賃貸工場を建設し、市や起業化支援センターによるマッチングを進めていくもの。</p>
47	岩手県	北上市	企業集積を活かした新技術・新製品開発推進計画	北上市の全域	<p>本市の主力産業である自動車関連産業をはじめとした地場企業が、生産活動を行いながら、自動車用部品等の量産化に向けた大型金型の新技術や新製品の開発を行うことができる賃貸工場を整備し、産学官金連携による研究開発や新事業の創出等に向けた一体的な支援体制を確立し、下請依存型から自立創造型への転換を図ることにより、自らが稼ぐ力を創造することで付加価値額の向上等地域産業全体の底上げを図ることを目的とするものである。</p>
48	岩手県	一関市	チカラを集め、タカラをつないで地域を再生するプロジェクト	一関市の区域の一部(大東地域)	<p>閉校となった「旧洪民小学校」校舎を複合施設として活用するため改修整備を行う。 1階は、現在高台に位置する「洪民市民センター」を移転。2階は、現在市内18カ所の収蔵施設に未公開、未活用のまま収集されている民俗資料等を保存・展示、活用していくための「民俗資料等公開施設(仮称)」とするために必要な改修工事等を行い、一関の風土と特徴を生かした地域密着型、地域に開かれた体験型の施設を目指すほか、児童・生徒の学習から学術調査研究まで、多様なニーズに対応できる空間とする。</p>
49	岩手県	釜石市	世界遺産を核とした鉄のふるさと釜石創造プロジェクト	釜石市の全域	<p>橋野鉄鉱山の世界遺産登録や2019年のラグビーワールドカップ開催等を契機に、当市の鉄の歴史・物語の情報発信・学習施設の拠点となる鉄の歴史館の機能強化を図り、鉄のふるさと釜石の価値や魅力を発信・伝承しながら、観光や学習の拠点として多くの人々が集い、学び、楽しめる空間の創出を目指す。</p>
50	岩手県	二戸市	稼ぐ地域づくり・移住定住・観光交流拠点整備事業	二戸市の区域の一部(石切所地区)	<p>二戸広域観光物産センターは、広域的な特産品販売や交流促進・観光拠点施設であるが、開業から14年が経過し、物産センターでは、業務量の増加による保管場所の不足、繁忙期の混雑対応などの課題、観光においては、観光ニーズの多様化、少人数型に対応しきず観光者数も減少傾向となっている。移住定住については受入体制が未整備の状況であった。 これらの課題を解決するにあたり、当施設の機能向上を進め、収益性の向上を図るとともに、その経済効果が地域に還元することで地域全体を活性化し、若者定着と地場産業の振興を図るものである。</p>
51	岩手県	二戸市	浄法寺塗共同事業拠点施設機能強化改修事業	二戸市の区域の一部(浄法寺地区)	<p>浄法寺塗を稼げる産業として育成することを目標とし、市内工務事業者が連携した浄法寺塗共同販売事業体の設立を進めるとともに、事業者の活動拠点として市の漆生産及び販売施設である滴生舎の改修を行い生産設備増強や販売店舗整備を行う。 塗り部屋や乾燥設備の拡張、漆保管室や漆器養生管理部屋の設置、木工棟の改修を行うほか、販売スペースの外観や販売エリアの改修を行うとともに、浄法寺塗の価値や地域背景が伝わるようイメージ演出を行う。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
52	岩手県	岩手県岩手郡雫石町	町有地を活用した生涯活躍のまちの推進に資する多世代交流拠点施設整備計画	岩手県岩手郡雫石町の区域の一部(七ツ森・丸谷地区)	本事業は、未利用を活用し、官民連携により作成したCCRC推進事業計画に基づき、町や金融機関・民間事業者が出資したまちづくり会社が主体となり、サービス付き高齢者向け住宅等を整備する予定であり、多機能多世代拠点を核としたコミュニティづくりの場としては、CCRCコミュニティエリアの住民だけではなく、町民はもとより、町内外の人が行き交う誰もが思わず行きたくなるようなオープンで楽しい雰囲気に満ちた拠点施設が必要であることから、同エリアの中心的機能を有する交流拠点施設の整備を目指すもの。
53	岩手県	岩手県紫波郡矢巾町	ウェルネスタウンプロジェクト	岩手県紫波郡矢巾町の全域	県内最大規模の医科大学附属病院が平成31年に町内へ移転予定であることから、健康・医療分野の強みを活かし、地域に新規起業者の育成やヘルスケア産業の集積を推進する。それによって将来は町全体が健康関連産業で栄え、かつ住民も健康で安心して暮らせる医療と健康のまち「ウェルネスタウン」としてのブランドを全国に向け確立し、全国からヘルスケア関連の企業や顧客、健康志向の移住希望者などと呼び込むことにより、雇用の拡大を図りつつ、人口減少に歯止めをかけることを目指す。
54	岩手県	岩手県和賀郡西和賀町	遊休温泉施設を活用したまちなか交流施設リノベーション	岩手県和賀郡西和賀町の全域	温泉街・商店街の活性化のため、廃業した温泉旅館を交流施設としてリノベーションする。地元県立高校との連携的な活用として地域ならではの学習機会を提供することで高校の魅力化と地域人材の育成に取り組む。
55	岩手県	岩手県九戸郡軽米町	地域を元気に みんなを元気に 円子地域再生計画	岩手県九戸郡軽米町の区域の一部(円子地区)	人口の減少や少子化対策により、交流の場や6次産業化が課題となっている。 こうした状況から、地域の各種団体が中心となり地域住民と一体となり地域コミュニティの再生と活性化を目指す。今回整備する施設を拠点と据え、現在も交流のある生協等との交流を進めながら相互の交流を通じて地域の良さを認識しながら、田舎の良さをPRし、UターンやIターンを進める。 さらに、地域内の収益を高めるなど人口減少に歯止めをかける施策を展開することで、軽米町人口ビジョン・総合戦略の具体的推進のモデル地域として位置づける。
56	岩手県	岩手県二戸郡一戸町	歴史的建造物を再生利用した旧堀口邸整備による中心市街地拠点強化事業による地域再生計画	岩手県二戸郡一戸町の全域	本事業では、中心市街地の中核施設である旧堀口邸を整備し、地域おこし協力隊等の外部人材を活用しながら、町における「食」の拠点施設に位置づけて管理、運営を行う。 具体的には、地域食材の価値を十分に引き出し、販売につながる新商品の開発、研究を行い、町民所得の向上、新たな仕事の創出に結び付ける。 地域食材を活かした食に関するイベント等の会場として提供し、官民協働で町内外における地域食材を活用した「食」の関心を高め、価値を十分に引き出して、町民の所得や新たな仕事の創出につなげる。
57	岩手県	岩手県二戸郡一戸町	岩手県北唯一の映画館「萬代館」(国登録有形文化財)を活用した山火邸整備事業による地域再生計画	岩手県二戸郡一戸町の全域	事業では、岩手県北唯一の映画館「萬代館」(文化庁:国登録有形文化財)に隣接する所有者の邸宅である山火邸の全体改修を行う。 整備した山火邸では、施設運営等に地域おこし協力隊等の外部人材を活用し、多様なイベントを行う関連施設としての機能拡充を目指す。 併せて中心市街地に面している利便性を活かし、軽食提供や店舗賃借など、イベント外でも中心市街地の活性化につなげる。 以上のように地域資源や町の補助金等を活用し、将来的に観光公社での事業展開を図り、所得向上や新たな仕事の創出につなげていく。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
58	岩手県	岩手県二戸郡一戸町	インバウンドと都市部をターゲットとした奥中山高原センターハウス改修事業による地域再生計画	岩手県二戸郡一戸町の全域	インバウンドと都市部からの観光客を主なターゲットとして、「食」の拠点としての機能強化を図るために奥中山高原センターハウスの改修を実施する。具体的には、豊かな自然環境を眺望しながら、宿泊客が地元食材を活用した食事を一堂に楽しめる専用スペースを設置し、新たなおもてなし機能を創出し、「食」産業の機能強化を図り、観光客や食会等の増加から所得の向上や新たな仕事の創出につなげる。併せて、少人数の宴会用として活用していた和室を洋室(飲食用ホール)に改修し、観光客に対する利便性を向上させる。
59	宮城県	宮城県	宮城の冬にも負けない太陽光利用型植物工場による農業生産構造の再構築プロジェクト計画	宮城県の全域	宮城県農業・園芸総合研究所に太陽光利用型植物工場研究施設を整備し、本県施設園芸における重点品目であるトマト、パプリカ、イチゴ等について、本県の気候に合った環境要因を複合的に制御する高度環境複合制御技術の研究等を行い、研究成果を農業経営体に普及することで、生産性が高く高付加価値な農産物を生産することが可能となる「施設園芸への転換」を促進し、農業生産額の拡大による本県農業経営体の農業所得の向上を図り、若者にも魅力的な新たな雇用(しごと)を農業分野において創出するものである。
60	宮城県	富谷市	「富谷宿」開宿400年記念しんまち地区活性化計画	富谷市の全域	2016年10月10日に誕生した本市は、藩政時代(1620年)藩祖伊達政宗公の命により富谷宿を開宿、富谷新町として栄え、2020年に開宿400年を迎える。仙台市に隣接する地理的優位性もあり人口は増加しているものの、富谷発展の原点であるしんまち地区はかつての賑わいは影をひそめている。近年は転入した住民等から起業・創業支援のニーズの高まりがあり、対応が必要である。そこで、しんまち地区にある旧役場を起業・創業支援等の拠点として改修し、地区を中心に富谷市全体の交流人口拡大と賑わい創出を目指すもの。
61	宮城県	宮城県刈田郡七ヶ宿町	住みたいを加速させる賑わい創出プロジェクト	宮城県刈田郡七ヶ宿町の全域	町の中心集落に、買い物機能、飲食機能、子育て・交流機能を備えたミニスーパーを核とした賑わい拠点施設を整備する。ミニスーパーは、生活利便性を直接的に向上させて住民の生活基盤の安定化を図り、飲食、子育て・交流機能を備えた多目的交流施設を整備することで、エリア全体に多機能な価値を生み出して施設利用率を高め、住民が集いやすくなる拠点とする。また、管理主体となるまちづくり株式会社は、施設等を活用したイベント等を企画開催することで、ソフト面の充実を図り、活力と賑わいを創出して住みたい人の増加を図る。
62	秋田県	秋田県	木材高度加工研究所研究・開発機能強化計画	秋田県の全域	住宅着工戸数の大幅な減少が予測される中、大都市圏等の非住宅を含む建築需要は、今後のシェア拡大が見込まれる未開拓かつ最も有望の市場である。しかし、その殆どは防火地域や準防火地域であることから、特に耐火性を持つことは、参入に当たった前提、更には強みや売りになる想定される。こうした状況等を踏まえ、本県木材産業のビジョン「グローバルな産地間競争に打ち勝つ木材総合加工産地あきた」の次段階として、開発に取組む木鉄ハイブリッドや低投資型CLT等への耐火性の付与により、新たな市場と雇用の創出を目指す。
63	秋田県	秋田県	田沢湖スキー場を核とした交流人口拡大推進計画	秋田県の全域	インバウンドを含めた観光誘客において地域間競争が激化する中、本県への誘客拡大を図るため、本県ならではの観光資源を活用することが効果的である。そこで、ワールドカップモーグル大会が開催されるスキー場を核に、ナショナルチームの合宿を誘致する等により、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ることや、地域の観光協会等との連携により、乳頭など温泉郷、田沢湖・駒ヶ岳、劇団わらび座、角館武家屋敷等の資源を生かした観光地域づくりを進め、フルに活用することにより、本県を訪問する動機を与え、国内外からの誘客拡大を目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
64	秋田県	秋田県	森づくり人材育成拠点整備計画	秋田県の全域	<p>全国一のスギ資源を活用し、林業の成長産業化と雇用の創出を図るためには、優秀な林業従事者の育成・確保が不可欠である。このため、秋田林業大学校において、即戦力として卓越した機械操作能力等を有する技術者養成のための機械研修施設を整備し、人材育成強化を図る必要がある。</p> <p>また、将来の林業を支える人材を育成・確保するため、林業を志す青少年の意識醸成を目的に、林業大学校に隣接する森林学習交流館において、林業体験型学習の導入や付属施設整備を行い、一体的な人材育成拠点として機能強化を目指す。</p>
65	秋田県	横手市	人と地域が輝く活動拠点整備事業	横手市の全域	<p>横手市は、豊かな自然環境を有し、農業を基幹産業としてきた。都市機能が集約された中心地域を囲む周辺地域では、多様な農産物が生産され、食料供給や農地保全といった役割を果たしてきたが、人口減少や少子高齢化が進み、地域住民自らが暮らしを維持する仕組みを構築することが喫緊の課題となっている。その課題解決のためには、地域住民が集う活動拠点が必要であり、本事業により拠点施設を整備することで、地域住民自らが自立的な活動に取り組み、住み慣れた地域で暮らし続けられる集落生活圏を形成することを目的とする。</p>
66	秋田県	横手市	～まんが原画收藏作家数世界一～「まんがの聖地」整備による交流人口拡大プロジェクト	横手市の全域	<p>横手市には、豊かな自然、基幹産業である農業から生まれる多数の産品、多様な地域文化など多くの地域価値が存在している。</p> <p>この地域価値のひとつである「マンガ」に特化した施設を整備し、本施設を拠点に「まんがの聖地」として本市を国内外に発信することにより、交流人口の拡大と外貨の獲得を図り、市内事業者の経済活動や新規事業者の定着を目指し、地方創生につなげるものである。</p>
67	秋田県	大館市	大館市ペットと泊まれる宿泊施設整備計画	大館市の全域	<p>「忠犬ハチ公のふるさと」である本市では、秋田県と連携して、国内外に向け「秋田犬」の魅力発信に取り組んでいるほか、ペット宿泊施設の需要が高まる中、首都圏等のペット愛好家にターゲットを絞ったペットと泊まれる宿泊施設を整備することにより、ペットにやさしいまちづくりを推進し、住む人は減るが来る人を増やし、交流人口の拡大、さらには移住定住の促進につなげ、産業の成長、雇用の促進とともに、大館市人口ビジョンの平成72年(2060年)人口45,498人を目指す。</p>
68	秋田県	北秋田市	北秋田市クウンス森吉宿泊施設整備事業計画	北秋田市の全域	<p>施設指定管理者の収益向上、周辺地域への観光誘客増およびそれに伴う地域経済への波及効果拡大を目的としており、本施設を宿泊施設へと改修整備することにより、これまでの通過型観光から滞在型観光への転換が可能となる。そのため、現在の日帰り入浴客用の休憩室個室を宿泊部屋(5室)へ改修し、また外国人観光客にも対応するため洋式トイレ化へと整備する。</p>
69	秋田県	北秋田市	移住定住ネットワークセンター整備事業計画	北秋田市の全域	<p>移住定住を促進するための拠点となる移住定住ネットワークセンターを整備し、移住相談窓口のワンストップ化や情報発信及び移住体験事業の調整等、移住定住に係る支援体制を強化する。</p> <p>また、ネットワークセンター2階の居室を活用したシェアハウス型移住体験住宅と同敷地内にバリアフリー対応型移住体験住宅を整備し、様々なニーズに対応した移住体験を可能とする。</p> <p>ネットワークセンターには、地域おこし協力隊員を常駐させる他、既移住者や地域住民等によるサポートを一体的に行い、円滑な移住を支援し移住定住者の増加につなげる。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
70	秋田県	秋田県南秋田郡八郎潟町	八郎潟町商店街活性化計画	秋田県南秋田郡八郎潟町の全域	<p>八郎潟町では、商店街の活性化を目標に掲げ、行政だけではなく、アクティブシニア中心のNPO法人と協力して、町全体でまちづくりに取り組む仕組みを進めている。今回、整備する商店街の拠点施設は、まちづくりに取り組むNPO法人が運営し、NPO法人の活動事務所及び地場産物等を活かした食堂の運営、各種団体への貸事務所としての機能を有する複合施設となる。</p> <p>また、空き店舗を活用した更なる商店街の活性化や移住・定住希望者向けの空き家の照会及び斡旋を行う制度の構築をNPO法人と町で協働のまちづくりとして行う。</p>
71	秋田県	秋田県南秋田郡井川町	安心子育て環境づくり計画	秋田県南秋田郡井川町の全域	<p>平成30年4月に開校する義務教育学校(小中一貫校)の向かいに、子育て支援多世代交流館を建設する。多世代交流及び子育て支援エリアを整備し、多世代交流エリアについては、地域住民の各種グループの交流の場の多目的ホール、読書ルームを設置する。子育て支援エリアとしては、児童及び児童の保護者の交流の場、放課後児童クラブの設置とともに、屋外遊具等も整備し、子供の成長に合わせた活動エリアを提供する。家庭的な雰囲気の中で相談できる場所「ケアルーム」を設置し、出産育児の制度や子育て支援、育児環境等を総合的に支援する</p>
72	山形県	山形県	消費ニーズに柔軟に対応して県産米のブランド力を向上させる県産米生産体制強化計画	山形県の全域	<p>米の主産県として国内を始め海外に向けて展開していくため、山形県農業総合センター内に、多種多様な品種の種子を効率よく乾燥調製して複数年保管できる水稻原々種等専用乾燥調製・貯蔵施設を整備し、多様化する消費者・実需者ニーズそれぞれに合った品種の種子を速やかに供給できる体制を構築する。また県育成の新品種をデビューさせるにあたり、原種生産を前倒しで実施してその種子を保管することで、国内外の新規需要にマッチした新品種の早期導入を進める。</p>
73	山形県	山形県	次世代型低コスト大型ハウスを活用したトマト生産拡大計画	山形県の全域	<p>農業従事者の減少が進む中、地域での農業生産を維持していくためには、先端技術を活用した生産性の向上と規模拡大を進めるとともに法人経営体の育成による地域の雇用を確保して行くことが重要である。そこで、本県園芸研究の中核機関である園芸試験場および豪雪地帯である大蔵村に、次世代型低コスト大型ハウス実証拠点を整備し、その生産性向上を実証するとともに県内生産者の視察・研修を幅広く受け入れ、県単独事業の「園芸大園やまがた」推進事業と一体となって企業の経営体の育成と大規模化を推進する。</p>
74	山形県	山形県	水産に関する研究研修施設を核とした庄内浜産水産物のトップブランド化推進計画	山形県の全域	<p>「第36回全国豊かな海づくり大会」の本県開催を契機として、庄内浜産水産物の付加価値向上のための研究研修施設を、県水産試験場、加茂水族館、県立加茂水産高等学校、県漁協出張所が集積する鶴岡市加茂地区に整備し、庄内浜産水産物のさらなるブランド化に向けた推進体制の構築とプロモーション活動などを進めながら、産学官民の連携を強化し、庄内浜産水産物の付加価値向上、地域の観光産業への波及、漁業所得の向上、水産関連業界への新規就業者の確保、漁村地域の活性化を図るもの。</p>
75	山形県	山形県	6次産業拠点施設による食品加工支援機能強化推進計画	山形県の全域	<p>県産農産物を活用した6次産業化を進めるため、県農業総合センター内に、本県の食品加工の研修・試作の拠点施設となる「やまがた6次産業拠点施設」を整備する。この施設を活用し、食品加工技術や衛生管理、食品加工機器操作、加工技術移転の研修を行うとともに、農業者や食品製造業者が県産農産物を用いた加工食品の開発・試作を行う。また国や県等が開発した加工技術の移転による人材育成と新商品開発等の支援を行う。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
76	山形県	山形県及び山形県最上郡最上町	赤倉温泉そぞろあるき賑わい創出計画	山形県最上郡最上町の区域の一部(赤倉地区)	赤倉地区のせんしん館旧館の建替えとせんしん館新館の改修を図り、新たな観光交流拠点施設となる「おくのほそ道」赤倉ゆけむり館(仮称)の整備を図る。施設内には、町内外の観光客が利用できる露天風呂や内風呂の整備を始め、農産物やお土産品を提供する産地直売所の設置と併せてお休み処等の環境整備を図る。また、山形県・最上総合支庁との連携により、観光客に最上町の魅力ある情報の発信基地として、現在建設中の最上小国川流水型ダムの資料展示スペースを整備する。
77	山形県	米沢市	敬師児童センターを活用した山上地区の拠点づくり計画	米沢市の区域の一部(山上地区)	本事業は、敬師児童センターを改築し、新しい山上コミュニティセンターとして運用することにより、幅広い世代が集う地域の基幹的な拠点施設とすると共に、地域内の観光資源を活用し観光客の増加につなげるため、施設内に観光案内所を設けたり、地場農産物やその加工品を販売することに加え、地元ならではの体験ができる着地型観光の拠点としても活用を図っていく。
78	山形県	上山市	カミン再生整備による中心商店街の賑わい創出計画	上山市の区域の一部(中心市街地の区域)	ショッピングプラザカミンの1～2階の商業フロアを平成29年6月に買い取り、必要な改修工事を施し、レイアウトの変更、内装工事等を行い、子育て支援施設(上山市総合子どもセンター、子どもの屋内遊び場、子育て世代交流スペース)や常設高齢者サロン、高校生ボランティア拠点、高校生の読書・勉強・交流スペース等を整備し、中心市街地の中核となる施設として集客力を高める。また、中心商店街はカミンと連携した取組の事業計画を策定の上、中心市街地の活性化につなげていく。
79	山形県	山形県西村山郡河北町	紅花栽培にかかる人材・観光・産業活性化プロジェクト	山形県西村山郡河北町の全域	当町では糺とべに花の里としてまちづくりをすすめており、紅花資料館を拠点とし、紅花を活用した紅花産業による地域産業の活性化及び交流人口の拡大が求められている。そこで、紅花活性化センター(仮称)を整備することにより、多様な関係機関と連携しながら紅花で「稼ぐ力」としての商品開発、交流人口を拡大のための観光ガイド人材育成、同敷地内に整備される紅花栽培用温室を活用した新規就農者の育成などの事業を展開する。
80	山形県	山形県北村山郡大石田町	地域資源を活かした観光のまち「大石田」再生計画	山形県北村山郡大石田町の全域	当町の持つ歴史的な観光素材や食文化を活かしながら、地元産品のブランド化による魅力の発信など地域資源の磨き上げを行い、近隣の観光地を訪れる多くの外国人や若い世代など、新たな観光客を受け入れる「おもてなし」の体制づくりに向けた施設整備を推進し、観光魅力の向上と観光消費の活性化による産業を促進するため、観光によるまちづくりの実現と賑わいの創出を目指すものである。
81	福島県	会津若松市	ICTオフィス環境整備による地域再生計画	会津若松市の全域	本市は、会津大学というICT専門大学が立地する特徴を活かし、ICTを活用した地方創生を目標とする「スマートシティ会津若松」の取組を過去5年間実施してきた。これまでも、会津大学や国、民間企業と連携しながら様々なICT関連事業を実施してきたが、今回、東京等からICT関連企業の大規模誘致を目的としたICT環境が整備された500人規模のオフィス環境を整備し、首都圏からのデータ分析部門等のIoT時代に即した高付加価値産業の誘致を行い、ICT・IoT産業集積による長期的な地域再生を実現する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
82	福島県	いわき市	いわきの里鬼ヶ城・中山間地域エンパワーメント事業	いわき市の区域の一部(川前地区)	<p>本事業は、本市川前地区の中心施設である「いわきの里鬼ヶ城」の魅力を高め、新たな人の流れをつくるため、ペットとともに遊び自然と触れ合う施設として、ドッグランを整備するとともに、ペットが宿泊可能となるよう宿泊施設の改修を行い、また、四季を通じ花をたのしめるよう、フラワーガーデンを整備し、花を植栽するものである。</p> <p>また、効果促進事業として、当該施設のPR事業や、当該施設周辺エリアにおけるサイクリング活用改修モデル事業を実施することにより、地域の魅力を一体的に高め、人の流れをつくるものである。</p>
83	福島県	白河市	しらかわ地域観光交流拠点整備計画	白河市の全域	<p>本市の足元にある観光資源の魅力を抑え下げるとともに、地域資源と結び付けるなど、本市が有する自然や歴史、伝統・文化、食を最大限に活かした着地型観光の推進を図り、更なる交流人口の拡大による地域活性化を目的とする。</p>
84	福島県	二本松市	体験型観光施設整備での観光客誘致によるしごと創生	二本松市の全域	<p>スカイピアあだたらの体育館をリニューアルし、コンクリートの床を最大限利用した、屋内スケードボードパーク及びボルダリングパークとして整備し、地方観光を強化する取り組みを進め、地域住民にも愛される体験型事業・アクティビティとして新しい旅の魅力を作り出し、交流人口を増加させ、高い付加価値を生み出す産業に成長させ、関連産業とともに、新たなしごとと投資の流れを作ること、労働生産性、稼ぐ力を磨き上げて、若者を惹きつけるような「しごと」の増加に寄与し、市内経済の好循環を目指す。</p>
85	福島県	南相馬市	まちの駅「野馬追通り銘醸館」を活用した観光交流促進プロジェクト	南相馬市の全域	<p>本市の中央に位置する、まちの駅「野馬追通り銘醸館」における蔵の改修及び設備強化を行うことで、通年でのイベント開催の受入を行い、観光コンテンツとして利活用を促進していく。また、蔵の整備が行われることにより、館内のお食事処「食彩庵」と連携して団体客の昼食会場としても活用していく。さらに、会議室機能を付加することで、イベント等が少ない平日の利活用も促進していく。</p> <p>以上のような利活用方策により施設の利用者数が増えることで、館全体として収益の向上を図っていく。</p>
86	福島県	伊達市	歴史と文化のまちづくりによるビジネス創出プロジェクト	伊達市の全域	<p>周遊ルートの拠点設置を行い歩けるまちづくりを進め、街中を回遊する観光客を増加させるまちの駅を整備する。伊達市の農産物の販売、あんほ柿を初めとした六次化による高付加価値特産品及びアニメ「政宗ダテニクル」関連商品の販売並びにレンタルサイクル、イベントの開催等の事業を行うことにより収益を確保し、新たな観光産業を創出する。</p>
87	福島県	本宮市	英国との絆が創るもとみや好循環プロジェクト	本宮市の全域	<p>本宮市では、若年層の転出超過に歯止めがかかっていない。</p> <p>若年層は就学時の転出が多い現状から、大学等卒業後の地方への流れを促すとともに、観光資源が少ない現状から、域外から人やものを呼び込むため、地域の新たな価値を生み出す必要がある。</p> <p>そこで、英国ウィリアム王子来市により生じた全国唯一の英国王室とのつながりを契機と捉え、そのシンボルとなる「英国庭園」を整備する。庭園を新たな価値を生み出す拠点と位置付け、グローバル人材育成、交流人口拡大に伴う地域経済の活性化など地域の好循環に繋がる取組みを展開する。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
88	福島県	福島県伊達郡桑折町	「献上桃の郷」展開プロジェクト～地域と共に つくる農業振興活動拠点～	福島県伊達郡桑折町の全域	町立幼稚園統合後の旧園舎を改装し、農業振興活動の拠点として活用する。当町では、平成28年4月の「献上桃の郷」(平成6年～23年連続で皇室へ献上)商標登録認定など、上質な桃の産地としてブランド化事業等を推進しており、当該施設を活用し、「献上桃の郷」の情報発信基地としながら、農家所得の向上や生産者の意欲喚起にも繋がるよう、農産物PR・直販事業、農業体験・学習事業、農家レストラン及び6次加工施設・販売事業等を実施する。
89	福島県	福島県伊達郡桑折町	こおり未来のチカラプロジェクト～若者交流拠 点を通じた交流人口拡大計画～	福島県伊達郡桑折町の全域	ふれあい公園は、交通の便も良好なことから、地方創生に基づく取組みを契機に、各種の若者等交流イベントや、地元商工団体が主催する広域的なご当地グルメ交流イベントに活用され、一過性ではあるが町内への新しい人の流れ、賑わい創出に繋がってきた。当公園のさらなる効果的利活用の促進と、賑わいの創出のため、容易に会場設営が可能な多目的に活用できる常設の屋根付きステージを整備し、近隣市町に類のないユニークな多目的施設として、町をはじめ多くの活動団体等による地域振興イベント等を行い、若者交流活動拠点として活用する。
90	福島県	福島県安達郡大玉村	大玉村地域再生計画	福島県安達郡大玉村の全域	本事業は、現在、村営の農畜産物販売施設「あたらの里直売所」を隣接地へ規模を大きく新築することに伴い、空き施設となる直売所旧館の利活用策として、食堂スペースや厨房、6次化産品を含む加工品の開発・販売の核となる施設・設備を整備し、運営・経営を平成29年度に組織される予定の村民出資による株式会社等の法人組織に指定管理等で任せることにより、収益を村内に留め、村内で循環させるとともに当該法人への従業員の雇用により新たな雇用創出に繋げ、また、当該組織の5年以内の独立採算を目指す。
91	福島県	福島県南会津郡檜枝岐村	暮らしの拠点施設整備計画	福島県南会津郡檜枝岐村の全域	村の施設である「克雪管理センター」が老朽化している上に、入居している施設の一部移転の予定があるため、一度取り壊して同じ場所に「暮らしの拠点施設」を建設する。施設内には農協(購買・金融)、コワーキングスペースを整備し、住民及び観光客の利便性向上と、会議や交流の場とする。「暮らしの拠点施設」は、周辺の公衆浴場や歴史民俗資料館等の観光拠点およびガソリンスタンドと一体となり、サービスや雇用の場の提供の拠点となるものである。
92	福島県	福島県南会津郡南会津町	スキー場を核とした観光振興による地域創生 計画	福島県南会津郡南会津町の全域	会津高原たかつえスキー場に食事や交流活動などができる多目的交流施設(レストハウス)を新たに整備し、受入規模を拡大するとともに、地元の団体と連携して南会津ならではのメニューや郷土料理を提供するなど、魅力的な受入施設にすることで、スキー教室等の団体受入や一般スキー客の増加を図る。 また、友好都市であるさいたま市の少年自然の家が、平成30年度から当町の施設に一歩化されることから、ハード・ソフト両面の整備充実を図り、スキー教室や教育旅行の受入拡大につなげる。
93	福島県	福島県耶麻郡西会津町	森林資源を活用した産業の創出と雇用の拡 大による移住・定住者促進計画	福島県耶麻郡西会津町の全域	西会津町は、町の約86%を森林が占めている山間地帯であり、農林業を基幹産業としてきたが、農林業の衰退等による若者による転出と高齢化の進行による人口減少、さらに森林資源の有効活用が大きな課題となっていた。そうした中で近年若者を中心に園床キノコ栽培者が増加しており、移住による新規就農者も出てきている。そのようなことから、町内の遊休施設と森林資源を活用した園床キノコの大規模産地化を進めるとともに、園床キノコ栽培用オガ粉や木質バイオマスボイラー用燃料生産等、森林資源を活用した産業と雇用機会を創出する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
94	福島県	福島県耶麻郡猪苗代町	旧山潟小学校人の駅構想地域再生計画	福島県耶麻郡猪苗代町の全域	<p>本計画で活用予定の旧山潟小学校は廃校となって10年以上が経過しており、かつては子どもで賑わっていた学校を活用することで、人々の賑わいを取り戻すとともに、公共不動産活用事例の先例となる取組を実施する。</p> <p>また、既に町内で実施している農業体験などのグリーンツーリズム事業と連携することにより、人の流れ、人の賑わいづくりの相乗効果を生み出すものである。</p>
95	福島県	福島県大沼郡昭和村	<p>廃校を利用した人・もの・情報・経済の交流拠点機能強化による「住み続けたい村・住んでみたい村」づくりプロジェクト</p>	福島県大沼郡昭和村の全域	<p>昭和55年に廃校となり、多くの写真愛好家が撮影に訪れ、また、映画「ハーメルン」のロケ地となった旧噴丸小学校校舎を、観光施設として改修整備を行う。</p> <p>また、建物を利用し、移住・定住希望者に対する住宅、仕事等の情報提供・発信のワンストップ窓口を置き、さらには、村民が集い、学び、新たな事業活動を始めめる場として活用できるよう、交流スペース、催事場、貸店舗等の整備を行う。</p> <p>村内外の人々の交流拠点機能を強化し、観光や移住・定住の促進等の交流拡大及び村の産品を生かした事業活動の創出等を通じ村の活性化を図る。</p>
96	福島県	福島県西白河郡西郷村	「まるごと西郷館」を中心とした拠点づくり計画	福島県西白河郡西郷村の全域	<p>村では今後迫り来る人口減少社会へ対応していくために地方創生加速化交付金を活用し、小さな拠点づくりに取り組んでいる。この拠点内に雇用創出や流入人口の増加、村の活性化を目的とした、「まるごと西郷館」を整備する。「まるごと西郷館」は、農産物直売所を中心とした、交流コミュニティの形成拠点、移住希望者などへの情報発信など地域外からの新たな人の受け入れを行う。運営は、農業公社を設立し、飼料作物の販売や直売所の売上げ等による、自立した経営を目指す。</p>
97	福島県	福島県西白河郡泉崎村	泉崎村地域ブランド創出事業計画	福島県西白河郡泉崎村の全域	<p>本村の基幹産業である農業について、所得の面も含めて、若者や女性にとってさらに魅力のある「しごと」とするため、有機栽培農産物を主原料として、有機農産加工食品のJAS規格を取得し、「売れる6次化商品」づくりを実践し、村農産物のブランド確立と販売力を高め、稼ぐ視点での地域産業の6次化を推進していく。</p>
98	福島県	福島県東白川郡棚倉町	地域資源を活かした観光による棚倉再興計画	福島県東白川郡棚倉町の全域	<p>八槻都々別神社に隣接する町有地に「奥州一宮 八槻歴史の駅」を整備し、「町内の特産品」等の魅力を生産者等の自らの手により発信する。</p> <p>また、八槻都々別神社に近接する福島県指定の重要文化財である「八槻家住宅」を歴史的意匠を保持しつつ改修し、カフェ、レストランで休憩や食事しながらアート展示や音楽イベントを楽しむことのできる施設を整備し、文化財を観光資源として活用する。</p>
99	福島県	福島県東白川郡棚倉町	棚倉町健康交流推進計画	福島県東白川郡棚倉町の全域	<p>リゾート型多目的宿泊施設「ルネサンス棚倉」に所在する使用されていないテニスのクラブハウスを改修して、健康づくりや交流促進のための拠点整備を行う。既存施設内のフロント・ミーティングスペース、トイレ等を運動、活動スペース、受付スペース、インキュベーション・会議室、座学スペースとして整備する。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
100	福島県	福島県東白川郡塙町	竹を活用した地域再生計画	福島県東白川郡塙町の全域	整備した施設を活用し、「は☆竹まる」のブランドの普及、啓蒙効果を高め、収益の安定を目指すことで、新規就農者や農業体験ツアーなどを企画、運営する人材の育成など、竹林化した農地を含めた遊休農地の解消、交流人口の確保及びあらたなしごとづくり(しごと創生)を目的とする。
101	福島県	福島県石川郡石川町	「石川町で暮らしたい!」地域資源を活用した多機能交流拠点づくり	福島県石川郡石川町の全域	人口減少・高齢化により、地域の活力が衰退するなか、住民自らが主体となり、自立自走できる地域運営組織を運営し、地域課題の解決に向けた多機能型の取組を目指す小さな拠点施設を整備する。 あわせて、自由民権運動の活動家の活動拠点であり、本町固有の歴史文化の象徴でもある「鈴木重謙屋敷」を石川町におけるまちなか交流及びタレントレイルの拠点施設として再建し、歴史文化的資源を軸としたまちなかの賑わいづくりと地域及び地域経済の活力を強化することを目的とする。
102	福島県	福島県石川郡古殿町	古殿産木材の高品質化による収益向上	福島県石川郡古殿町の全域	本事業は低コストかつ高度に木材を乾燥できるバイオ乾燥機および不燃や耐腐朽等の特性を加えられる強靱化木材製造設備の作業場を町で整備し、製材所等が利用できるようにすることで木材の付加価値向上及び新規販路の開拓事業を展開し、雇用機会の創出、労働人口の流入を図るものである。
103	福島県	福島県田村郡三春町	三春町観光蔵活プロジェクト	福島県田村郡三春町の区域の一部(三春地区)	本町の観光客は三春滝桜の開花シーズンに集中しているが、中心市街地の消費にはつながっておらず、年間を通して町外から人が集まる持続的な地域づくりが課題となっている。 そのため、神社や仏閣などと並び本町の魅力のひとつである伝統的建築物の「蔵」を活用した観光拠点を中心市街地に整備することで、町外からの新たな人の流れと消費の拡大を図り、商業活性化に伴う雇用拡大にも結び付けていくことで、持続できる地域づくりを図っていくことを本計画の目的とする。
104	福島県	福島県田村郡小野町	小野町定住サポート整備計画	福島県田村郡小野町の全域	当町の町有財産を改修し、移住、起業、就農等の拠点等の整備を図るとともに、地元金融機関、農業団体等と連携して創業、就農支援に取り組みつつ、定住コーディネーターが移住全般に係るサポートを行い、移住、創業、就農等の環境整備に取り組むことにより、移住促進・地方創生人材の確保を図り、定住人口の増加、町の活性化等につなげることで町の人口減少に歯止めをかける。
105	福島県	福島県相馬郡新地町	フットサル場利用促進事業	福島県相馬郡新地町の全域	他市町村で解体されるフットサル施設を当町に移築することで新築よりも安価に整備し、子供らの健康増進と近隣市町村の若者の出会い・交流を深める。また、定期的に大会を開催することで交流人口の増加を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
106	茨城県	茨城県	茨城県立県民文化センター施設整備事業	茨城県の全域	<p>人々の価値観の多様化が進むとともに、急激な人口減少社会の到来や少子高齢化の進行を踏まえ、将来の文化を担う若い世代の人材育成や地域のニーズに沿った施策等を展開していく必要がある。県民文化センターは、本県の文化振興の拠点となる県立の文化会館であることから、練習室の増築により施設の機能強化を図ることで、施設の利用者の文化活動の発信や交流を活発化させることで、新たな本県の文化を創造するとともに、地域の活性化を図る。</p>
107	茨城県	茨城県	茨城県工業技術センター施設機能強化事業	茨城県の全域	<p>県内中小企業の競争力を強化するため、企業の生産性向上及び新製品・新技術開発による新規事業化に資する事業を実施する。生産性向上のため、中小企業へのIoT導入促進やシミュレーション等を活用した製品開発支援等を行うとともに、IoT関連技術者の育成や日本酒醸造職人の育成等を実施する。</p> <p>また、中小企業の新製品・新技術開発のため、電子機器等の製品開発、低アルコール純米酒の開発、研究機関や大学等と連携した共同研究による新製品や新技術の開発などを支援する。</p>
108	茨城県	日立市	ものづくりのまちの伝統・産業歴史遺産による「ひたちらしさ」再発見・活用・強化計画	日立市の全域	<p>本計画は、本市の「ものづくりのまち」としての100年を超える伝統・歴史を踏まえ、産業歴史遺産などの「ひたちらしさ」を再発見・活用・強化することで、交流人口・地域経済の拡大及び地域の活性化を図り、活力のあるまちの創生を行う。</p>
109	茨城県	常総市	地域コミュニティの再構築と災害に強い小さな拠点づくり事業	常総市の全域	<p>大生公民館再建予定地は、昨年の水害で約3mの浸水被害を受けた未来に語り継ぐべき場所でもあることから、再建にあたっては、水害・防災という切り口で、崩れかけたコミュニティを再生しさらなる活性化を図るための拠点として整備する。さらに、当該地は、本市のほぼ中央に位置し、さらには市域を東西南北に縦横断し他市に接続する幹線道路の交差点に隣接していることから、その地の利も活かし、単なる地域の公民館としてだけでなく、市民やさまざまな人が活用できる全市民的なコミュニティ拠点となる施設とする。</p>
110	茨城県	北茨城市	芸術によるまちづくり	北茨城市の全域	<p>廃校を活用して創作活動の場となる芸術活動拠点(アトリエ)を整備し、「芸術によるまちづくり」として芸術家の移住等を促進する。また、芸術家の収入確保対策の一環として、有償での芸術家によるワークショップや各種講座の開催、芸術体験ツアーによる誘客等とともに、Webでの情報発信や各種展示会への参加及び即売会の開催等により作品の販路の開拓・拡大を行うことで、総合戦略に定める数値目標「市町村間人口移動数」の達成を目指す。</p>
111	茨城県	那珂市	静峰ふるさと公園魅力向上事業	那珂市の全域	<p>本計画は、本市の特性である住みよさや交通の利便性、地域資源を生かし、官民協働で市の魅力向上の促進に取組みとして、市の観光資源である静峰ふるさと公園を再整備し、「静峰ふるさと公園魅力向上事業」を実施することにより、本市の交流人口増加を目指すものである。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
112	茨城県	行方市	テレビ放送公開収録用簡易劇場整備事業	行方市の全域	<p>行方市においては、防災・減災に向けた情報伝達手段の複合化を図る観点から、本年度、防災対応型エリア放送局を開局したが、平時においては、市民はもとより、各界各層との連携・協働の下での、市外の人材をも積極的に受け入れて、コミュニケーションツールとして確立する。</p> <p>放送・通信双方を活用しての発信が可能であるため、さらに、参加型劇場兼稽古場を整備し、起業家や発信の場を求める活動団体等を地域への誘客し、「賑わいづくり」を創出し、地域の活性化を図る。</p>
113	茨城県	鉾田市	鉾田市文化芸術振興事業	鉾田市の全域	<p>本市の生涯学習や文化芸術活動、市民交流の拠点施設として、(仮称)鉾田市民交流館の整備を行う。さらに、アウトリーチ事業、市民ミュージカル劇団の育成等の事業展開を積極的に行うことで、市民や民間企業等のニーズに応えるとともに、市民の文化芸術に対する満足度の向上を図る。また、事業を市民と一体で進めることにより市民協働のまちづくりを目指す。</p>
114	茨城県	茨城県東茨城郡茨城町	ラムサール条約登録湿地「瀧沼」を活かした観光拠点施設活性化計画	茨城県東茨城郡茨城町の全域	<p>公共施設の機能を最大限に発揮し、地域物産品の振興や新たな交流の拠点とするため、当町の観光拠点である瀧沼自然公園管理事務所の一部を販売施設として改修を行う。改修後の販売施設の運営は、茨城町観光協会の協力を得ながら実施し、地域の特産品、名産品等を販売する。</p>
115	茨城県	茨城県東茨城郡城里町	廃校を活用したまちの賑わい創出事業	茨城県東茨城郡城里町の全域	<p>本事業は、廃校となった旧城里町立七会中学校を「教育・スポーツと文化活動の拠点として町民が集い、交流ができる活性化の拠点施設と、災害時の防災拠点」を目指し、フットサルクラブ(J2)水戸ホーリーホックのクラブハウス及びグラウンドを整備するものです。あわせて七会地区の公共施設の集約も行い、施設管理の効率化により維持管理費の削減も進めます。年間10万人の集客を誇るプロスポーツ球団との連携により、知名度・魅力度の向上を図り、交流人口の増加により地域の活性化を図るものである。</p>
116	茨城県	茨城県猿島郡境町	河岸のまちさかい復興プロジェクト～DMO観光拠点としての「道の駅さかい」リノベーション事業～	茨城県猿島郡境町の全域	<p>本町は、観光産業の活性化による交流人口の拡大、地元経済の活性化を図るべく、平成28年9月に「株式会社さかいまちづくり公社」を設立した。同社では、県内4番目に誕生し今年で設立20周年を迎え「道の駅さかい」をその拠点としていく方針である。今後道の駅さかいをDMOの拠点、ひいては交流人口拡大の場として確立するため、茨城県内でも第一位の取扱高である「ふるさと納税」で取り扱う、梅山豚、さしま茶等地元の産品等を食べることでできる体験型の施設、いわば「ふるさと納税リアル店舗」を既存施設と隣接させ整備する。</p>
117	栃木県	栃木県	とちぎ産業技術支援拠点強化計画	栃木県の全域	<p>本計画は、栃木県産業技術センターの機能強化などにより、本県の主要産業である自動車産業を中心に次世代を見据えた研究開発を支援するとともに、本県の強みを生かした農業と連携した食品関連産業への支援、さらには地域の雇用を支えてきた伝統工芸品を始めとする地場産業の振興等、産業集積や豊富な地域資源を生かした産業振興を図り、経済状況や社会情勢に適切に対応できる産業の創出・育成を支援し、地域産業の競争力強化や更なる産業集積、これらによる雇用の維持・創出を目的とするものである。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
118	栃木県	栃木県	とちぎ産業情報発信機能強化計画	栃木県の全域	本計画は、年間を通して県内外から多数の来場者があり、本県の有力な産業情報発信の拠点となっている栃木県立宇都宮産業展示館レストランのインテリアや調度品に、優れた伝統工芸品である「益子焼」、「鹿沼組子」等や、「大谷石」等県産材を使用し、伝統工芸品を実際に手にとって使用できることに加え、伝統工芸品等に囲まれた生活スタイルが体験できるなどの情報発信機能を付加することで、伝統工芸品等の情報発信機能を強化し、地場産品の消費拡大や後継者の確保・育成、新たな雇用の創出など産地全体の振興を図るものである。
119	栃木県	栃木県	日光国立公園満喫プロジェクト推進計画	栃木県の全域	本計画は、平成28年7月に日光国立公園が環境省の「国立公園満喫プロジェクト」の対象に選定された好機を生かし、世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図るとともに、日光国立公園の中核地域である奥日光地域において、情報発信拠点「栃木県立日光博物館」とその周辺の機能強化などにより、外国人を始めとする来訪者の受入態勢整備等を行い、訪日外国人を中心に、国内外から多くの観光客を呼び込み、長期滞在を促進させることで、交流人口の増加と地域の活性化を図り、地方創生の実現を目指すものである。
120	栃木県	栃木市	栃木市渡良瀬遊水地ハートランド活動拠点化計画	栃木市の区域の一部(藤岡地域)	渡良瀬遊水地に隣接する本市の施設を活用し、関係団体等との連携により遊水地の自然や歴史、スポーツなど各分野の人材育成の拠点整備を行い、各種の養成講座を実施することで次代の後継者となる人材を育成していく。特に地域の特産であるヨシの指導者を育成し、新たな付加価値をもつヨシ製品の開発に取り組む事業を実施する。
121	栃木県	鹿沼市	音楽による若者活躍のまちづくり計画	鹿沼市の全域	本事業では、市民文化センターに併設している空き施設を改修し、音楽スタジオを設置することで、青少年の音楽活動を支えるとともに、本市の伝統文化である祭囃子の技術継承事業でも活用し、後継者の育成と若者の定住を促進していく。
122	栃木県	矢板市	「城の湯やすらぎの里」多機能化によるスポーツの拠点形成計画	矢板市の全域	「城の湯やすらぎの里」内の中心施設である城の湯温泉センター内に、スポーツツーリズムの拠点となる施設整備を行い、「城の湯やすらぎの里」全体の機能強化を図り、誘客を促進する。 あわせて、官民連携によるスポーツツーリズム推進協議会と連携しながら、誘客による効果を市内経済への好循環を生み出していく。
123	栃木県	那須塩原市	地域活動の拠点として機能する多世代交流施設の整備による「地域コミュニティの活性化」	那須塩原市の区域の一部(狩野地区)	多世代が交流することが可能な地域活動の拠点として狩野公民館「多目的ホール」を整備するもの。なお、「多目的ホール」は、隣接する公民館や「地域おこし協力隊」との連携を図り、高齢者見守活動や地域住民助け合い事業、ニュースポーツの活動拠点化を視野に入れた健康増進支援事業、世代間交流なども実施し、施設を有効に活用する。加えて、「地域学校協働本部」をモデル的に導入し、地域と学校との連携に基づく地域教育力の向上や地域活動の強化を図るとともに、災害時の避難所としての機能強化も図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
124	栃木県	さくら市	観光おもてなしと地域ブランド情報発信拠点整備計画	さくら市の全域	<p>さくら市の玄関口であるJR氏家駅前に観光拠点を整備し、観光客に対して「おもてなし」と地域ブランド製品の情報発信を行う。また、さくら市への移住情報、雇用情報を発信し、観光情報の発信による交流人口の増加をきっかけとして、定住人口の増加を図る。加えて、市民活動の拠点となるイベントスペースを設置し、市民活動を更に充実させ活動の活性化を図る。更に、赤ちゃんの駅、障がい者用多目的トイレ及びエレベーターを設置し、全ての人々がバリアフリーに利用できるものとする。</p>
125	栃木県	那須烏山市	地域の歴史と伝統を伝える観光拠点施設整備計画	那須烏山市の全域	<p>本市の中心市街地に位置する「山あげ会館」を改修し、これまでの外郭団体や大学及び金融機関、関係市町等との取り組みによる首都圏への観光PRや商品開発、体験ツアー、JR烏山線の利用向上策などを継続しながら、観光拠点としての山あげ会館の魅力と機能を高め、さらには、山あげ会館を通して本市の歴史・文化に触れることによりまちの魅力を感じてもらうとともに本市の観光の情報発信やまつりの体験、市内散策、周遊できる観光ガイドブックの作成等を実施する。</p>
126	栃木県	下野市	下野薬師寺歴史館増改築事業	下野市の全域	<p>歴史館の北東にある来訪者休憩スペースの北壁を撤去し、約45.2㎡の増築・増床を図り、バス1台分(約50名)の団体客の見学対応が可能なスペースを確保するとともに、VRコンテンツ活用及びその解説に当たる市民ボランティアの活動スペースとして利活用を図る。さらに、年間3,000人を超す県内児童の歴史学習時の雨天時対応や定例で開催しているボランティア講座の活動スペースなど、現に実施する活動の活性化を促進することも視野に入れた、多目的な利活用を図るもの。</p>
127	栃木県	下野市	民俗資料館「夜明け前」リノベーション事業	下野市の全域	<p>江戸末期の農家住宅である民俗資料館「夜明け前」を、国分寺跡等の集積する史跡公園という雰囲気を生かした古民家カフェ及び多目的スペースとしてリノベーションする。夜明け前に隣接する資料展示室であった建屋をテイクアウト方式のテリカテッセン形式の厨房兼売店に改修することで、古民家部分を観光客の休息所兼飲食スペースとしてだけでなく、市民展示や演奏会などのフリースペースを設け、通年・多目的な観光客及び市民の憩いの場とする。運営は実績のある市民団体を想定し、かんぴょうや地元野菜を使った地産地消メニューを提供する。</p>
128	栃木県	下野市	グリムの館「お菓子の家」施設整備事業	下野市の全域	<p>グリム童話の世界観をテーマにした「グリムの館」前の広場にヘンゼルとグレーテルの「お菓子の家」をコンセプトにした売店を別棟で増築し、加工所の機能を持った売店等の商業施設とする。1階の売店跡の空いたスペースに図書コーナーを移動し、2階の図書コーナー跡の空いたスペースをミーティング室(小会議室兼控室)に改修して多目的に利用できる貸室に模様替えする。利用者の利便性を向上させるとともに、施設の収益性を高め地域への経済効果と地方創生に資する人材の育成を図る。</p>
129	栃木県	栃木県河内郡上三川町	地域福祉の縦横連携計画	栃木県河内郡上三川町の全域	<p>障がい児とその家族に対するサービスを充実し、その家族が相談しやすい窓口と、障害の程度に応じた適切なサービスが受けられるよう乳幼児健診からサービス受給開始までの一貫した障がい児支援のためのコンシェルジュを育成・確保します。また、障がい者支援コンシェルジュにより、障がい児を持つ家族の社会進出を促進し、誰もが社会で活躍できるまちを目指し、複数の子どもを望む親の出産を後押しします。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
130	栃木県	栃木県芳賀郡益子町	引き出せ脳力・伸ばせ才能・子育て応援プロジェクト	栃木県芳賀郡益子町の全域	未来にはばたく人財の育成及び子育てを地域ぐるみで育む環境づくりの拠点として、子ども子育て支援施設を設置する。子どもや若い世代・子育て世代を中心に世代や分野を超えた様々な人々が集い多世代で交流、情報交換や催しもの等を実施する。併せて、空き店舗を活用し、街中の活性化を図る。自主事業として、子どもの脳や心の成長・発達に合わせた生まれながらにもつ才能を伸ばす育脳プログラム「ましこ・わくわく・子ども子育て・孫育てプログラム」を子育てサポーター(育脳子育てサポーター等)との協働で実施する。
131	栃木県	栃木県芳賀郡益子町	ましこ観光振興推進プロジェクト	栃木県芳賀郡益子町の全域	益子町では、地方版総合戦略であり総合計画でもある「ましこ未来計画」の基本目標「風土に根ざした産業をつくる」を達成するプロジェクトとして、「観光の基幹産業化」に取り組むこととしている。 (仮称)平成館を整備し、当該地域における観光資源を活かして滞在型観光を牽引する人材や経営者を育成することで、観光入込客数及び宿泊者数を増加させて、地域経済の活性化につなげるとともに、観光関連産業の成長による雇用の創出や、定住人口の増加にも波及を図ることで地域の再生を目指すものである。
132	栃木県	栃木県下都賀郡壬生町	健康スポーツによる地域交流促進計画	栃木県下都賀郡壬生町の全域	2020東京オリンピックの追加競技となった若者に人気のある「スポーツクライミング」を核として、町民交流の活性化や広域交流人口の拡大による地域振興、コミュニティ機能の維持・強化、町民健康の増進や働き方改革などを図るため、スポーツクライミング施設等を整備して、町内全域においてスポーツクライミング関連事業を推進する。
133	栃木県	栃木県下都賀郡野木町	安心な暮らしを提供するワンストップ窓口による全町民交流拠点整備事業	栃木県下都賀郡野木町の全域	本事業は、生涯活躍の推進に向け、複数部局にまたがる医療・健康増進・介護・障がい・子育て等の窓口を一元化し、民間事業者とともに各政策を連携させるものである。さらに、近隣住民と協働しソフト事業を展開していく。 その拠点として、役場・町保健センターから近く都市公園とも隣接しており、利便性の高い旧保育所を整備し、誰もが立ち寄れる多世代交流施設としても運営していく。さらに、各種サポーターの人材育成の場、情報発信拠点施設としても活用していく。
134	栃木県	栃木県那須郡那須町	田中地区地方創生拠点整備計画	栃木県那須郡那須町の全域	廃校となった小学校を中小企業等育成支援スペース、子育て支援スペース、地域コミュニティ組織支援スペース、高齢者支援スペース、体育施設スペースとして一体的に整備し、人口減少下でも持続可能な地域づくりの拠点とする。 また、地方創生拠点整備交付金で整備する施設の近隣住宅地に、町単独事業で子育て世代向けの定住促進住宅を整備して子育て世代の転出抑制、移住定住の促進を図る。
135	群馬県	群馬県	蚕糸絹業情報発信拠点整備	群馬県の全域	群馬県は全国一の繭・生糸生産を誇り、養蚕・製糸・織物・流通の一連の産業が現存する唯一の県である。「絹の国ぐんま」の魅力を発信し、絹産業の再興と地域活性化を促進する施設として、日本絹の里の充実を図ることにより、県外在住者を呼び込むとともに、シルク産業だけでなく、地域全体の収益向上や交流人口の増加を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
136	群馬県	群馬県	花と緑の観光拠点整備	群馬県の全域	ぐんまフラワーパークは年間約28万人が訪れる花と緑の憩いの場である。県内には多くの地域資源があるが、農業分野や文化など多様な関係者の巻き込みが不十分で、県内周遊に生かし切れていない。そのため、ぐんまフラワーパークに総合活用センターを整備し、地域の魅力を広く提供・発信することで観光誘客を図り、交流人口の増加につなげるとともに、地域産業の振興と雇用の創出等の地域経済活性化に結びつけることを目的とするものである。
137	群馬県	群馬県	リンゴ研究拠点整備	群馬県の全域	群馬県のリンゴ栽培面積は全国第7位で、本県果樹の基幹品目となっている。しかし、生産者の高齢化や後継者不足等により作付面積は減少傾向にあり、また、観光果樹園への来客数も停滞傾向にある。そのため、群馬県農業技術センター中山間園芸研究センターにおいて、ほ場を整備し、新たなオリジナル品種の早期育成を図り、安定栽培技術を確立するとともに、効果的な産地PRを行うことで、リンゴ産地としての維持発展と地域振興を図るものである。
138	群馬県	群馬県	コンニャク研究拠点整備	群馬県の全域	群馬県は全国一のコンニャク産地である。近年ではこんにゃく製品の国内消費量は停滞傾向にあり、海外販路も視野に入れ、コンニャクの用途開発や消費拡大に向けた取り組みに力を入れる必要がある。また、国際化が進む中、農業経営上では一層の省力化と土地生産性の向上による低コスト化が重要な課題となっている。そのため、多収量・高品質を維持しつつ、さらに病害に強い品種の早期育成のための研究を行っていく。
139	群馬県	群馬県	野菜・花きの総合研究拠点整備	群馬県の全域	群馬県は全国有数の園芸産地であるが、担い手不足や生産者の高齢化が深刻な課題となっている他、産地としての知名度向上による販売力の強化が重要な課題となっている。そのため、最新式の高湿度環境制御施設の導入により、効率的で生産性の高い技術の確立や新品種の作出を行い現地普及を図ることで、本県農業の魅力を高め、新規参入者や担い手を確保することで、地域農業の振興と農業所得の向上を目指すものである。
140	群馬県	群馬県	障害者スポーツ拠点整備	群馬県の全域	群馬県立ふれあいスポーツプラザにおいて、陸上競技場の第4種公認取得のための整備やアーチェリー場の射路拡幅等の整備を行い、全国に例のない障害者スポーツの拠点施設として整備することで、障害者の活躍を応援するとともに、全国から人を呼び込み、障害の有無にかかわらず、交流できる社会の実現を目的とする。
141	群馬県	群馬県	浅間高原地域拠点整備	群馬県吾妻郡長野原町及び嬬恋村の全域	浅間高原地域は、平成28年9月に日本ジオパークに認定されたところである。(名称:浅間山北麓ジオパーク) これを契機に、これまで観光客への開放を一部に制限してきた浅間家畜育成牧場を家畜防疫の強化を図った上で、観光拠点として開放できるように整備するとともに、他のゾウサイトである観光施設と連携し、地域全体として相乗効果を生むことで、新たな観光エリアとして生まれ変わり、「観光」を原動力として、地域経済の活性化、雇用創出を実現することを目的とするものである。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
142	群馬県	群馬県	内水面水産研究拠点整備	群馬県の全域	群馬県水産試験場では、遊漁者ニーズに応えるため、釣り人が求める「強い引き具合と美しさ」を兼ね備えた遊漁ニジマス(商標名:「ハコスチ」)を作出し、商標登録したところである。 この「ハコスチ」の飼育技術の確立と安定供給技術の研究に取り組み、早期普及とブランド化を図り、地域資源として活用していくことで、内水面漁業の振興と観光振興を目指すものである。
143	群馬県	群馬県	養鶏研究拠点整備	群馬県の全域	群馬県では、年間で約700万羽前後のプロイラーが生産されている。また、エサや飼育期間・環境などにこだわった銘柄鶏も生産されている。 新たな卵用地鶏の作出や国内最大級の地鶏である「上州地鶏」の更なる改良によるブランド化を図ることで、農家の所得向上と新規参入・雇用創出を実現し、地域振興を図るものである。
144	群馬県	群馬県	優良種苗研究拠点整備(カラマツ)	群馬県の全域	近年、カラマツは合板や集成材のラミナ等として需要が増えているが、種子不足により、苗木が不足しており、皆伐、再造林が滞っている状況である。 そのため、安定的な苗木の供給体制の確立による持続経営可能な森林づくりと林業の雇用の創出を図るため、新たなさし木増殖技術の開発研究に取り組むものである。
145	群馬県	群馬県	繊維産業高度化のためのオープンイノベーション創出拠点整備	群馬県の全域	群馬県繊維工業試験場は、繊維に特化した全国唯一の公設試として、繊維製品の性能評価、試作加工、研究開発に取り組んでいる。 繊維産業をより高度なものへと進化させていくため、多様な関係者が集い、人と技術の交流拠点となるオープンイノベーションの場を形成する。これにより、地場繊維産業におけるイノベーション創出を促し、地域産業を活性化させ、新たな「しごと」を創出していく。
146	群馬県	群馬県	蚕糸研究拠点整備	群馬県の全域	群馬県は全国一の養蚕県であり、繭生産量は全国の35%を占める。しかし、化学繊維の普及による需要と価格の低迷、生産者の高齢化、担い手不足等により農家数、繭生産量とも減少の一途を辿っている。 そこで、遺伝子組換えカイコ(GMカイコ)による新産業の創出、群馬オリジナル蚕品種の維持・育成、省力・作業負担軽減対策と新規参入者の育成を実現することにより、養蚕業の生産性の向上、所得向上を図ることで、地域の活性化につなげるものである。
147	群馬県	みどり市	廃校を活用したみどり市多世代交流館～Link～整備による地域交流推進プロジェクト	みどり市の全域	平成24年3月に閉校となった旧福岡西小学校を活用し、みどり市多世代交流館～Link～基本構想に基づき、子育て応援、公民館(貸館)、交流、スポーツ等の機能を持った多世代交流施設を整備し、過疎化が進む地域において様々な年代の人たちが交流する拠点とする。整備後は貸館事業を通じて幅広い年代へ施設を開放し、子育て支援講座や講演会、料理や健康教室等を実施することで、過疎化が進む地域にあって孤立しがちな子育て世代の親の交流の場、若者の出会いの場、高齢者の社会参加の場など、様々な世代がつながり賑わう場とする。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
148	群馬県	群馬県北群馬郡吉岡町	地域で育む福祉交流のまちづくりプロジェクト	群馬県北群馬郡吉岡町の全域	本計画では、町が寄附を受けた住宅(空き家)を地域の誰もが気軽に利用可能な交流施設として改修し、認知症カフェを始めとした様々な交流事業を展開することにより地域コミュニティの再生を図り、地域から疎遠となり本町を転出してしまふ高齢者等の定住を促進する。運営にあたっては、吉岡町社会福祉協議会のサポートのもとボランティアが主体となり、自治会、NPO、近くの小学校や学童クラブ、群馬県等と連携し、地域の福祉交流拠点としての機能を充実させるとともにボランティアの育成を図る。
149	群馬県	群馬県多野郡神流町	地域資源活用プロジェクト	群馬県多野郡神流町の全域	本事業は、明治期の養蚕農家の古民家を宿泊施設に再生し、敷地内の畑や隣接した神流川を活用した体験型の宿泊施設を整備。宿泊施設整備で雇用創出を図り、イベントや観光施設と連携し交流人口の増加とあわせた移住のための足がかりをつくり、古民家の田舎暮らし体験で本格的な移住定住に結びつける。また、体験型古民家の産業振興で地域内の観光消費額の拡大を図る。木造2階建ての1階には、土間、いろり、ラウンジ、食堂、厨房、浴室、2階には客室を5部屋整備。敷地内に、あずまやを増築し、自然体験や田舎暮らし体験を提供する。
150	群馬県	群馬県甘楽郡南牧村	未来へつなぐ、交流から移住、移住から定住への発展計画	群馬県甘楽郡南牧村の全域	地域コミュニティの強化、高齢者の生きがい創出、若者、子育て世代の移住促進を図るため、地域内外の高齢者、若者、子供が食事をとりながら、世代を超えての交流を通じて、高齢者は生きがい創出、若者や子供は高齢者の培ってきた「経験」「知識」「技術」の「財産」を譲っていただく多世代交流カフェの整備を実施する。また、若者、子育て世代の移住を促進するために、移住希望者が自ら環境を体感していただき、真に本村の魅力を発見することで、定住へ向けてのステップとなる定住拠点の整備を実施する。
151	群馬県	群馬県吾妻郡中之条町	観光地における6次産業化を見据えた特産品等販売と観光資源保護による持続的な交流人口増加プロジェクト	群馬県吾妻郡中之条町の区域の一部(六合地区)	チャソボミゴケ公園をモデルに、特産品等の販売施設を整備する。施設では地元の主要産物である高原野菜や花卉を中心に販売を行うが、各特産品6次産業化を見据え、町より各生産者へ助言、指導を行い、製品加工等による高付加価値の特産品販売へとつなげる。また併せて群生地への車両乗入を禁止し、前述既存施設に隣接する駐車場を整備し、新たに導入する入園者搬送用バッテリーカートにより群生地への運搬を行うことで、限られた資源である苔群生地を保護し持続的な観光客の増加を図り、販売施設を拠点とする本事業の効果を一層促進する。
152	埼玉県	埼玉県	さいたま抹茶振興モデル計画	埼玉県の全域	狭山茶産地の生産振興のモデルとして製茶工場に抹茶製造プラントを整備し、GAPなどに基づく衛生管理を行う。これらにより、二番茶等を有効活用するための抹茶の試験研究及び技術普及、さらには狭山抹茶の消費PRなどを実施し、需要の拡大を図る。
153	埼玉県	埼玉県	農業大学校による直売所を活用した地域経済活性化計画	埼玉県の全域	大学校が立地する周辺地域では、農産物直売所のように多くの人が集える場所が少なく、創設の希望があった。そこで、農業大学校内に直売等施設を整備し、農業大学校産の農産物や近隣の6次産業化地域特産品等を販売し、地域内外からの来客者との交流を促進することで、地域の活性化を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
154	埼玉県	埼玉県	食と農の拠点づくり計画	埼玉県の全域	埼玉県農林公園を埼玉県の「農林業・農山村を知って食べて体験してもらおう食と農の拠点」として整備し、情報発信を行うもの。これにより、多くの人々に農林業体験、木育、農産物情報等に触れることのできる機会を設け、それを起点にして、県内の観光農園や農林業体験施設、農産物直売所などに足を運んでもらい、都市と農山村の交流による農山村地域の活性化を図る。
155	埼玉県	埼玉県	先端関連製品等実証フィールド整備計画	埼玉県の全域	埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)内に、ロボットや航空・宇宙、医療などの先端作業分野において研究開発された製品・試作品の信頼性を評価・実証するための試験場を整備する。降雨、降雪、極低温、低圧など様々な環境試験をワンストップで行える試験場を整備することで、県内中小企業の先端産業関連の製品開発を強力に支援し、地域企業の生産性向上と国際競争力の強化を図る。
156	埼玉県	埼玉県	埼玉型先端養殖施設整備計画	埼玉県の全域	キンギョ、ヒレナガニシキゴイ等の埼玉観賞魚の優位性を確固たるものにするため、埼玉で独自に開発したウィルス抵抗性キンギョ、ヒレナガニシキゴイの育種を効率的に進める施設を整備するとともに、実用化への要望が高い全雌ホンモロコなど付加価値の高い新魚種の養殖技術開発を進めるため低コスト高密度循環飼育池を整備する。
157	埼玉県	埼玉県	豚の極少量精液による夏季受精率向上技術確立のための施設整備計画	埼玉県の全域	畜産はTPP等の貿易自由化の動きや気象災害、飼料価格の高騰等で経営の基盤が弱体化しており、農村地域の活力低下につながっている。中でも養豚は夏期の高温による雌豚の受胎率低下が経営の不安定材料になっているため、対策が急がれている。そこで畜産の中でも、供給量の季節変動が著しい養豚において、生産性を高める技術開発とその普及によって経営力を高め、安定した養豚基盤を回復し、農村の活性化を図る。
158	埼玉県	行田市	街なか賑わい創出プロジェクト	行田市の全域	本市では、人口減少と少子高齢化により街中の活気が薄れてきている。一方、現在も残る足袋蔵等を目当てに近年観光客は増加傾向にあるが、休憩施設や特色ある飲食メニューを提供できる店舗が少なく、来訪者の増加が賑わいに繋がっていない。そこで、歴史的建築物の洋館という本市ならではの地域資源を活用し、街中の水城公園東側園地に子育て世代や観光客が集い、交流することができる拠点施設を整備することで、若い子育て世代の定住促進と、交流人口の更なる拡大を図り、賑わいを創出することで活力ある地域を創る。
159	埼玉県	加須市	三県境と渡良瀬遊水地のワイズユースプラン	加須市の全域	本事業では、三県境と渡良瀬遊水地へのエントランスやビジターセンターとして活用されている「道の駅きたかわべ物産販売施設」を加須市において改修し、栃木県栃木市、群馬県板倉町、埼玉県加須市の共同PRを行うためのアンテナショップとして活用する。また、地元農産物等を活用した新メニュー開発を行い、農村レストランにおいて提供する。施設経営は指定管理者の自主財源で運営し、物産販売施設及び農村レストランで販売する農産物は、地元の農産物直売所出荷組合において生産したものを提供する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
160	埼玉県	狭山市	入間川とことん活用推進計画	狭山市の全域	入間川河川敷の魅力を生かしたサイクリングやバーベキューなどのレジャー施設を備えた観光拠点を民間活力の導入により整備するとともに、狭山市駅からの導線となる狭山市駅周辺中心市街地の拠点を整備することで、サイクリストを中心とした様々な行楽客を集客し、2つの拠点(中心市街地と河川敷)を回遊する新たな人の流れを創出する。
161	埼玉県	入間市	入間市近代化遺産等整備活用計画	入間市の全域	近代化遺産である「旧石川組製糸西洋館」を改修し、収益性のある施設とするとともに、貴重な地域資源として整備することで、市の魅力を発信する場、シテイセールスの拠点として多様な事業を実施する。また、近在する入間市駅からの導線を考慮するとともに、地区に点在する他の歴史的遺産を整備していくことで、一体的な活用を図っていく。
162	埼玉県	桶川市	地域資源を活かした交流拠点づくりによる地域活性化プロジェクト	桶川市の全域	本市の観光まちづくり拠点のひとつである施設「べに花ふるさと館」における歴史的建造物(古民家)と、桶川でゆかりのある「手打ちうどん」を地域資源とし、周辺から人を呼び込む拠点形成を図る。施設の目的である地域間交流と食文化による地域振興について、地勢も含めニーズの変化に即応した施設に改修する。また、周辺からの来館者を誘引するため、案内標識の設置をはじめ、近隣の観光資源(施設)や旅行事業者に対してのPRを展開し、多くの来館者を呼び込むことで地域の活性化と地方創生を図る。
163	埼玉県	北本市	野外活動センターの多機能化のためのリノベーション事業	北本市の全域	現在、北本市では人口減少が進んでおり、特に若い世代の転出傾向が続いている。今回、野外活動センターの多機能化のためのリノベーション事業として、野外活動センターに新たな魅力や価値を付加することにより、新たな多世代交流の拠点施設とし、さまざまな分野のさまざまな主体が集まり、活用され、交流が生まれる場となるよう創造的にリノベーションする。これにより、北本市の魅力を高め、住民にとって「住み続けたい」と感じられる施策を展開させ、街づくりに不可欠な若い世代の流出抑制・流入促進を図ることを目的とする。
164	埼玉県	三郷市	日本一読書のまち「三郷」一人ひとりが活躍できる読書でつなぐ育成の拠点づくり	三郷市の全域	本市では、独自の取組みとして「日本一の読書のまち三郷」を推進しており、図書施設や読書環境のさらなる充実を図ることにより、読書を通じた交流・意識醸成を生み出し、さらに各施設が地域の「読書でつなぐ人の育成」の拠点として連携機能することで、障がい者や子育て世代など、子どもから高齢者というあらゆる世代に向けた就労や子育てなどの情報発信や支援、学びの場として、市民全体への意識や意欲の向上に働きかけ、誰もが学び活躍できる環境の創出につなげることを目的とするものである。
165	埼玉県	鶴ヶ島市	鶴ヶ島市地域の交流・安心創出プロジェクト	鶴ヶ島市の全域	鶴ヶ島市では、高齢化の急速な進行により、高齢者の生活支援需要にサービスの供給が追い付かず、また、地域共助の中心であった自治会も担い手が不足しており、コミュニティも希薄化している。今後、地域課題に対応していくためには、行政や自治会を補完する新たな支え合いの仕組みが必要である。これを解決するため、自治会、市民活動団体、NPO法人、企業を含めた様々な主体の交流と連携を支援して、地域コミュニティの再生を核に地域を活性化させ、誰もが安心して生きいきと暮らせるまちをつくり、人口の流出を抑制する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
166	埼玉県	日高市	多世代型地域共生社会に向けた拠点強化・コミュニティビジネス推進一体プロジェクト	日高市の全域	高齢者及び障害者の福祉の増進を目的とした総合福祉センター内に、新たに子育て拠点施設を整備し、高齢者、障害者、子ども及び子育て世代といった、多様な世代の相互交流の場として総合福祉施設の拠点性強化を図り、多世代型地域共生共助社会の構築に向けた拠点機能を高めるとともに、福祉分野におけるコミュニティビジネスの推進を一体的なプロジェクトとして実施する。
167	埼玉県	ふじみ野市	ふじみ野市 選ばれるまちづくり戦略	ふじみ野市の全域	当市の生産年齢人口は1990年をピークに減少傾向が続く一方、老年人口は一貫して増加が続き、総人口も2030年を目途に減少に転じるという将来展望が推計され、地域活力の低下に対する取組が喫緊の課題である。そこで、地域間競争に耐えうるふじみ野市を再生する戦略として、地域資源を活用した賑わいの創出と地域活性化により市外からの新たな人の流れをつくるとともに、子育て支援策により恵まれた住環境を周知することで、多くの若者及びファミリー層から「選ばれる」まちづくりを目的とするものである。
168	埼玉県	埼玉県入間郡毛呂山町	桂木ゆずブランド化事業	埼玉県入間郡毛呂山町の全域	本町の特産物である桂木ゆずのブランドイメージを高め、商品開発や販路開拓を進めるとともに、ゆずの付加価値を高めて収益の拡大を図る。
169	埼玉県	埼玉県入間郡越生町	越生自然休養村センターふれあい魅力アップ整備事業	埼玉県入間郡越生町の全域	本町の農業は、社会経済状況の変化や農業従事者の高齢化などに伴い、若者の農業離れや農業収益の減少、耕作放棄地の増加など、大きな課題を抱えている。本事業は、本町における農産物の重要な販売拠点である越生自然休養村センターをリノベーションし、多様な主体と連携しながら販売力を強化することで、農産物の売上増加を図り、生産農家の収入増加や新規就農者、農業後継者の育成など雇用創出につなげ、農家のやる気を育むとともに農業振興と観光振興が連携した“心”の満足度を大切に都市農村の交流結節点を目指すものである。
170	埼玉県	埼玉県比企郡嵐山町	地域活力創出拠点整備事業計画	埼玉県比企郡嵐山町の区域の一部(菅谷地区)	嵐山町の中心地及び町の玄関口である東武東上線武蔵嵐山駅内の未利用地を利用し、嵐山町の地域活力を創出する拠点を整備する。(仮称)地域活力創出センターは、観光総合案内のみでなく、町内外の様々な情報を幅広く発信し、その活用を行う施設とする。観光案内所、就労・居住相談場所、町民や観光客の憩いの場、災害における駅窓口(帰宅困難者対策)、物産販売(開発中の特産品を含む)、地域資源をつなげる拠点として、多くの方が訪れ、愛される施設となる。
171	埼玉県	埼玉県比企郡小川町	小川町子ども子育て拠点施設整備事業計画	埼玉県比企郡小川町の全域	子ども子育てコンシェルジュなどの配置を通じ、妊娠前から子育て期まで切れ目のないワンストップの支援体制を整備するとともに、点在しているソフト事業や新規事業を中央拠点に効果的に集積し、コンパクトシティの形成を促進することにより、誰もが利用しやすい、地域における子ども子育て支援の拠点施設として整備。子育てサロンや各種教室・講座をはじめとする施設の活用を通じ、町総合戦略の基本目標である出生数の増加や子育て世帯の転出超過傾向の改善、移住・定住の促進に寄与することを目的とする。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
172	埼玉県	埼玉県比企郡小川町	小川町地域資源PR拠点整備事業計画	埼玉県比企郡小川町の全域	小川町下里地区には有機農業集落、下里青山板碑製作遺跡、豊かな里山の自然があり、多くの方が来訪しているが、風景を眺めて、そのまま帰ってしまうことが多く、次のスポットへと繋ぐ拠点の整備や地域の収益に繋げる仕組み作りが課題となっている。そこで廃校となった旧小川小学校下里分校の一部を整備し、地域資源PR拠点として活用し、賑わいの創出を目指す。また、整備施設で有機・無農薬食材及び飲食を販売提供。小川町ブランドとしてのPRや、有機・無農薬食材の販路拡大等を行い、仕事の創出・地域の所得向上を図る。
173	埼玉県	埼玉県比企郡ときがわ町	ときがわ町活き生き活動支援計画	埼玉県比企郡ときがわ町の全域	町民同士の交流を促進し、活き生きとした生活を支援するためのコミュニティ施設「ときがわ町活き生き活動センター」を整備し、多世代の町民の交流を深めるための場を創出する。同施設を拠点として、住民同士のコミュニティ形成や住民活動の活性化を促進する「ときがわ町活き生き活動支援事業」、住民等の不安や課題を解決し、健やかに安心して生活を送る「ときがわ町活き生き生活創出事業」を軸に、町民の「自助」「共助」を促進するための事業を展開することで、まちの賑わいを創出する。
174	埼玉県	埼玉県秩父郡長瀬町	長瀬町生涯活躍のまち推進計画	埼玉県秩父郡長瀬町の全域	本町は埼玉県の観光地としては知名度はあるものの、移住定住の場としての認知は低く、国勢調査の人口は7324人とピーク時より約1800人減少している。平成25年度の合計特殊出生率は1.02と低く、高齢化率も35%となり少子高齢化が進んでいることから、地域の活力である「若者定住の増加」と「子育て環境の充実を図る」ために、元氣なシニア世代を活用した地域全体による子育て支援の推進と、集約化によるコンパクトなまちづくりを目指す。
175	埼玉県	埼玉県北葛飾郡杉戸町	杉戸町魅力発信推進計画	埼玉県北葛飾郡杉戸町の全域	杉戸町は、日光街道杉戸宿としての歴史を持ち、開宿400年(平成28年)を契機に地域の魅力再発見や創出に取り組み、地方創生加速化交付金を活用した宿場まつり、まち歩き、グルメ開発など観光客の誘致による交流人口の増加や定住促進を行っている。このため、観光の拠点となる施設を建て直し、住民が主体的に観光、土産、農産物などの情報を発信するための整備を行うことで、観光客の商店等への立ち寄りや、商品の製造・販売の増加につなげ、地域経済の好循環による町の活性化を図る。
176	千葉県	船橋市	ふなばしアンデルセン公園を拠点とした交流人口増加・地域経済活性化計画	船橋市の全域	全国では人口減少が始まっている中、東京圏に位置する本市においても、平成37年を目途に人口減少局面に転じる見込みとなっている。人口減少は、消費・経済の停滞を招くことから、交流人口を増加させ、来訪者に地域で消費してもらい、地域経済の活性化を図る必要がある。 そこで本市を代表する観光施設である「ふなばしアンデルセン公園」において、増加している来場者を地域消費拡大につなげる施設を整備することで、地域経済の活性化を図る。もって、人口減少時代にあっても、活気と賑わいのあるまちであり続けることを目指す。
177	千葉県	茂原市	農産物直売所を起点とした魅力ある農業創出事業	茂原市の全域	現在の直売所の面積は30坪と狭隘であり、陳列スペースの不足により組合への新規加入者の受け入れができない状況となっている。そのため、新たに約100坪の店舗を新設することにより、新規組合員の加入による農業者数の増加だけでなく、6次産業化の推進、加工品の試作や研修を行うスペースの設置、また、新規就農者等への相談窓口を設置すること等により、地域農業の更なる振興を図るための拠点として整備を進める。さらに、セミナー等の開催による地域を牽引する人材育成にも取り組み、地域経済全体の活性化を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
178	千葉県	佐倉市	佐倉市印旛沼周辺地域活性化計画～観光拠点施設「佐蘭花(さらんか)」の機能強化による観光産業等活性化プロジェクト～	佐倉市の区域の一部(佐倉地区、臼井地区及び志津地区)	佐倉市では、これまで佐倉ふるさと広場において観光イベントの充実や、観光・学習船の運航開始等を実施し、市内外から多くの来場者が訪問。 ただし、佐倉ふるさと広場管理棟「佐蘭花」は、来場者数の増加に伴い、滞在スペースの欠如、農産物等の売場面積の不足等、来場者に対するサービス提供が十分に図られているとはいえない状況。 そのため、佐蘭花に憩い・学習スペースの新設や売場面積の拡大等を行うことにより、来場者数や売上高、雇用の増加につなげ、新たなヒトの流れをつくり、印旛沼周辺地域の活性化を図る。
179	千葉県	東金市	道の駅を核とした6次産業化と観光による地域活性化プロジェクト	東金市の全域	千葉市・都心への通勤圏として人口の増加を続けてきた本市であるが、近年は約6万人前後で推移しており、2060年には約3万4千人まで減少するとの推計もある。また、主要産業としてきた農業の衰退も顕著であることから、市内随一の集客力を有する「道の駅」に農産物加工工場と観光案内窓口を整備し、地域農産物を活用した特産品等の製造・販売や集客を地域に回遊させることにより、農業振興、観光その他の産業の活性化に繋げ、地域の稼ぐ力を向上させることを目標とする。
180	千葉県	鴨川市	鴨川市総合交流ターミナル「みんなみの里」の機能拡充計画	鴨川市の全域	地域の埋もれた農産物資源の高付加価値化と新たな商品開発を支援するため、既存施設に隣接させる形で加工を伴う開発工房を整備する。 また、物販や食事提供をより効率的で多様な営業形態に改良するため、抜本的な既存施設内の配置換えを行うとともに、気軽に立ち寄りやすい屋外交流サロンを整備する。 これにより、農家の所得向上と新規雇用の創出、ひいては、都市農村交流を通じたインバウンド観光や移住・定住の促進といった好循環を形成する。
181	千葉県	鴨川市	里山オフィス整備計画	鴨川市の全域	地域の活性化に向けて活動する団体又は企業等の集積を進め、地域の活性化と相乗的に移住・定住の促進を図るため、旧大山小学校校舎について、地区公民館が併設されている環境を活かし、教室等未利用スペースを貸しオフィス等として整備する。
182	千葉県	君津市	稼げる観光地づくりプロジェクト	君津市の全域	地方創生推進交付金で実施している『世界に1番近い「SATOYAMA」プロジェクト』で目指す特産品のブランディングや販路開拓等を後押しするため、ジビエや地元産品を使った料理を楽しんでもらいながら里山の魅力(洗練された田舎)を感じてもらおうためのおもてなしの拠点を整備する。整備にあたっては既存の資源(産業・歴史・文化・自然等)を最大限活用することで、稼げる体制を作り上げる。
183	千葉県	袖ヶ浦市	力強い農業基盤整備のための拠点改修プロジェクト	袖ヶ浦市の全域	東京湾アクアラインや圏央道などの道路網整備による優れた交通利便性を有した本市の立地性を活かし、観光農業の推進と農畜産物のブランド化を図ることで、さらなる農業ビジネスの強化を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
184	千葉県	香取市	水の郷さわら再整備事業	香取市の全域	香取市では基幹産業である農業が地域経済を支えてきたが、担い手の不足が懸念されるとともに、既存の販路だけでは農業経営を持続的に成り立たせることが難しくなりつつある。そのような中、道の駅「水の郷さわら」は、観光情報発信拠点として多数の観光客が訪れ、特産品直売所の売上高も順調に推移している。そこで、当該施設を拡張し、創意と工夫の発揮により高付加価値された農産品の開発や販売等を行うことで、農業や観光など香取市の強みを活かした新たな産業を育み、販路の拡大と生産者の所得増を通じて地域経済の活性化に取り組む。
185	千葉県	いすみ市	土着菌完熟堆肥による「有機の里」づくり事業	いすみ市の全域	土着菌堆肥センターを整備し、鹿兒島県鹿屋市のやねだん集落伝伝の土着菌農法を普及させ、有機米作りに活用するほか、少量多品目の農産物、畜産物、果物にも活用し、いすみ産農産物のブランド化や六次化を展開することで高付加価値を創出、農家の所得増大はもとより地域経済の活性化を目指す。
186	千葉県	千葉県印旛郡栄町	日本の国技「相撲」体験による地域経済活性化事業計画	千葉県印旛郡栄町の全域	東京オリンピック開催などにより、今後外国人観光客は増加していくことが予想される。房総のむらには、外国人観光客が年間6,000人ほど来館しているが、増加する外国人観光客をより多く町の中心部に呼び込むためには、新たな魅力づくりと、実現するための仕組みづくりが必要となるため、日本の国技「相撲」をテーマとした外国人観光客が日本を体験できる取組みを実施し、外国人の来訪による経済効果が得られるとともに、関係する施設・事業等に携わる雇用の増加を図る。
187	千葉県	千葉県山武郡横芝光町	横芝駅前情報交流拠点整備計画	千葉県山武郡横芝光町の全域	新たに(仮称)駅前情報交流ステーションを建設し、横芝駅前を活性化するとともに、町の魅力を発信する情報のハブ機能を発揮するために運営主体を育成する。また活動に必要な備品類を整備し、継続性ある活性化事業を展開する。
188	千葉県	千葉県長生郡一宮町	一宮版サーフオノミクス駅前観光施設整備計画	千葉県長生郡一宮町の全域	一宮町は、2020年東京オリンピックサーフィン競技会場に選定され、年間約60万人が訪れる国内有数のサーフスポットでありながら、その経済効果は海岸エリアに集中し、駅周辺にまで波及していない。その理由は、観光客や都心から移住したサーファー世代が購入したい店舗が駅前商店街になく、需要と供給がミスマッチな状態である。市街地商店街は空き店舗が増加し、人口や経済においても駅周辺の空洞化が進んでいるので、駅周辺に観光案内所を建築することにより海と商店街を結び拠点とする。
189	千葉県	千葉県安房郡鋸南町	認知症予防による健康促進と生涯活躍のまちづくり計画	千葉県安房郡鋸南町の全域	現在、笑楽の湯については、当該施設のある佐久間地区中心に、福祉と観光の2つの機能を有する拠点となっている。当該施設において、介護福祉事業及び観光促進を進展させることにより、高齢化の進む本町において、高齢者も現役で働くなど、個人のスキルやポテンシャルを活かすための環境を整備し、元気な高齢者の創出・生涯活躍のまちづくり・健康のまちづくりを実施することを目的としている。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
190	千葉県	千葉県安房郡鋸南町	鋸南町子育て環境整備計画	千葉県安房郡鋸南町の全域	子育て広場開設事業は、公民館の旧調理室を改修し、乳幼児を持つ親子が常時利用でき、子育て学習や互いにコミュニティを深めることができる環境整備を行う。町内での仕事創出・就労支援と合わせた対策として、安心して、子供を遊ばせ、学習や親子のコミュニケーション、親同士が交流できる子育て広場を開設し、経済的・生活基盤の弱い世帯や育児負担が重い・仕事と家庭の両立が困難であると悩む世帯が活用できる場所を整備することで、人口流出を防ぐとともに、Uターンの創出を中心に移住促進施策を実施する。
191	東京都	武蔵村山市	「みどり・癒し・健康」のまちづくり推進計画	武蔵村山市の全域	村山温泉「かたくりの湯」の施設整備を行い、狭山丘陵南麓の温泉施設を中心とした交流エリアを形成し、広域観光ルートの設定や地域資源の魅力を域内外に発信する。
192	神奈川県	神奈川県	セーリングレガシー継承施設等整備事業	鎌倉市、藤沢市及び逗子市並びに神奈川県三浦郡葉山町の全域	セーリング人口の拡大など、セーリング文化を普及させるとともに、増加するセーリング人口の受入拠点として、また、大規模な国際大会の開催地として、さらに地域の賑わいづくりの拠点として、そして未来に繋がるセーリングのレガシー施設等の整備を行う。
193	神奈川県	神奈川県	次世代ものづくり地域産業活性化計画	神奈川県の全域	今後急速な普及が見込まれるIoT関連機器や生活支援ロボット、自動運転支援システム、医療用電子機器など、次世代ものづくり産業を支援するため、新技術に対応した試験や、新たな国際規格に準拠した試験などが実施可能な施設設備の整備を行うとともに、これらを活用した人材育成事業を行う。
194	神奈川県	神奈川県	かながわ都市型養豚推進計画(養豚業活性化プロジェクト)	神奈川県の全域	都市の中で経営をしている本県の畜産業、特に養豚業においては、土地制約が厳しく規模を拡大することが困難であるとともに、臭気等の環境対策が必須となっている。加えて、TPP等の影響により国内外の産地間競争が激化している。そこで、これらに対応するため、多産系母豚を利用した効率的かつ環境に配慮した養豚システムを確立し、そのシステムを農家に普及させることで、かながわ発の安全・安心な豚肉の供給力強化、所得向上を図ることにより、本県の養豚業の活性化を図る。
195	神奈川県	神奈川県	施設園芸高度化技術開発・普及計画	神奈川県の全域	ICTによる小規模分散温室の環境制御技術の開発を行うことで、本県農業の特徴である小規模分散型の施設園芸の生産技術の高度化を図り、施設園芸作物の供給量の増加をめざす。また、その技術を施設園芸農家に普及するとともに、ICT温室と雇用労働力の導入を促進し、小規模温室のネットワーク制御による経営規模の拡大を図ることで、意欲的で、持続的な経営体を育成し、施設園芸の担い手の確保と雇用の創出を促進する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
196	神奈川県	川崎市	キングスカイフロントマネジメントセンター整備事業	川崎市の全域	イノベーションが創出される環境の整備に向けて、民間事業者が整備する研究開発施設内に、異分野の研究者等の交流・連携拠点を整備し、地区内外の企業・大学・研究機関の先端人材によるセミナーや研究会等を開催し、異分野の研究者の顔の見える関係づくりを重層的に構築することにより、新たな研究連携等につなげていくとともに、研究者と事業家・投資家との交流促進により、社会実装を見据えた研究開発を促進する。さらに、市内企業の、他拠点との交流、域内外研究機関への技術提供、資材提供など、商取引の機会創出につなげていく。
197	神奈川県	横須賀市	スポーツのまちづくり事業	横須賀市の全域	本市は、交流人口の増加、消費の拡大・地域経済の活性化をもたらす、定住人口の増加を目指している。この取り組みのひとつとして、本市に所在する施設、地理的条件、米軍基地によるアメリカのイメージを活用したスポーツのまちづくりを進めている。2020年東京オリンピックの競技種目にスケートボードが追加され、競技自体に注目が高まっている機会を捉え、平成8年度にうみかぜ公園内に設置したスケートボードパークの全面リニューアルを実施することで、スポーツ拠点施設として魅力を高め、集客促進、市内消費の拡大を図る。
198	神奈川県	三浦市	みうら・みさき海の駅“うらり”交流拠点整備事業	三浦市の全域	三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業では、三浦半島地域連携DMOを中心に地域が一体となった観光地経営への取組みの司令塔とするほか、民間主導による地域経済の循環を生み出す先導的なモデルづくりを進めている。 本計画は、三浦半島の重要拠点である三崎フィッシャリーナ・ウォーフ(愛称)“うらり”の機能改善を行い、誘客を促進することで、三浦半島地域における重要な交流拠点の充実・強化を図り、誘客を進めることで域内回遊性を拡大させ、三浦半島地域全体へ経済効果を波及させる。
199	神奈川県	神奈川県足柄上郡中井町	ゆとりと豊かさにあふれたにぎわいと交流を創出する里都(さと)まちなか魅力創生プロジェクト	神奈川県足柄上郡中井町の全域	「中井中央公園」に、町のにぎわい創出、雇用や起業・創業の実現化をめざし、公園施設利用者の憩いと癒しの機能を有する施設の整備を進めている。施設と一体となった里都まち共同KITCHENを整備し、ピザ焼き教室などの体験教室のできる芝生広場や、子どもたちの休息スペース、幼児を対象としたスポーツ体験広場等の周辺整備を行う。
200	神奈川県	神奈川県足柄下郡湯河原町	文化と観光による地域再生計画	神奈川県足柄下郡湯河原町の全域	当町に根付いている歴史・文化資源をより魅力的なものに再生し、観光客の滞在人口や滞在時間を増やすための新たな観光資源として活用するとともに、次世代へ向けて活用する可能性がある空き店舗等を再生・活用して宿泊施設外のアクティビティの充実を促しながら、日本版DMOを設立し、各種オプションツアーや外国人向け事業を展開していくことで観光客の回遊性を高め、観光客数及び宿泊費・飲食費の観光消費額を向上させ、地域経済の活性化を図る。
201	神奈川県	神奈川県愛甲郡清川村	清川村魅力創生計画～移住・定住に向けたコンパクトビレッジ形成～	神奈川県愛甲郡清川村の全域	商業施設を役場や昨年整備した道の駅や子育て支援施設を集約した小さな拠点地区に整備することで、子育て世代の移住・定住推進施策の魅力創出に繋がるため民間企業との連携を模索してきたが、横浜市内のドラッグストア運営企業の株式会社クリエイト エス・ディーが社会貢献出店が可能となった。店舗は買い物不便地域特性に対応する医薬品や生活用品に加え生鮮食品も扱う新業態店とし、店内に未病センター機能を移転することでヘルスケア分野での政策連携やイートインコーナーを通じた多世代交流の場として活用を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
202	新潟県	新潟県	にいがた農業・農村魅力アップ計画	新潟県の全域	<p>県土の約7割を占める中山間地域において高齢化が進展し、担い手不足が深刻化する中、中山間地域の農業を基盤とした活性化を図るため、中山間地域農業技術センターを県内初のCLT建築物として整備・活用することで、特色ある地域資源を活かした6次産業化や森林資源のフル活用等を推進し、農林業者の所得向上や新たな就業者の拡大に繋げ、将来展望を持って経営に取り組める魅力ある農業、農村の実現を図るものである。</p>
203	新潟県	新潟市	鉄道文化の魅力発信	新潟市の全域	<p>鉄道文化を本市の観光資源としてさらに活用していくため、市新津鉄道資料館の魅力の充実を図るとともに、地域と行政が一体となった取組により、その魅力を内外に発信することで、本市の知名度を向上させ、さらなる交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。</p>
204	新潟県	長岡市	やまこし復興交流館おらたるとるによる産業創出計画	長岡市の全域	<p>震災メモリアル施設である「やまこし復興交流館おらたるとる」は、全国からの視察者や地域住民など年間3万人を超える来館があり、震災の記憶と記録を全国に伝えるとともに、地域住民の交流の場となるなど、山古志地域の交流拠点となっている。 当施設に、大人数の調理が可能な調理室を設置し、来館者へのランチ販売や軽食の提供、地域の高齢者配食事業を展開する「地域の新たな収益拠点」として整備する。</p>
205	新潟県	小千谷市	～一滴から大河へ～ 都市から地方への人の流れ増強計画	小千谷市の全域	<p>本事業は、観光・交流拠点施設「おちゃ～る」及びサテライト(芸術・文化交流)施設「小千谷市民会館・舞台」を整備し、安全に自然、教育、健康、スポーツ系ツーリズムなどの利用を促進することにより、交流による新たな雇用と経済活動の拡大をめざすもの。なお、演劇・舞台芸術、音楽等の部門については、サテライト施設を効果的に整備することにより役割を補完し、効率的に事業を推進するもの。</p>
206	新潟県	十日町市	キャンパス白倉を核とした白倉再生計画 ～学べる学校・遊べる学校・自由な学校への再生～	十日町市の区域の一部(川西地域白倉地区)	<p>キャンパス白倉の機能拡充と運営組織となるオープンスクール設置により、都市の建築系の企業・大学の研修・教育・宿泊施設を目指す。また、学校という環境を活かした企画づくりやイベント開催を拡大する。建築系の企業・大学の研修・宿泊施設としての活用、オープンスクールの設置、イベント開催などの取組により、都市の若者との交流を拡大して、白倉地区への移住定住を図り、地区の持続可能なまちづくりを推進する。</p>
207	新潟県	十日町市	大地の芸術祭「東川美術館」を軸とし入込客増による地域再生計画	十日町市の区域の一部(松之山地域)	<p>当該地域では、大地の芸術祭施設の一つに「東川美術館」があり、旧東川小学校を活用した展示施設である。建築後40年以上が経過し、今回の改修により施設の延命化を図り、国内外の観光客を誘致する基盤の整備と受入のための環境整備も行う。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
208	新潟県	十日町市	豪雪を活かしたインバウンド対応のための大蔵寺高原キャンプ場整備事業	十日町市の区域の一部(大蔵寺高原)	大蔵寺高原は、地域の少子高齢化に加え、施設の老朽化により利用者が減少している。外国人の中でも、タイ、香港、台湾など雪の降らない地域の人々は雪に対する憧れが非常に強い。この地域のロケーションと日本有数の豪雪を活かした「豪雪を活かしたインバウンド対応のための大蔵寺高原キャンプ場整備事業」により、トイレやシャワーなど、外国人利用者に対応した施設の整備を行い、誘客の促進を図る。
209	新潟県	見附市	みつけイングリッシュガーデンカフェ物販施設整備事業	見附市の全域	当市はこれまで全国レベルで集客できる観光コンテンツが少なかったが、県営産業団地内に整備した英国式庭園「みつけイングリッシュガーデン」には年間14万人が来園するまで至った。近年、全国からも集客があるこの庭園と、既存の観光を組み合わせた誘客には大きな期待をかけており、来園者からの施設整備の要望と、新たに特産品の開発と物販の開始による収益事業の展開により、総合戦略で掲げる観光来訪者数の目標を早期に達成するとともに、地域経済の発展と雇用拡大のため事業として庭園のカフェ物販施設の整備に取り組みものである。
210	新潟県	燕市	2020年東京オリンピックに向けた「武道のまち燕市」隘路打開プロジェクト	燕市の全域	燕市は武道が盛んで、剣道では中学生女子が全国大会優勝、空手では本市開催の国体で総合優勝に貢献しております。2020東京五輪で空手道が正式種目になり、選手の強化や空手を含め武道全般への応援意識や関心が市民に高まっています。この機を逃さず、空手道の練習環境を廃校舎利用により整備することで、「武道の拠点化」を目指し、大会開催や合宿等に伴う需要と関連産業も連携してのまちづくりを展開するもので、燕市の特長を活かした交流人口の増加とともに経済効果を大いにとって地域活性化を図る取組です。
211	新潟県	五泉市	ごせん桜創造プロジェクト	五泉市の全域	桜の名所・村松公園の桜から、高い抗酸化能・リラクゼーション効果・抗腫瘍作用を持つ100%天然由来の桜アロマ商品＝機能性商品・原料を抽出・製造する事業所を創設し、花・食・酒・温泉・繊維などのコラボレーションによる新たな五泉ブランド品の開発と、桜のリラクゼーションやアンチエイジング効果を活かしたヘルスツーリズムによるまちづくりを進める。また、日本を代表するイメージで世界中の人々から愛されている桜のブランド力を活かした「ごせん桜」として世界に発信し、交流人口の拡大と持続的な地域の発展を目指す。
212	新潟県	阿賀野市	ハクテウの湖「瓢湖」周辺魅力向上計画	阿賀野市の全域	白鳥の飛来地である「瓢湖」については、「水原町の瓢湖」として全国的にも名が通っていたが、平成の大合併により水原町が阿賀野市となり、その魅力が十分に発信できていない状況にあるほか、近隣の新潟市に、大規模な公園の整備が進んだ影響等により、「瓢湖水きん公園」の利用者も減り、周辺の賑わいが低下してきている。 そこで、瓢湖に隣接する「コミュニティセンター瓢湖憩の家」のリノベーションを行うなどして、「瓢湖」周辺の魅力向上を図りながら、交流人口・定住人口の増加に繋げ、高齢化及び人口減少に歯止めをかける。
213	新潟県	佐渡市	佐渡市子ども若者相談センター拠点整備事業	佐渡市の全域	支援を必要とする子ども・親及び若者に対し一体的に支援するための拠点施設として「佐渡市子ども若者相談センター」を整備することで、個に応じて切れ目のない進学、就職等に向けた支援事業を実施する。 また、この拠点施設を、妊娠から・出産・子育て・就労までの切れ目のない支援を行うためのワンストップ機関として位置づけ、支援事業を通じて、市民が安心して子育てできる環境を構築するとともに、ひいては出生率、就職率の向上等地域の活性化を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
214	新潟県	魚沼市	子どもが地域を結ぶ「子育ての駅(仮称)」整備プロジェクト	魚沼市の全域	魚沼市は、予想を超える人口減少について、子育て世代の人口減少の防止が急務であると捉え、今後予定する経済的支援政策のほか、「地域全体が子育てに参加する仕組み」を理念に掲げる象徴的な拠点として、遊休の観光施設を活用し、この拠点で活動する団体が子育て支援活動を行い、ともに成長することで活動を全市展開することにより、子育て世代の流入人口の増加を目指す。
215	新潟県	新潟県北蒲原郡聖籠町	聖籠町ゆめ・ひと・みらい創造拠点整備事業	新潟県北蒲原郡聖籠町の全域	本事業は、当町において(仮称)聖籠町はぐみの杜を町立連潟こども園敷地内に整備し、住民とNPO法人、学校法人、民間事業者、行政等が協働するまちづくりに資するための小さな拠点を形成することを主軸としながら、人口増加を維持するための方策として、当町がこれまで先駆的に実施してきた子育て世帯を応援する独自施策の継続と、地域を担う次世代の人材育成のための多世代異業種の交流事業を一体的に実施するものである。
216	新潟県	新潟県西蒲原郡弥彦村	観光・農業振興の核となる「おもてなし広場」を中心とした地域再生計画	新潟県西蒲原郡弥彦村の全域	本事業は、おもてなし広場に弥彦村や連携市町村の特産品等を活用しPR、販売するフードコート及び観光交流促進販売施設を整備し、27年度地方創生加速化交付金で整備している農産物直売施設とともに、観光・農業振興の拠点を形成する。また、フードコートの一部にチャレンジキッチン、観光交流促進販売施設の一つとしてチャレンジショップを設け、新規参入を誘導し、その後、空き家情報の提供により地域内開業、定住促進を図るため実施するもの。
217	新潟県	新潟県三島郡出雲崎町	出雲崎「子は宝」多世代交流推進計画	新潟県三島郡出雲崎町の全域	社会体育施設や社会教育施設が集中している米田地域を多世代の人たち、他地域の人たちが集う交流の小さな拠点として位置づけ、「子は宝」多世代交流施設を建設し、多世代すべてが子育てを支える環境整備を図るものである。また、この施設を『すこやか子は宝応援拠点』『いきいき子は宝応援拠点』『ふれあい療育拠点』として、各種事業を実施し、子どもを軸としたまちづくりときめ細かい福祉施策により、若者世代が住みやすい環境整備を図り、定住促進を図るものである。
218	富山県	富山県	若者の県内定着と高度人材の育成・供給のための拠点整備計画	富山県の全域	医療・介護の現場が分かる看護学部と、県内企業との技術連携に実績が多くロボット工学研究も進められている工学部との学内連携を進め、更に医療・介護分野と工学分野が融合した産学官連携を促進するための拠点として施設を整備する。この施設は、①産学官連携機能、②地域貢献機能、③健康づくり支援機能、④人材高度化機能を有する複合的な研究育成拠点として機能させることとし、高度な人材の育成とともに、医療機関との人的交流・連携強化、行政機関との共同調査・研究や産学官連携によるニーズとシーズのマッチングの推進等に取り組む。
219	富山県	富山県	富山県薬事研究所 未来創薬開発支援分析センター(仮称)整備計画	富山県の全域	県内企業・大学等の使用ニーズが高く、画期的な医薬品等の開発に繋がる医薬・バイオ分野の研究開発に活用する最先端の分析機器等を集約した「未来創薬開発支援分析センター」(仮称)を富山県薬事研究所に設置し、最先端の設備機器の共同利用を促すことにより、県内の大学や製薬企業等による新たな医薬品等の研究開発を効果的に支援し、本県の医薬品産業をさらに発展させ、世界に羽ばたく「薬都とやま」の実現を目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
220	富山県	富山県	富山県ものづくり研究開発センター製品機能評価拠点整備計画	富山県の全域	最先端の試作加工装置を備えた「富山県ものづくり研究開発センター」に、大型部品の機能・品質の評価に活用する機器等を集約した「製品機能評価ラボ」を設置し、研究開発から試作加工、製品機能評価まで一連の取組みを行い、製品の事業化につなげることによる企業収益向上と産業振興に加え、新たな産業の集積と魅力的な雇用環境の実現を目指す。
221	富山県	富山県	世界と富山県を結ぶデザイン交流創造拠点整備計画	富山県の全域	全国唯一のデザイン専門の公設試験研究機関である富山県総合デザインセンターに、共同開発を行うための企業入居スペース及びデザイナー・企業等との交流を行うための連携交流スペースを整備し、デザイン交流創造拠点とする。これにより、先端産業とデザインの融合や、異業種連携による新商品開発・新事業創出を促進し、成長分野を中心に産業競争力の更なる強化を図り、地域の稼ぐ力と魅力ある雇用を創出する。
222	富山県	高岡市	豊かな自然と歴史・文化 高岡魅力発信計画	高岡市の全域	若者など多くの人を惹きつけることのできるまちをつくるため、近年知名度が一層高まっている雨晴海岸を望む当地に、富山湾やクラフトなどの地域資源のブラッシュアップと魅力の発信に資する拠点施設を整備し、国内外からの観光客の増加、観光関連産業や地場産業の活性化、市の知名度の向上とブランド力の強化を図る。
223	富山県	黒部市	宇奈月ビールを核とした道の駅うなづきブランディングプロジェクト	黒部市の全域	「道の駅うなづき」の主要施設である宇奈月麦酒館は、黒部峡谷鉄道等への観光客や地域住民向けの地ビール工場併設型レストランである。醸造される宇奈月ビールは、繁盛期には慢性的な品薄状態になる人気商品であり、平成27年3月の北陸新幹線開業による観光客の増加によって、商品不足は一層深刻化している。そこで、本計画では、地ビール増産設備の整備と地ビールの増産効果を最大限に活かした経営戦略の策定により、地域の農業・商業の活性化と雇用を創出し、交流人口の拡大による観光振興を目指すものである。
224	富山県	小矢部市	見て来て体験！メルヘンおやべ交流拠点施設リノベーション計画	小矢部市の全域	35の「メルヘン建築」のうち唯一、公共の宿泊施設としての機能を持つ小矢部市サイクリングターミナル、文化、芸術、経済等の様々な分野の交流拠点施設クロスランドおやべの「ふれあいハウス」、そして、市内有数の景勝地であり、休日には子ども連れの家族でにぎわう稲葉山の山頂休憩所、これら3つの交流拠点施設にそれぞれの特徴に応じた要望の多い事項について改修等の整備(リノベーション)を行うことで、それぞれの観光交流等の拠点施設としての機能を向上させ、市内の回遊性や地域経済への波及効果を高める。
225	富山県	富山県中新川郡立山町	まちなかファーム整備計画	富山県中新川郡立山町の区域の一部(五百石地区)	かつてのような賑わいが無くなった町の中心商店街の真ん中に、この地に求められる活性化の拠点として「まちなかファーム」を整備する。町産の米粉を使った米粉パンや町産果実のジュース等を女性グループが加工し、併設のまちなか駅「休んでかれや」では、それら加工品や地場産農産物等を販売し、消費拡大を図っていく。それに伴い新たな雇用が創出され、住民や平坦地に立ち寄る観光客らが米粉パンの製造工程見学や買い物に訪れるようになることで、交流人口の増加が期待される。ここから生まれた活力を、まちなか一帯に波及させていく。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
226	富山県	富山県中新川郡立山町	大学合宿施設BLOOM整備計画	富山県中新川郡立山町の区域の一部(上東地域及び吉峰野開)	本町では、今後、大学の部活やサークル等の合宿誘致を進めていく。まず、大学駅伝部等の誘致から始めるが、本事業では、現在休校中の小学校のランチルームの一部を厨房に改修し、合宿中の学食提供を可能とする。また、平坦地で唯一の温泉宿泊施設グリーンパーク吉峰の園内に、膝への負担が軽減される土ベースのクロスカンтриーコースを整備し、間伐材等のチップを表土に敷いた特長的なコースに仕上げる。合宿滞在中の環境整備により、アピールポイントを増やし、町への滞在人員を確保して、継続的な収入に繋げていく。
227	石川県	石川県	里山里海サイクリングルート整備計画	石川県の全域	本県の里山里海文化は、世界農業遺産「能登の里山里海」として認定されるなど、国際的にも評価されている。一方、里山里海文化が残る農山村地域は、人口が少なく公共交通が脆弱であるため、観光ルート化と交通手段の確保が課題となっている。このため、里山里海地域内での公共交通に代わる2次・3次交通インフラとして、自転車(サイクリング)を位置づけ、移動行為を里山里海の価値を体験する観光資源に変えるため、ルート沿道における、自転車走行の安全対策や景観の保全・向上のための整備を実施する。
228	石川県	石川県	白山ろくの里山文化を活用した賑わい創出計画	石川県の全域	本県の豊かな自然や農山村景観、伝統的な文化・技術、食文化等の里山里海文化は、世界農業遺産「能登の里山里海」として認定されるなど、国際的にも評価されている。一方で、本県の里山里海文化は、全国的には依然として認知度が不足し、また、実際の消費行動に繋がっておらず、観光形態の確立を図ることが必要である。このため、本県の農山村地域に色濃く残る里山里海文化を、観光や農林水産業等の分野で積極的に活用して産業化を進めることで域外から人の流れを呼び込み、農山村地域への活力の創造につなげる。
229	石川県	石川県	農林水産業の所得向上に向けた拠点整備計画	石川県の全域	石川県の能登地域は、過疎化と高齢化で人口減少が著しく労働力の確保が難しいため、耕作放棄や里山の荒廃が懸念されている。そこで、農業経験のない非農家出身者でも就農できる、新しい農業の姿を示し、移住による農業労働力の確保を進めていく。
230	石川県	石川県	スポーツを核とした街づくりによる賑わい創出計画	石川県の全域	石川県は、北陸新幹線金沢開業により首都圏とのアクセスが飛躍的に向上したことで、三大都市圏いずれからもアクセスのよい地域となった。一方、全国のスタジアム観戦やライブ・エンタテインメント市場は、大都市圏に偏在しており、本計画では、こうした需要を本県に呼び込むため、石川県西部緑地公園陸上競技場を県内最大級の屋外コンベンション施設として整備し、スポーツツーリズムの推進やMICE開催支援制度の充実などにより、宿泊施設や飲食店などの民間投資を呼び込むことで、地域の「しごと」の創出を目指す。
231	石川県	石川県	世界農業遺産「能登の里山里海」活用推進・魅力発信計画	石川県の全域	石川県には豊かな自然や伝統的な文化があり、中でも県北部の能登地域は、世界農業遺産「能登の里山里海」として認定されている。一方、現状では、こうした資源を産業面で十分に活かしてきておらず、今後は、里山里海を活用した自然体験やアウトドアレジャーだけでなく、「学び」の面にも力を入れ、エクスカーションや企業研修の受入を推進する必要がある。本計画では、里山里海ガイドツアーの充実や受入・交流拠点となる体感型ガイダンス施設の整備を進め、豊かな「能登の里山里海」を活用した「しごと」の創出を目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
232	石川県	石川県	工芸文化の発信による産業観光推進プロジェクト	石川県の全域	<p>グローバル化が進展する中で、伝統工芸品は単にモノをつくるだけでは、価格競争力の面で生き残ることが困難となってきた。そのため、消費者を意識した「みせる」発想に立った取り組みが求められている。</p> <p>そこで、伝統工芸と地域の文化財や芸術・伝統文化を組み合わせ、観光や産業の分野で戦略的に活用し、産業化していくことでクリエイティブで魅力的な仕事を創り出し、若者等の地域への定着を促すとともに交流人口の拡大を図り、地域の活力を生み出していく。</p>
233	石川県	金沢市	市民の創造活動支援施設整備事業	金沢市の全域	<p>市民の創造活動の拠点となっている金沢市民芸術村は、非常に高い利用率となっており、新たな練習場所の確保が課題となっている。</p> <p>中山間地域に位置する旧俵小学校は、市中心部から車で約20分のアクセスの良さに加え、懐地域において人口減少、少子高齢化が進んでいる中で、地域住民は校舎の利活用を期待していることから、芸術文化の創造活動拠点と地域コミュニティの活動拠点の機能を併せ持った施設として整備することにより、市民の創造活動に新たな息吹を吹き込むとともに、利用者と住民との交流を促進し、中山間地域の活性化を図る。</p>
234	石川県	七尾市	七尾版小さな拠点地域づくり活性化計画	七尾市の全域	<p>七尾版総合戦略に掲げている「時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしを守る」の実現に向けて、町内会を結ぶ「地区」を七尾版「小さな拠点」と位置付けており、市内全域で15の地域づくり協議会の設立を目指している。本事業は、市の公共施設「七尾サンライフプラザ」内に矢田郷地区まちづくり協議会の拠点施設であるコミュニティセンター機能を集約することで、図書館や福祉の増進などの機能を活用した地域づくりに取り組むことができ、移住定住の推進やコミュニティビジネスの立ち上げ等が図られ、地域の活性化につながる。</p>
235	石川県	小松市	歌舞伎「勸進帳」の里・安宅の関エリア魅力アッププロジェクト	小松市の全域	<p>歌舞伎十八番の内「勸進帳」の舞台「安宅の関」を有するエリアは、屋外舞台の整備(H29～H32)を計画し、常時、屋外での文化プログラムを上演し、誘客促進が期待される。地方創生拠点整備交付金を活用し、安宅ビューテラスを同エリアの観光交流拠点としてリニューアルし、屋外舞台と合わせ、一層の交流人口の拡大を図り、安宅の関エリアに新たなひとの流れをつくり、地域経済の活性化に繋げるもの。なお、リニューアル後の運営は、小松版DMOであるこまつ観光物産ネットワークに委託し、ビジネスとして自立を目指すもの。</p>
236	石川県	かほく市	西田哲学調査研究施設の整備による新しいひとの流れ創出事業計画	かほく市の全域	<p>地方創生推進交付金により進めている「建築」と「ZEN」をテーマとしたコンテンツの造成を図りつつ、西田哲学の学問としてのさらなる深化や西田哲学の持つ現代的な価値を再発見し価値を高める。また、石川県西田幾多郎記念哲学館の敷地内に一体的に整備することにより、館そのものの付加価値も高め、西田哲学の研究拠点として企業経営等の研修施設としても活用できる総合的な西田哲学調査研究施設を整備する。このことにより地域で新たなひとの流れを創造し、新たな起業につなげていく。</p>
237	石川県	石川県河北郡内灘町	「自転車のまち・内灘」ブランディング計画	石川県河北郡内灘町の全域	<p>サイクリングターミナルを自転車の持ち込み等サイクリストが満足できる宿泊施設に整備し、自転車競技大会や合宿の誘致、愛好者層が競技に触れる機会の創出等のスポーツ振興策と、近年のサイクリングブームに伴う石川県内、特に金沢市内や能登地域に向けて高まるサイクルツーリズム需要の取り込みを図る観光振興策の相乗効果による幅広い層のサイクリストをターゲットとした「自転車のまち・内灘」ブランディングに取り組むことにより、全国からサイクリストが集まるまちを目指すとともに、新たな観光産業の創出を目指す。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
238	福井県	福井県	福井新産業技術開発促進計画	福井県の全域	<p>ロボットについては、福井県工業技術センター内にロボット開発施設を整備し、県内企業のロボット技術の導入を支援するとともに、IoT、AI技術を組み合わせた先進的なロボット開発を行う。</p> <p>宇宙産業については、福井県工業技術センター内に小型人工衛星製造に必要な環境試験施設(熱真空試験室、電波暗室)を整備する。</p>
239	福井県	福井県	ふくい林業ビジネス推進計画	福井県の全域	<p>林業の再生を通じた地方創生のためには、後継者の確保・育成とともに、森林・林業・木材産業のビジネスを魅力ある産業としていくことが喫緊の課題である。このため、林業関係の人材育成、県産木材や特用林産物の流通・販売に関するビジネスの拠点施設を整備し、研修を集約・充実させる。</p>
240	福井県	福井県	六呂師高原スポーツ・体験観光促進計画	福井県の全域	<p>平成28年度の中部縦貫自動車道路永平寺大野道路の全線開通を契機として、自然環境豊かな六呂師高原を「通年型・滞在型の体験学習・スポーツエリア」として再興するため、ミルク工房の機能強化や人工ゲレンデの整備を進めることにより、自然やスポーツ、様々な体験等による観光客の誘致拡大と満足度の向上を図る。</p>
241	福井県	福井県	若者と地域住民の交流拠点の形成計画	福井県の全域	<p>「福井県立鯖江青年の家」は丹南地域における唯一の青少年教育施設であり、自然観察や館内でのネイチャーラフトが中心で、地域との連携は弱い。新しく野外調理施設を設置し、施設の改修を行うとともに、地域の農業や歴史、産業などを取り入れた新しいプログラムを企画・実施し、若者と地域住民が交流する拠点を形成する。</p>
242	福井県	福井県	福井県中世文化遺産活用促進計画	福井県の全域	<p>本県には、中世城下町の貴重な文化財が埋蔵されており、その調査・研究は、我が国の中世都市遺跡研究の進展に寄与するものであるが、遺跡を含めた福井県全域の観光地周遊促進のしくみが課題となっている。そのため、博物館整備により、貴重な文化財の滅失や散逸を防ぎ、適切に後世に継承するとともに、観光資源としての遺跡の価値を高め、遺跡に対する県民の意識を向上させる。これにより、誰もが認める絶対的な観光地として、国内外から多くの人を呼び込み、交流人口を拡大させ、地域活性化を図る。</p>
243	福井県	福井市	全天候型まちなかふれあい動物王国整備事業	福井市の全域	<p>福井市のまちなか観光拠点の新たな核として、豊かな自然環境を本市中心部に残す足羽山遊園地に、ふれあい動物王国を整備する。この施設は、全国にも数ヶ所しかない全天候型とするほか、動物と人との境界を無くし、動物本来の動きを見せる行動展示された屋内動物舎の中へ入り触れ合える、新たなスタイルを提供するほか、野生の環境を再現する異種混合展示を取り入れた施設とする。</p> <p>新たな誘客を図る観光拠点としてのコンテンツを高めることにより、まちなかにおける商業施設での購買力の向上に繋げ、観光振興、商業活性化を目指す。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
244	福井県	勝山市	「勝山ニューホテル」リニューアルによるリゾートブライダル推進計画	勝山市の全域	勝山市の魅力ある観光資源を活用した婚活やリゾートブライダルを推進していく拠点施設として勝山ニューホテルを整備する。すでに地方創生推進交付金を活用しているインバウンド観光事業とも連携し、海外からの誘客をめざす。ホテルは、市内観光施設を活かしたブライダル全体をトータルコーディネートするとともに、結婚式後、披露宴会場として利用してもらえるよう老朽化した箇所の改修を行い、ブライダル等に「選んでもらえる」施設として整備する。ホテルを拠点とした婚活イベントや結婚式をPRし、市内若者への結婚喚起へもつなげる。
245	福井県	鯖江市	新たな客層開拓に向けた観光推進計画	鯖江市の区域の一部(河和田地区)	山間部(河和田地区)において、人口の減少、高齢化の進展が課題となっていることから、地場産業の越前漆器の活性化を図るため、地方創生交付金を活用して、「海外への販路拡大」、「産地巡礼型観光の推進」、「広域観光の推進」などに取り組んでおり、今後、観光客の増加が見込まれる。 そこで、「ラボセカワだ」の機能を強化し、外国人を含む観光客の需要に対応するとともに、開発会館を誘致するなど、新たな客層を開拓することで、河和田地区への交流人口の増加を確かなものとし、地域経済の活性化につなげる。
246	福井県	坂井市	公・民・学が連携したアーバンデザインセンター設置による空き家対策及び移住人口増加プロジェクト	坂井市の全域	人口減少・少子高齢化の進展や郊外での住宅開発による「まちなか」の空洞化により、空き家の著しい増加が進んでおり、景観の悪化や倒壊の危険性が増すため、その利活用及び維持管理が喫緊の課題となっている。 そのため、行政、地元住民、企業、大学(公・民・学)が連携して様々なアイデアと資金を持ち寄り、「空き家の利活用を通じたまちづくり」の調整機関となるアーバンデザインセンターを整備することで、空き家情報の集約や利活用の促進、まちづくりの仕組みを確立し、移住定住者及び交流人口の増加につなげる。
247	福井県	福井県吉田郡永平寺町	「永平寺参る一ど」を活用した、自動走行技術による地域の課題解決プロジェクト	福井県吉田郡永平寺町の区域の一部(永平寺地区)	大本山永平寺とその最寄り駅であるえちぜん鉄道永平寺口駅を結んでいる廃線跡を活用した全長約6kmの遊歩道(永平寺参る一ど)を、永平寺町の特徴ある地域資源として捉え、全国で例のない規模のオープンラボ形式の自動走行実証実験の走路として整備することにより、自動走行関係企業の誘致や創業環境の構築、大本山永平寺の伝統と実証実験空間の先進性を兼ね備えた観光資源として活用し、国内外からの交流人口増加に伴う観光産業など基幹産業の再興、自動走行技術を応用し、高齢化した沿線コミュニティの課題解決を行いたい。
248	福井県	福井県今立郡池田町	福井県池田町農村ライフ&ワークデザイン計画	福井県今立郡池田町の全域	起業や商品開発支援はあったが、「場」の支援がなかったため、きれいな環境の中で、美しい風情に囲まれ、信頼する隣人とともに穏やかに暮らせる池田町に共感する創造産業等の多様な職種の従事者に「場」を整備する。そして、その拠点の利用者をサポートする地元の(仮称)ライフ&ワーク協力隊(地域運営組織)が地域との橋渡しを行うことで起こる化学反応が農村での暮らしの魅力になる多様なライフ&ワークが創出されることを目的とする。
249	福井県	福井県大飯郡おおい町	地域交流拠点の総合的な整備による第1次産業技術の継承・研究・発展	福井県大飯郡おおい町の全域	本町大島地区の地域交流拠点であった旧公民館の全面的な改造による宿泊交流施設としての機能強化及び学生のフィールドワークに耐え得る学習施設としての機能強化を合わせて行うことで、本町の第1次産業従事者の交流による技術継承はもちろん、連携を進めている学生の研究・開発に資するものである。さらに、地域住民との交流や特産品開発を促すことで、域外誘客の実現、地方創生人材の育成、地域課題の解決を図り、地域産業の活性化とさらなる雇用の創出につなげる。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
250	山梨県	山梨県	県産魚ブランド化推進計画	山梨県の全域	<p>本県では、地産地消及び地産訪消を推進するため、食材としてさらなる魅力を持った新魚の開発を進めている。また、本県の良質な「水」を活用した海産魚の陸上養殖を推進している。</p> <p>こうした新魚種の安定生産を図り、更なるブランド化を推進するとともに、魚病のない安全な種苗(アユ・コイ類)の継続的な安定供給を進め、さらに関係団体と協働した県産淡水魚全体の消費拡大に取り込むことで、本県内水産漁業全体の振興を図り、特色ある「やまなしブランド」の構築につなげる。</p>
251	山梨県	山梨県	やまなしブランド果樹推進計画	山梨県の全域	<p>本県が今後、果樹王国としてのブランド力を磨き、強化していくため、地球温暖化や本県の気象条件に適応し、消費者のニーズにあった高品質なオリジナル品種(新品種)を育成し、産地化を進めていく。特に、生産量全国3位のオウトウのオリジナル品種(新品種)を育成し、その安定生産技術を確立し、観光と連携した産地強化を図っていく。</p>
252	山梨県	山梨県	甲州牛生産基盤強化推進計画	山梨県の全域	<p>本県では、甲州牛の生産基盤強化を進め、平成33年度から輸入牛肉と競合しない甲州牛(黒毛和牛)の生産量を倍増し、儲かる畜産の実現を目指している。酪農試験場内に新たにバイオテクノロジー研究施設を整備し、受精卵の生産能力の向上と効率化、体外受精等の新技術へ対応するため、バイオテクノロジーを活用した技術開発研究を行うとともに、新技術の実習による技術普及や技術者養成を行い、本県の畜産業の発展につなげていく。</p>
253	山梨県	甲府市	多世代交流と都市間連携による地域創生推進プロジェクト～Flow of People 大都市圏からの流れの創造～	甲府市の全域	<p>甲府市の北部地域は著しい少子高齢化が進行しており、児童数の減少や高齢化に伴う地域の担い手不足、地域コミュニティの衰退などの深刻な課題を抱えている。このような地域に位置する「堂の山キャンプ場」は住民をはじめとして多方面から、地域の活性化や地方創生の新たな拠点としての更なる活用が強く望まれている。本計画では「新たな人の流れの創出」「子どもの豊かな感性と生きる力の育み」「地場産品を活用したブランドコンテンツの開発」「官民協働による地域振興」を目的とした拠点施設とするため当該施設をリノベーションする。</p>
254	山梨県	甲州市	新たなワークスタイル導入による地域経済活性化のための甲州市地域再生計画	甲州市の全域	<p>企業と人材の本市への流れと一定期間滞留する環境を創造し、本市の経済の活性化と将来的なサテライトオフィス進出への足がかりとするともに、本市における新たなワークスタイルの導入と若者や子育て中の母親等の働く環境づくりを推進する。</p>
255	山梨県	山梨県南巨摩郡南部町	南部町移住定住促進計画	山梨県南巨摩郡南部町の全域	<p>町の合併による学校の統合、少子化によるクラス数の減により、空き施設となった公有地等を利活用し、本町への移住定住を促進する。①旧中学校の校庭へ若者世帯限定の宅地分譲地を整備する。また、若者世帯定住支援奨励金の制定、地元金融機関との提携住宅ローン制度等、若者世帯の移住定住を後押しする。②「ターナー」等の新規移住希望者を取り入れるため、教職員数の減少により空き施設となった教員住宅を利活用したお試し住宅を整備する。当該施設は、農業体験も可能な施設として活用することにより、本町への移住・定住を促進させる。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
256	山梨県	山梨県南都留郡西桂町	観光拠点にあるスポーツ施設のリノベーションで、交流と健康なまちづくりによる観光・移住促進計画	山梨県南都留郡西桂町の全域	本事業は、本町における貴重な施設である「武道館」をリノベーションし、「ボルダリング」練習場を備え、町民の健康増進、交流拠点となる複合施設に改修する。その結果、特に稼働率の悪い冬季や平日の交流人口を増加させ、また将来的な医療費・介護費用の軽減、地域関連事業者の売上を増加させ、地域の雇用を創出する。
257	山梨県	山梨県北都留郡丹波山村	小さな村の観光産業再生計画	山梨県北都留郡丹波山村の全域	丹波山村を含む秩父多摩甲斐国立公園を中心とするエリアでは、自然環境の保全と持続可能な利活用の調和を目的に「甲武信水の森ユネスコエコパーク」の登録申請を進めている。ユネスコエコパーク登録申請を機会に、村の最大の資源である豊かな自然環境と農林産物等を活用して、新たな体験型観光や特産品の開発による付加価値の向上及び販路開拓、さらには、観光産業の担い手の育成と創業支援を一体的に実施することで、観光産業の再生と地域経済の活性化を図ることを目的とする。
258	長野県	長野県	農林水産業関係試験場研究力強化事業計画	長野県の全域	長野県の豊かな自然、美しい景観、伝統・文化などを育む農山村は、農林水産業とそこに暮らす人々によって築かれてきた。人口減少が進む中、農業等の生産活動を維持・強化し「稼ぐ力」を高めていく必要がある。また、本県を訪れる方々に魅力ある飲食を提供するため、各品目においてオリジナル品種の育成や栽培技術の開発を行い、消費者の嗜好等に的確に対応していくことが必要である。このため、農林業関係試験場の施設等の整備により、育成の早期化や次世代栽培技術の開発を図り、農業等の競争力・ブランド力の強化と所得の向上を図る。
259	長野県	長野県	大径材を利用した木材技術開発計画	長野県の全域	80年生を超える太いカラマツ資源とカラマツ材研究実績が全国一の長野県において、強度・見た目に優れた大径カラマツ材のポテンシャルを最大限に引き出し、県内木材産業を活性化するため、今後更に増加が見込まれる大径材の試験研究施設を配備し、官民共同で製品開発を行い、外国産材に独占されている梁・桁材のシェア奪還を目指し販売等を促進する。施設整備に併せ、カラマツ材の伐採搬出を民間との連携により推進し、伐採後の低コスト植栽等施策のため、優良コンテナ苗木の育苗技術開発と規格化を行い、森林・林業の好循環を図る。
260	長野県	飯田市並びに長野県下伊那郡松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村及び大鹿村	航空機産業を先導役とする地域イノベーションの創出に向けた公的試験場機能、人材育成・ネットワーク機能の強化計画	長野県の全域	南信州広域連合を構成する14市町村が長野県ほか関係機関と連携しながら、日本で唯一の航空機システム産業集積を目指し、これを先導役としながら、地域イノベーションを創出するための公的試験場機能、人材・ネットワーク機能を強化する。
261	長野県	諏訪市	「活きいき、元気な『くらし』の実現」輝くSUWAの健康づくり戦略	諏訪市の全域	少子高齢化社会に対応するため、住み慣れた地域で自分らしく元気に暮らし続けることができ、個性や能力を生かして、仕事や社会活動、若い世代との交流など、生涯にわたり活躍できるまちを目指す。すわっころの機能や魅力を最大限に生かした取組により、健康寿命延伸、地域包括ケアシステムにおける介護予防の仕組みづくりを進めるとともに、自然に恵まれ、健康づくりにも適した地域である諏訪市の魅力発信へとつなげ、現在諏訪市に住んでいる人、将来諏訪市に移り住む人が生涯安心して住み続けることができるまちを目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
262	長野県	小諸市	北国街道小諸宿脇本陣再生計画	小諸市の全域	北国街道小諸宿に現存する脇本陣を宿泊施設や交流の拠点として活用することで、街道沿いの賑わいを創出することや、宿場町としての魅力を更に高め、国内からの観光客に留まらず、海外からの訪日外国人誘客に結びつけていく。一般社団法人こもろ観光局(日本版DMO)が、組織経営していくための財源確保や、歴史・文化・交流の拠点として地域経営を行っていく。
263	長野県	小諸市	浅間山麓高地トレーニングエリア構想拠点整備計画	小諸市の全域	浅間山麓高地トレーニングエリア構想に基づき、クラブハウス・全天候型400mトラック・多目的スペースを整備し、準高地トレーニング場としての価値を高め、高地トレーニング合宿等の誘致を進め、地域競争力の強化につなげる。
264	長野県	伊那市	江戸町家の活用による城下町体験事業計画	伊那市の区域の一部(高遠町区域)	江戸時代の高遠城下町の貴重な町家や文化施設を、文化的価値を残しつつ、江戸時代の風情を体験できる観光施設へと改修し、城下町ならではの郷土食を体験できる施設とする。また、城下町周遊コース上の拠点とし、高遠城下の通年観光化や回遊性を向上させる。
265	長野県	駒ヶ根市	地域資源ブランディング推進プロジェクト	駒ヶ根市の全域	当市の観光業について、東京オリンピックやリニア中央新幹線の開通を契機として捉え、市内に点在する「網」関連施設や観光拠点施設のリニューアルを行い観光基盤の整備を進め、インバウンドを含む多くの観光客が市内を周遊し滞留することによる交流人口の拡大を進める。さらに、近隣市町村と協力しあい、より広域的なDMO化を促進し、網関連の市町村と連携した観光プランの創生、点ではなく相乗効果の高いブランド化を図り、6次産業化などの産業市場の裾野を拡大し、持続可能な地域産業の創出を目的とする。
266	長野県	大町市	ライチョウ保護を通じた山岳環境保全・観光振興のまちづくり	大町市の全域	環境省が進めるライチョウ保護増殖計画に基づき、環境省の方針に従い飼育個体数を増やすことで、絶滅危惧種のライチョウの保全に寄与することに加え、狭隘な施設規模の改善及びライチョウ飼育数増のため、新たに繁殖を目的としたライチョウ舎等を建設することにより、日本で唯一の山岳博物館において、希少なニホンライチョウの生態等を発信し山岳文化都市の魅力向上により誘客を図るとともに、ライチョウの飼育繁殖に注目が集まることを好機と捉え自然保護の重要性の啓発を図り、山岳における観光振興や環境保全の実現に繋げる。
267	長野県	茅野市	まちなかに人を呼び込む拠点創出による地域力向上計画	茅野市の全域	茅野市は、諏訪東京理科大学の学生や別荘を利用する都市部の有識者など、地方創生を進める上で貴重な人材を多く抱えるが、それを活かす環境や仕組みが十分に整っていない。そこで、コワーキングスペースを拠点に、こうした人材を含めた市内外の人や企業をまちなかに呼び込み、交流や協働、マッチングを促しながら市内へ循環させることで、まちの賑わい、まちの担い手、そして、まちの経済を牽引する新たな需要や雇用を一体的に創出し、産業の新陳代謝から地域力の向上を図り、もって、自立と持続が可能な「稼げるまち」の実現を目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
268	長野県	東御市	湯の丸ツーリズムプロジェクト推進計画	東御市の区域の一部(湯の丸高原)	本市においてH27に策定した「湯の丸高原施設整備基本構想」の実現を図り、当市の最大の観光地であり、近年「アスリート向け高地トレーニングの場として地理的にも最適」と言われる湯の丸高原の魅力を活かして、インバウンド需要も見据えたアスリートから一般市民の健康増進までの幅広い層をターゲットとした湯の丸【スポーツ・エコ・健康増進】ツーリズム商品を作成・販売し、民間連携、地域間連携を通じて、域内の経済活性化・雇用創出等、真の地方創生を図ることを目的とする。
269	長野県	長野県南佐久郡小海町	地域資源を活かした新たな観光交流拠点整備による交流人口増加計画	長野県南佐久郡小海町の全域	集客施設としての観光交流拠点を整備することで、観光面のアプローチから、地域の特産たる高原野菜などの農産物や農産物加工品、地域産品の生産・加工・販売により、地域内のほかの産業へもお金が落ちる仕組みをつくり、産業振興や雇用の維持拡大を図る。さらに、地域の観光関連施設等と連携した情報発信機能を設けることで、地域内での滞在人口を増加させる。また、そういった取組みを発展させていくことで、町の魅力として発信し、魅力が人を呼び込み、人が人を呼び込む好循環を生むことで人口維持につなげていく。
270	長野県	長野県南佐久郡川上村	農業生産性向上のための地域再生計画	長野県南佐久郡川上村の全域	本村の基幹産業は高原野菜を中心とした農業であるが、労働集約型の生産体制からの脱却を図り、生産性を向上し、収益の多角化を進めることが急務である。現在では、圃場の状況を把握し、生産適期を予想し、生産計画を作成することは個々の農家の動に頼られており、生産性が低く、収益性も低く、技術の継承面からも改善が急務となっている。IT等の先端技術を活用し、広く公開することでこれまで動に頼ってきた技術を定量化し、収益性を向上させるとともに、新規参入の障壁を軽減することで雇用増、移住者増に繋げる。
271	長野県	長野県南佐久郡北相木村	親子山村留学と仕事創出による持続可能な村づくりプロジェクト	長野県南佐久郡北相木村の全域	村独自の山村留学に親子山村留学を新たに取り入れるとともに近隣市等へ通勤する子育てファミリー世帯を迎えることができる環境を整備するとともに、民間学習塾と連携して学力向上授業に取り組む。子育てファミリーの主婦等の働く場を確保するため、村の特色を活かした仕事づくりを村民と協働して取り組み、雇用の場の確保と村の経済の活性化を促進する。これらの取組みと併行して移住、定住、二カ所居住を促進するため空き家計画を策定するとともに、予定されている民泊法を活用し、不足する宿泊施設を充実し、交流人口を増加させる。
272	長野県	長野県小県郡長和町	空き家を活かした交流人口の増加に向けた地域整備計画	長野県小県郡長和町の全域	「長和町空き家情報登録制度(空き家バンク)」に登録されている空き家の再利用を図るため、空き家所有者等に連絡をしながら当該制度の周知と登録を進め、登録情報を町のホームページ等により発信しながら幅広い活用方法の提案を行うとともに、お試し移住施設を整備して実際の生活状況を体験させ、移住・定住者の増加を図る。また、住民による空き家活用(コーディネート)組織を立ち上げ、行政と住民が協力しながら有効的な活用方法を検討し、それに取り組むことにより新たな人の流れの創出と地域の活性化を推進する。
273	長野県	長野県諏訪郡富士見町	交流施設を活用した農業振興・多世代交流計画	長野県諏訪郡富士見町の全域	農産物生産時期において地元産野菜等を販売する「マルシェ」を開催する。新規就農者、1ターンやUターンの定年帰農者、地元農業高校生の農産物を販売する場を設けることで、小規模で農業を開始した人が自身の栽培した農産物の評価を直接地元消費者から得ることができる。評価が更なる品質の向上や生産意欲に繋げるとともに多世代の農業者同士の交流や地元消費者との交流が生まれることで移住者と地域との交流拠点となり、新たな新規就農者や定年帰農者、新卒就農者の掘起しを目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
274	長野県	長野県上伊那郡箕輪町	地方創生 箕輪町 まち・ひと・しごと 創業・移住定住支援計画	長野県上伊那郡箕輪町の全域	町役場及び商工会が隣接している箕輪町産業会館を耐震補強のうえ改修し、インキュベーション施設として、創業者向けのレンタルオフィスを整備することにより、多種多様な産業について「創業しやすい町」を目指し、地域産業の底上げを行うとともに、労働人口の流入超過及び女性や若者の定住対策、移住促進施策と一体的なプロジェクトとして実施するもの。
275	長野県	長野県上伊那郡南箕輪村	南箕輪村大芝高原ブランド化(道の駅構想)計画	長野県上伊那郡南箕輪村の区域の一部(大芝高原)	村の最大の観光資源である「大芝高原」の冬場の誘客増、ブランド化に向けて、大芝高原を道の駅に登録し、その拠点施設である農畜産物の加工・販売施設「味工房」を再整備する。道の駅化に合わせ、高原内にWiFiを設置し、利用者が観光情報、交通情報、災害情報などが得られる情報通信網を整備する。また、味工房は地元女性の就労の場でもあり、地方創生推進交付金を活用した村の「子育て女性再就職トータルサポート事業」とも連携した取り組みを行う。
276	長野県	長野県上伊那郡中川村	中川村仕事づくり促進計画	長野県上伊那郡中川村の全域	若者等へ仕事づくりの場所を提供し、帰郷や移住を促進し、定住人口を増加させ、少子高齢化に歯止めをかけるため、「働く場所」として選ばれよう、お試しシェアオフィスの整備や都市部等でのプロモーション活動、空き施設活用による起業支援など仕事づくりや帰郷、移住・定住に対する支援を行います。
277	長野県	長野県上伊那郡宮田村	宮田村中央アルプス山麓エリア観光開発プロジェクト	長野県上伊那郡宮田村の全域	宮田高原キャンプ場及び総合公園ふれあい広場内の施設を整備し、高原では利用者の利便性の確保のためのセンターハウスの整備とアウトドアスポーツパークとしての整備を進め体験メニュー化やイベント等の開催を行いキャンプ場としてのブランド化を図る。ふれあい広場には特産品等の販売拠点を整備し特産品や農産物等の販売や村のPR拠点として活用する。両施設の整備により中央アルプスにきた方をこのエリアへ流入させることにより交流人口の増加を図り将来的に移住定住者の増加を目指す。
278	長野県	長野県下伊那郡松川町	ふるさと回帰につながる移住体験住宅整備計画	長野県下伊那郡松川町の全域	全国的な人口減少と同様に松川町においても人口減少、少子高齢化が課題となっている。そのため使われていない公有施設を移住体験住宅として利活用することで、移住希望者の定住を加速させる。これにより着実に、スピード感を持った移住定住施策を進めると共に、人口急減の抑制とバランスのとれた人口構成維持の早期達成を目指す。
279	長野県	長野県下伊那郡阿南町	おらほ自慢の「逸品」と「ひと」をひとねる創生事業	長野県下伊那郡阿南町の全域	地域の農林産物を効率的に集出荷する施設整備をすることで、生産量の確保と地域外に安定した出荷販売を行い、自慢の逸品化を図る。また、国内外からの農業体験希望者を標的にした体験型観光農業事業を、既存の農家長泊及びクラインガルテンに結びつけ、外から町に人を呼び込むことで外貨を稼ぎだす。この二つの事業を展開することで、未来へ美しい田園風景を残し、中山間地域における安定した農林産物出荷と体験型観光農業による安定した農業収益と地域の中心となる担い手(雇用)の確保を実現させ、活性化を図ることを目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
280	長野県	長野県下伊那郡阿智村	阿智村星の駅整備計画	長野県下伊那郡阿智村の全域	阿智村版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を実現するため、観光拠点として、「治部坂星の駅」の整備を行い、交流人口の増加と、拠点事業での収益化による雇用の確保を行う。
281	長野県	長野県下伊那郡売木村	売木村地域再生計画	長野県下伊那郡売木村の全域	陸上競技400mトラックの建設を中心にスポーツ合宿に関連する施設の充実を図ることで交流人口を増やし、これを農業生産と商業活動に密接に結びつけることによって、地域経済の活性化を推進し、地域再生のための足がかりとする。
282	長野県	長野県下伊那郡泰阜村	高原ハイテクトマトと干し柿の里拡大事業	長野県下伊那郡泰阜村の全域	泰阜村は、夏場は高原トマト、冬場は自然食品として人気のある干し柿をベースに、平成26年2月に全国のスーパーマーケット等に販売網を持つ丸西産業(株)をパートナーとして、第三セクターによる農業法人(株)ヌーベルファーム泰阜を立ち上げた。この事業は、①遊休荒廃地の解消、②柿を栽培することによって農業者の所得確保、③廃校を活用することによって内発的な産業の創出として、村民のみならず、新規就業者やIターン者の雇用が大きく期待できるとして、行政が村の施策として推進し、基幹産業に育てたいと考えている。
283	長野県	長野県下伊那郡豊丘村	道の駅を核とした小さな拠点整備計画	長野県下伊那郡豊丘村の全域	本計画は、平成30年度にオープンを予定している道の駅を核として、コミュニティスペースや生活基盤を整えるための商業施設、農家レストラン、農産物直売所、農産物加工所、行政情報コーナー等を集約した「小さな拠点」を整備することで、コミュニティの形成、生産物の販路拡大、行政情報の効果的な発信に一体的に取り組むとともに、「小さな拠点」と集落の交通ネットワークを形成することにより、高齢者等の買い物弱者支援を行い、日常生活に必要な行為は全て村内で完結できるよう生活圏を形成するものである。
284	長野県	長野県下伊那郡大鹿村	住民の憩いの拠点づくり計画	長野県下伊那郡大鹿村の全域	過疎化と高齢化に伴い、安心で快適な暮らしをつくるため、日常生活に必要なサービス・村の賑わい・観光交流などの機能を集約した拠点施設が求められている。 住む人が安心して生活できる環境を整えるため、商業施設、特産品販売施設、農家レストラン、農産物加工施設、観光交流施設等を複合し、防災、公共交通の接続拠点施設とするとともに、買い物弱者対策や、地域の活性化と雇用の創出を図るため「道の駅」を整備する。
285	長野県	長野県東筑摩郡麻績村	テレワークを活用した新たな仕事の創出と定住促進事業計画	長野県東筑摩郡麻績村の全域	都市部からの交通アクセスの利便性と地域情報通信基盤整備がなされている地域特性を活かし、テレワークの拠点施設を整備し、新たな働き方である「テレワーク」を地域として創出する。あわせて若者や子育て世代を対象とした定住促進住宅の整備を行い、移住から定住・定着に向けた一体的な施策を実施する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
286	長野県	長野県東筑摩郡生坂村	道の駅を核とした地域経済産業振興計画	長野県東筑摩郡生坂村の全域	本村は現在、平成30年度の運営開始を目的に県営中山間総合整備事業(農林水産省)を活用し、活性化施設の建設を進めている。この施設は、村内産農産物の直売や加工施設、地の食材を使った食堂開設など地域産業の振興、併せて地域間福祉、防災・減災対策等の生活機能の充実等の多様性を持つ。この道の駅を核とした経済波及効果を生み出すため、就労センター統合整備による雇用の創出、新規就農者育成によるぶどう産業の基盤強化を進め経済の活性化を図るものである。
287	長野県	長野県北安曇郡池田町	賑わい再生・交流促進 まちなか元氣プロジェクト	長野県北安曇郡池田町の区域の一部(中心市街地地区)	魅力や賑わいが失われつつある池田町のまちなかの空き店舗を活用し、多目的機能を持つ新たな施設を地域拠点として整備する。施設内には、集いカフェやシェアキッチン、地元農産物の直売等を行イベントスペースやコワーキングスペースを備え、地域コミュニティや賑わいの創出、起業促進の支援等により商店街の活性化を図る。また、町商工会等と連携しながら、空き家・空き店舗の改修事業、創業支援事業等を併せて推進し、移住定住促進やしごとの創出につなげ人口減少に歯止めをかける。
288	長野県	長野県埴科郡坂城町	坂城しごと創生プロジェクト	長野県埴科郡坂城町の全域	町内企業の技術の高度化と高付加価値化による製造業の発展と地域の底力を高めるため、既存の坂城テクノセンターを一部改修し、ミーティングスペース等を整備し、IoTなども活用しながら町内外から企業や技術者、クリエイターが集まりやすい環境をつくり出すとともに、利用者間の情報交換やネットワークづくりの支援や相談支援、マッチング支援のほか、他の支援機関と連携した開発支援やセミナー等の開催、保有する試験・計測機器等を活用した企業の開発研究へのサポート等を行う。
289	長野県	長野県下高井郡山ノ内町	移住定住推進事業計画	長野県下高井郡山ノ内町の全域	山ノ内町の魅力ある自然の地形を活かし移住定住事業を地元住民と更なる積極的推進及び企業誘致の推進、起業チャレンジ支援事業をすることにより雇用の創出、地域産業の活性化及び人口の社会減の改善を図ります。
290	長野県	長野県下高井郡木島平村	これからの農村を生きる みんなで楽しみをつくりだす村計画	長野県下高井郡木島平村の全域	地域資源やICTを活用した新たな産業や多様な雇用の創出を図り、住環境の整備や、田舎暮らし体験住宅など移住定住環境の整備し新しい人の流れを創出します。
291	長野県	長野県上水内郡信濃町	地域と協働する野尻湖ナウマンゾウ博物館整備計画	長野県上水内郡信濃町の区域の一部(野尻地区)	歴史・文化に関する調査研究で定評がある博物館の魅力化を進めるとともに、運営や地域におけるサポーター等を担う人材を育成し、来訪者や全国各地の野尻湖発掘体験者等との交流活動を活性化させ博物館自体がコミュニティになることで、支援者の増加を図り持続可能な運営システムを構築する。交流を通してより多くの信濃町ファンの獲得につなげ、再訪により地域産業の活性化につなげるものである。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
292	長野県	長野県上水内郡信濃町	地場産品直売所を拠点にした地域振興プロジェクト	長野県上水内郡信濃町の区域の一部(柏原地区)	道の駅構内に地場産品直売所を整備することで地場産品の販売促進や町の基幹産業である農業の振興、地域活性化、雇用の拡充を図る。併せて農産物の高付加価値化や地域特性を生かした栽培振興に取り組むことで農家の所得向上を図るとともに、町内飲食店や観光施設での地場産品の利用の拡大や学校給食等での活用を進めることで、地域内経済循環率の向上を図る。
293	岐阜県	中津川市	働く家族を助ける(中津川市障がい児総合支援施設整備事業)	中津川市の全域	本施設を整備すると同時に施設のスタッフ、市の勤労者総合支援センター、市内企業、ハローワークが連携する協議会を構築し、「就労しやすい環境の整備に向けた企業側の仕組みづくり」「本市とハローワークの連携協定締結による障がい者や女性などの就労促進」「ワーカーサポートセンターによる就労後のサポート体制強化による職場定着」などに連携して取り組むことで、障がい児を持つ保護者が安心して子どもを預けられるだけでなく、住民所得の向上、地域経済の活性化、移住定住の拡大、女性の活躍推進、労働力の確保などにつなげる。
294	岐阜県	中津川市	馬籠ふるさと学校(旧神坂小学校)を活用した地域の拠点整備計画	中津川市の全域	馬籠ふるさと学校(旧神坂小学校)を改修し、大学生等を対象とした研修・合宿の地として使用料を徴収することを前提とした管理運営方法(PFI手法、民間資金の投入、民間による管理運営ノウハウの導入)について、地域研究会を立ち上げて研究を行い、最善の方法を選択することで3年後を目処として完工を図るとともに、隣接する老朽化した公共施設(馬籠自然休養村センター)を取り壊し、施設を持つ集会所、調理場、交流機能を、馬籠ふるさと学校に集約させることで、本施設を地域の拠点施設として生まれ変わらせる。
295	岐阜県	美濃市	市産材を活用したものづくり拠点施設整備計画	美濃市の全域	市の倉庫として利用されている廃校となった小学校校舎を再利用し、地元産材を活用した起業化、木育活動の推進、地域交流等の核となる拠点施設を整備する。整備にあたっては、県立森林文化アカデミー、森林組合、木育活動団体など関係機関等と連携を図り、新たな視点と発想による木製品の開発に取り組む起業家を対象とした施設とするほか、木育広場と連携した木工体験教室の開催や、起業化を目指す若者等の技術研修の場所などの機能を兼ね備えることで、地域の産業、福祉、教育の総合的な拠点施設として整備を図る。
296	岐阜県	羽島市	竹鼻まちなかの賑わい再生計画	羽島市の区域の一部(竹鼻まちなか地区)	平成27年度より、多様な主体と連携しながら、「親で・触れて・食して楽しむ」環境づくり(加速化交付金の取組み)を進める竹鼻まちなか地区で、この取組みを発展的かつ効果的に促進するため、観光の推進、地域産業に触れる機会の充実、地域教育・世代間交流の促進、健康づくりの推進の4つの方針のもと、拠点整備交付金による施設整備をはじめとする取組みを推進し、恒常的な賑わいを創出するとともに、その施設を有効活用し、地域住民の取組み意欲の向上を図り、地域のまちづくりの担い手の育成に繋げることで賑わいの再生を図る。
297	岐阜県	恵那市	恵那市「小さな拠点」形成推進計画	恵那市の全域	各地域のまちづくり拠点を整備するため、笠置地域と岩村地域の振興事務所とコミュニティセンターを統合し、小さな拠点を形成する。また、地域自治を推進するため、各地域へまちづくり補助金による財源支援を行うとともに、地域間連携を推進し、個々の地域では達成できない社会的課題の改善や解決にあたる。併せて、恵那市への移住・定住を推進するため、結婚・住宅・生活等の各種支援事業を実施し、各地域の担い手を確保する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
298	岐阜県	美濃加茂市	旧伊深村役場庁舎を活用したまちの賑わい創出事業計画	美濃加茂市の区域の一部(伊深町地区)	美濃加茂市伊深地区の中心部にある、旧伊深村役場庁舎を整備し、地域コミュニティの形成やまちの散策拠点として位置づけることで、まちの賑わいの創出につなげ、高齢化及び人口減少に歯止めをかけることを目的とする。
299	岐阜県	可児市	戦国城跡巡り事業	可児市の全域	可児市には、戦国時代に地理的条件から多くの城が築かれており、地域資源である城跡を活用し、戦国城跡巡りやVR美濃金山城跡、兼山ふらり歩き、戦国いくさ体験、山城フェスティバル、武将になるうなど参加体験型事業を可児市山城連絡協議会が中心となって展開するため、拠点施設の整備や人材の確保・育成を行い、地域への人の流れをつくり、企業、NPO、行政や他地域との連携により、観光交流人口の増加と市の魅力向上による定住・移住に結び付ける。
300	岐阜県	山県市	「ベッドタウン」から「休日訪問タウン」へのパラダイムシフト計画	山県市の区域の一部(伊自良北地域)	伊自良北地域は、都市近郊方農業が盛んで、四季を満喫できる伊自良湖があり、都市住民の憩いの場として機能してきたが、近年の訪問客は激減してきており、農業生産者や販売者の高齢化も顕著となっている。こうした中、伊自良湖が「恋人の聖地」として選定されたのを受け、農産物直売所が若い世代にも魅力的となるリニューアル案の提案を近隣女子大学から受けた。これを基に専門の設計業者に委託し、この農産物直売所と附属施設の整備等し、地域活性化と若者就職促進を目指そうとするものである。
301	岐阜県	本巣市	地域農業を核とした道の駅活用促進計画	本巣市の全域	本計画は、当市において道の駅『織部の里もとす』を整備し、管理運営は、販売や商品開発、経営支援など高い能力を有する民間事業者が、農家と消費者の接近販売、根っこ見える商品提供、体験型商品などの事業を主軸に収益を確保しつつ、消費の近距離化や農産物のブランド化を図ることで、交流人口の拡大や地域の稼ぐ力を生み出し、地域資源を活かした高付加価値型農業を構築するもの。
302	岐阜県	岐阜県羽島郡岐南町	女性の活躍推進拠点整備計画	岐阜県羽島郡岐南町の全域	地域子育て支援拠点事業(ママサロン)や高齢者を対象とした展望浴室、町社協が運営する喫茶事業の利用者が一様に集うカフェスペースの創設を含めた一体的な模様替えや設備更新をすることで、子育て女性に対する育児相談等の支援強化や、今後ステップするための就労支援や講座による就業促進を図り、総じて子どもたちから高齢者までが一体的かつ一元的に集う町の多世代交流拠点施設とすることを旨とする。人口の流出に歯止めをかけ「住み続けるまち」への転換を図る。
303	岐阜県	岐阜県養老郡養老町	(仮称)養老町次世代育成支援・女性活躍推進拠点創出計画	岐阜県養老郡養老町の全域	子育て政策と雇用政策の連携により、就労や再就職などの働き方改革を進め、妊娠・子育て中の女性やその家族が安心して子育てができる環境づくりを推進することで、ワークライフバランスの実現に向け、既存施設を「子育て応援の場」、「学びの場」、「魅力創造の場」、「町民交流の場」となる事業拠点として整備を行う。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
304	岐阜県	岐阜県揖斐郡大野町	道の駅「パレットピアおおの」飲食提供機能を 活かした地域還元ビジネス・雇用創出計画	岐阜県揖斐郡大野町の全域	平成31年度に開通見通しが示された東海環状自動車道(仮称)大野・神戸ICを地域活性化のチャンスとしてとらえ、これを最大限に生かすためインターチェンジ近接地に平成30年度開駅を目指し整備する。本計画では、道の駅における地域振興のメインとなる施設の飲食機能に資するレストラン・バーカリーを整備し、観光振興、農産物生産・6次産業化による農業振興、特産品販売による商工業振興に資する事業を展開していきます。
305	岐阜県	岐阜県揖斐郡池田町	池田町子育て・就労応援事業	岐阜県揖斐郡池田町の区域の一部(片山地区)	国勢調査によると、25～34歳の女性就業率が落ち込んでおり、全国平均より低い値となっている。また、出生動向基本調査によると夫婦の予定子ども人数が理想子ども数を下回る理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も多い。池田町内に、子育て支援、就労応援、多世代交流の機能を併せ持つ施設を整備することにより、子育て中であつても働きたい、収入を増やしてもう1人子どもを産みたいという希望を叶えることを目指す。
306	岐阜県	岐阜県揖斐郡池田町	池田山を活用した体験交流ツアーの実施	岐阜県揖斐郡池田町の区域の一部(願成寺地区)	池田町は桜の季節以外、休日の観光客数が落ち込んでおり、県内と比較して観光消費額が低くなっている。そこで、年間を通じて楽しめる体験交流ツアーづくりやガイド育成により、交流人口の増加、日帰り客の観光消費額の増加を目指す。具体的な取組として、大津谷公園は、川遊びやバーベキューを楽しむに、年間10万人が訪れる観光スポットであることから、有料のバーベキューハウスを整備し、収益をあげる観光拠点として運営することを目指す。
307	岐阜県	岐阜県本巣郡北方町	北方町地域コミュニティ拠点整備計画	岐阜県本巣郡北方町の全域	コミュニティ拠点施設を新築し、会議室やホール、事務室などを整備。あわせて町内各施設の管理・予約等をインターネットで一元的に行なえるシステムを構築する。 また、新たに住民グループの代表者等からなる施設管理団体を組織し、施設に常駐の事務員(コーディネーター)を設置する。施設管理団体は、町内各施設の貸し出し業務を行うほか、住民グループ間の連携や情報共有、相談受付や団体主催のまちづくりセミナーの企画・運営を行うことにより、小さな拠点造りを進める。
308	岐阜県	岐阜県加茂郡白川町	有機農業の伝承による新規就農者躍進プロジェクト	岐阜県加茂郡白川町の区域の一部(黒川地区)	岐阜県内唯一の有機農業者組織であるNPO法人が主体となり、黒川地区に就農希望者の相談、ステイ型農業研修及びオーガニックカフェを整備し、地域の強みである技術の継承を行い人材育成型の支援を行うことで有機農業を生業とした新規就農者によるUターンへの雇用及び定住促進プロジェクトとして実施するものである。また、地域ぐるみでの農地、住宅の斡旋等を支援するとともに、通訳育成等による受け入れ体制を構築し、地区初の農業体験観光(インバウンド向け)宿泊施設としても活用することで新たな観光振興を図るものとする。
309	岐阜県	岐阜県加茂郡白川町	高齢者と女性が活躍できる複合型拠点づくりプロジェクト	岐阜県加茂郡白川町の全域	高齢者の生きがいづくりや女性の感性が活かされる農産物の6次産業化拠点及び女性起業家が安心できる子育て支援ルームを併設した女性のチャレンジ施設等の複合施設を整備し、高齢者の健康増進への寄与及び女性が暮らしやすい環境整備による新たな担い手育成プロジェクトとして実施するものである。 プロジェクトに際しては、運営事業体の検討、農産物等の生産体制・販売体制の構築、若年女性の起業に対するテストマーケティング等を行い、働き方の多様性を実践する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
310	岐阜県	岐阜県加茂郡白川町	白川町伝統食文化「鯉の赤煮」再燃プロジェクト	岐阜県加茂郡白川町の区域の一部(佐見地区)	白川町の伝統料理である「鯉の赤煮」の6次産業化による移住者、女性、新規就農者等の雇用を確保する雇用促進プロジェクトとして実施するものである。プロジェクトに際しては、運営事業体の検討、販路拡大事業等の運営支援を行うとともに、単なる加工場整備に留まらず、加工場の見学コースや加工体験、試食・販売等の観光要素を含んだ集客促進を図ることで地域内の賑わい創出を実践する。
311	岐阜県	岐阜県加茂郡東白川村	林業・製材業、建築業担い手育成事業	岐阜県加茂郡東白川村の全域	東白川村の基幹産業である林業・製材業、建築業など伝統的な産業の衰退を防ぐため、全国からUターン、Jターン者を募り、事業所への就業・定住を促進し、技術習得のため、研修等を行う雇入れ事業所への支援と担い手となるUターン・Jターン者の居住する木造建築住宅を整備する。
312	静岡県	静岡県	「農・食・健」連携型「健康・長寿の産業化・ブランド化」推進計画	静岡県の全域	静岡県の穏やかな気候と農業生産の質の高さや関連する学術基盤、研究成果を活かす豊富な美証フィールドという地域資源を活用し、マーケット志向型の農業・食産業の育成、ICTや先端技術を活用したイノベーション、安全安心で高品質、高機能、低コストな農産物生産のための革新的技術開発などを進める。農業生産の拡大と食関連産業における事業拡大を図り、「しごと」づくりや地域の稼ぐ力の創出につなげるとともに、「農・食・健」連携による健康・長寿で生きがいを持って暮らせる地域としてのブランドイメージの確立を目指す。
313	静岡県	静岡県	次世代型車載用電子機器・部品産業育成計画	静岡県の全域	静岡県内の企業は、電気機械や輸送用機械器具製造業に強みを有し、自動車の電子化・IoT化の急速な進展をビジネスチャンスと捉え、車載用の電子機器・部品の新開発に積極的に取り組んでいる。開発においては、電磁波による影響等を試験する必要があるが、企業が自社単独で試験施設を持つことは難しく、県内で利用できる試験施設も不足している。そこで、県が新たに施設を整備し、地域企業の研究開発支援体制を強化することにより、地域の新たな製造品出荷額の増加や雇用創出につなげていく。
314	静岡県	静岡県	茶の都推進計画	静岡県の全域	近年、茶の消費量は減少傾向にあり、茶業の再生に向けた取組が必要となっている。そこで静岡茶に関する各分野の情報等を集約・発信する拠点を整備し、静岡県の茶に関する多彩な資源を活かし、産業、文化、学術、観光の視点から、茶の持つ魅力を磨き、「場の力」を活かした静岡茶のブランドの確立・強化を図るとともに、県民が茶で心や体が健やかになり、多くの方が集う「茶の都」づくりを進め、静岡茶と「茶の都しずおか」の魅力を国内外に発信していく。
315	静岡県	静岡市	静岡市葵区七間町賑わい創出拠点整備計画	静岡市の全域	映画館の撤退などで危機的な状況にある中心市街地(葵区七間町)では、演劇やパフォーマンスを活かして“まちづくり”を行う民間団体が出始めており、市内では、小規模な劇場もできている。このような動きをまちづくりにつなげ、また、商業ベースにのせるためには、商業ベースで使用できるより大きなサイズの劇場が必要になっている。クリエイターやパフォーマンスが活躍できるサイズの劇場を提供し、これまでの民間投資に加え、行政が後押しすることで、新たな文化・クリエイティブ産業の集積とビジネスの機会を提供する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
316	静岡県	浜松市	創造都市浜松拠点整備計画	浜松市の全域	地域における文化拠点としての地位をさらに向上させ、求心力のある施設とすることで浜松市美術館の入館者数増並びにアウトリーチ活動などアートを活用した地域活性化施策の充実を目指し、これまで受け入れできなかった美術作品の受け入れを可能とするため、企画展・特別展などで美術作品を受け入れる際のトラックヤードを整備する。また、厳格な温度・湿度などの管理を求められるより価値の高い美術作品の受け入れにも対応するため、空調を始めとした機械設備の改修を行うとともに、入館者数の増などに対応するため、床の改修を行う。
317	静岡県	島田市	蓬萊橋周辺整備事業	島田市の全域	本事業は、市において、本市有数の観光資源である「蓬萊橋」に物販所兼休憩所等を整備し、既存資源に新たな付加価値を付ける、観光資源の有効活用によって、更なる観光誘客の推進を目的として実施するもの。また、駐車場整備及びライトアップ設備の設置を行い、本体整備事業の効果を更に高める事業を併せて行う中で、観光客の満足度を高め、リピーターの確保に努めていく。さらに、施設の運営については、民間活力を導入し、地域経済の活性化を図るとともに、地元団体との連携をとって地域づくり、人づくりも行っていく。
318	静岡県	磐田市	コワーキングスペースの創業支援によるまちづくりのリーダー創出計画	磐田市の全域	本市においても創業支援計画を策定し、女性を中心とした希望者に伴走型の支援を提供してきているが、希望者から、モチベーションの維持の難しさや相互に刺激し合う環境、場所の必要性が聞かれ、コワーキングスペースを設置する。市内に散らばる優秀な人材との出会い、交流の場となる他、人とながることにより、新たな事業の展開やまちづくりのアイデアが生まれる可能性も持ち合わせており、チャレンジショップの確保の一策として、中心市街地の空き店舗の活用も視野に入れており、地域のリーダー養成に大きな可能性を秘めている。
319	静岡県	藤枝市	地域住民が主体となった藤枝市中山間地域の観光拠点化による地域活性化計画	藤枝市の区域の一部(瀬戸谷地区、稲葉地区、葉梨地区及び朝比奈地区)	夏も涼しく秋や冬でも温暖で雪が降らない本市の特性を活かして、1年を通じて観光客が長期滞在できるような宿泊・飲食機能を中心に、大久保グラススキー・キャンプ場の施設整備により滞在機能等の強化を行うことで、地元活性化団体等が一年を通じて本地域及びその周辺への誘客に取り組める環境を構築する。
320	静岡県	袋井市	地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画	袋井市の全域	社会教育活動拠点である公民館を一部増築し、地域内の農作物等(モノ/良心市)をフックに、ヒトやコトとの出会いを増やし、異世代の交流や地域コミュニティ組織の出会いの場となる「地域の縁側(プラットホーム)」を整備する。また、既存事業のブラッシュアップに加え、効果促進事業の実施を通じ、多世代間や土着の住民と転入者など、モノやコトをきっかけとした新たなヒトとの交流を促進し、地域内での絆や支え合いの仕組みづくりと地域生活を支える拠点施設への転換(コミュニティセンター化)に向けたモデル地区としての役割を担う。
321	静岡県	静岡県駿東郡小山町	「スタジオタウン小山」～映像文化を活用したしごと創生・交流拡大事業～	静岡県駿東郡小山町の全域	NPO法人小山町フィルムコミッションと町が協働して「ロケ支援ビジネス」と「映像文化の創造事業」を実施する。この拠点となる町が所有する旧民間研修施設を「小山フィルムファクトリー」と名付け、ロケスタンをはじめとする映像文化創造の拠点施設として改修する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
322	静岡県	静岡県駿東郡小山町	足柄ふれあい公園BBQガーデン整備による雇用、交流の創出	静岡県駿東郡小山町の全域	足柄ふれあい公園は平成22年のオープン以来、地元に着した公園として利用されている。また、公園内には貸し農園が整備され、現在34区画の利用がある。一方で、公園の利用者は年数回行われるイベントを除き、地元町民に限定されていることから、さらなる利活用が求められている。そこで公園内にBBQガーデンを新たに整備し、公園全体の管理運営を民間事業者に委託することで、しごとの創出、食材提供による農業振興及び、交流人口の拡大を図る。
323	愛知県	名古屋市	IoTを活用したものづくり開発支援事業	名古屋市の全域	イノベーション創出に取り組む、広範囲の企業ニーズに総合的に対応すべく、3Dプリンタ等のデジタルものづくり装置をネットワークで連携した「3Dものづくり支援センター(仮称)」を名古屋市工業研究所中間実験工場内に開設する。技術相談や依頼試験による課題解決に加え、企業技術者がデジタルものづくりに慣れ親しみ、操作を習得する機会の提供、講演・見学会による情報提供等により名古屋の強みであるものづくり技術の発展を図るとともに、イノベーション創出に取り組む中小企業を支援する。
324	愛知県	豊橋市	豊橋ローカルイノベーション創出計画	豊橋市の全域	豊橋サイエンスコアは、地方創生関係交付金を活用しオープンラボ等を整備した、東三河地域の産業支援拠点施設である。また、本市は、第三セクターの(株)サイエンス・クリエイトの活動を支援し、本施設を活用した様々な産学官連携プロジェクトの創出を促進している。 本事業は、豊橋サイエンスコアに、オープンラボ、インキュベーション、交流促進のための新たな機能を導入するとともに、既存の施設機能との相乗効果を発揮させながら、ローカルイノベーション創出の拠点となるよう官民が連携して取り組むものである。
325	愛知県	豊橋市	のんほいパーク魅力創造計画	豊橋市の全域	本市最大の誘客施設である豊橋総合動植物公園「のんほいパーク」を夜間も開園し魅力をアップさせ、誘客施設としての拠点機能を強化することで、訪日外国人観光客や近隣地域の若者の取り込みを図る。このため、夜間開催に必要な施設整備を行うとともに、民間事業者と連携した効果的な誘客策を展開する。
326	愛知県	春日井市	高蔵寺リ・ニュータウン計画	春日井市の区域の一部(高蔵寺ニュータウン)	春日井市の東部に位置する高蔵寺ニュータウンは、平成30年にまちびらきから50周年を迎え、初期の入居者が一斉に高齢期を迎える等の課題が生じつつある。計画的に整備されたニュータウンの成熟した資産(ストック)を活かしつつ、更新(リノベーション)を重ねながら、新たな若い世代への居住の魅力と全ての住民への安らぎを提供し続けるために、「ほっとできるふるさとでありながら、新たな価値を提供し続ける“まち”であり続けること」(リ・ニュータウン)を目指し、まちの賑わいの創出と再生を行うものである。
327	愛知県	安城市	雨ニモマケズ風ニモマケズ 三世代が楽しめる デンパークリニューアル整備計画	安城市の全域	産業に多様性を持たせるため、弱点である観光業の振興によるまちおこしを行う。デンパークは、本市の観光入込客数ナンバーワンの施設であり、平成12年のオープン時には年間120万人もの来場者に恵まれていた。しかしながら施設の老朽化や魅力の低下により、今では年間50万人程度の来場者に留まっている。そこで、本交付金を活用し、デンパークに未来への投資に繋がる先進的な施設を整備することで、来場者の増加を始めとした経済波及効果の押し上げのみならず、子育て世代に魅力的なまちとして定住人口の増加にも一体的に取り組む。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
328	愛知県	犬山市	シルバーと若者が農で大活躍！農業活性化プロジェクト	犬山市の全域	本プロジェクトは、シルバー人材センターが農業を行うための「農の拠点」を整備し、農業に必要な知識・技術を習得する場として、アイメック農法によるミニトマトの栽培を行う。収穫したミニトマトは市場に出し、収益を得る。また、新規・若手就農希望者を育成し、農業の再生、雇用の創出を促進する。さらに、農作物のブランド化を進め、付加価値を高めることで収益の向上を図るとともに、高齢者のやりがい・生きがいの創出につなげる。
329	愛知県	大府市	駅下の空きスペースを活用したにぎわい創出プロジェクト	大府市の区域の一部(大府市中央町)	本市では、「健康都市」をまちづくりの基本理念とし、様々な健康づくり施策を進めている。近年、健康関連企業の進出などもあり、大府駅の利用者数は増加傾向にある。しかし、駅周辺は単なる通過点であり、周辺商店街の衰退と地域の高齢化が顕著に表れている。そこで、駅周辺に人々が交流できる空間を確保し、「健康づくり」事業に加え、特産品販売や観光ボランティアガイドによる大府の魅力発信などの「観光・産業振興」事業を横断的に推進し、駅周辺のにぎわい創出、交流人口の拡大、更には地域の「稼ぐ力」を育てていく。
330	愛知県	田原市	渥美半島をもっと元気に！「日本一の農業×観光」拠点づくり事業	田原市の全域	道の駅田原めつくんはうすのリニューアルに合わせ、農業産出額日本一という資源を最大限に活かすため、6次産業加工施設を設置するとともに、地域産品の流通拡大と高付加価値化を図る。また、田原市のゲートウェイとして外国人観光客対応も含めた総合観光案内所を設置し利用環境の向上を図る。
331	愛知県	長久手市	多世代交流サロン整備による「役割」と「居場所」のあるまちづくり	長久手市の全域	本計画は、アクティブシニア等の高齢者を中心とする地域住民が、保育園の環境整備や行事の補助等を行う「保育園おたすけたい」事業を実施することで、 ①子どもを中心とした地域の交流・つながりを生む ②アクティブシニアが活躍する居場所の提供 ③地域で子育て世帯を支援していくまちづくりの推進の3つの施策が一体的に推進することが可能となり、同時に、住民相互の地域理解が深まることで、自治会参加へのインセンティブやシンビックプライドの醸成、市民の地域での「役割」と「居場所」づくりにもつなげるもの。
332	愛知県	愛知県海部郡蟹江町	観光交流センター「(仮称)須成祭ミュージアム」整備計画	愛知県海部郡蟹江町の全域	須成祭の車楽船行事と神饌流しが、平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録され、これを観光振興の絶好の機会と捉え、観光をメインテーマに掲げた須成祭ミュージアムと駐車場を整備し、年間を通じた誘客を目指すとともに、地域の活性化をはかる。ミュージアムの機能として、物販、レストラン、展示・シアター・体験ブースを設け、さらに「宵祭」「朝祭」当日には、祭りのクライマックスを間近で体感していただけるように当施設の屋上を開放するなど、交流人口の増加を図るとともに、本町内の観光収入の増加を図る。
333	愛知県	愛知県知多郡東浦町	生涯活躍できるまちを見据えたコンパクトなまちづくりの深化	愛知県知多郡東浦町の全域	人口減少と高齢化の進行に伴い、高齢者が歩いて暮らすことができるコンパクトなまちづくりを推進するとともに、高齢者が生きがいを持ち、地域で活躍できるまちを目指すため、駅徒歩圏半径800メートル以内、バス停徒歩圏半径300メートル以内の場所に位置し、高齢者活躍の拠点となる施設である「東浦町シルバー人材センター」の安全安心な活用を図ります。駅徒歩圏半径800メートル以内の魅力を高めることにより、将来的に駅を中心とした居住区に住民を誘導し、まちのコンパクト化を推進します。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
334	愛知県	愛知県知多郡美浜町	生涯活躍のまち「美浜ふくしモデル」推進地域再生計画	愛知県知多郡美浜町の全域	生涯活躍のまちの推進に資する世代間交流の場づくりとして、保育園児、子育て世代、地域の高齢者や大学生など多世代が交流できる施設を創出するため、限られた地域資源を見直し、既存の保育所などの公共施設の空きスペース等を活用したコミュニティハウスを整備する。まち(地域)ぐるみの子育て、子ども・お年寄りとの多世代交流の拠点整備を行い、学生インターン(実習)の形をとって、住民と学生の交流、若者とお年寄りとの交流を図ることにより、大学にとっては現場実習の場ができ、地域にとっては若者との交流ができる。
335	愛知県	愛知県北設楽郡豊根村	豊根村にぎわい拠点整備計画	愛知県北設楽郡豊根村の全域	道の駅に併設する形で簡易郵便局及び特産品や地元野菜の販売施設を一体的に整備することで、地元住民の通信や金融、買い物場を一体的に確保し利便性を向上させるとともに、道の駅の機能も充実することから、村外からの来訪者への豊根村の魅力を発信する場となる。村の「にぎわい拠点」の整備を実施する。
336	三重県	三重県	水田農業の技術開発研究基盤を生かした知の集積による雇用の創出	三重県の全域	水稲育種に不可欠な世代促進温室の機能向上を行う。これらを拠点として国研究機関等との連携を進めて知の集積を図る。これにより研究機関との交流が促進され、本県での研究の効率や精度が飛躍的に向上する。開発された技術は積極的に県内の農業生産法人等に移転し、経営発展やしごとの創出につなげる。民間企業等との共同研究によりニーズに対応した品種開発を迅速に進めるとともに、新たな市場・商品を民間企業が開拓できるローカルイノベーションを目指す。
337	三重県	名張市	名張市市民活動活性化ゾーン形成計画	名張市の全域	市民活動活性化ゾーンとして、既存施設の機能転換を行います。人や団体が出会い、交流し、協力し合う活動拠点を創造します。市民活動団体等が旧市街地の地域資源や人材などを活用し、連携を図りながら、自主的・自立的な活動が行えるような場を作るとともに、地域住民の持つスキルやノウハウを発揮できる場としても活用し、そこから雇用や産業が生まれ、経済が循環するしくみを構築します。
338	三重県	熊野市	紀和地域における賑わい創出プラン	熊野市の区域の一部(紀和町)	紀和地域全域を巻き込んだ賑わいと活力の創出を図るため、地方創生拠点整備交付金を活用して、紀和町の中心部に位置するコミュニティセンターを改修して、地域の特産品等を扱う物販や地域資源を生かした集客を促進する拠点施設を整備する。 また、将来は拠点施設を中心として近隣施設と連携した形で道の駅とすることで、更なる集客を図る予定としている。
339	三重県	三重県員弁郡東員町	子育て支援拠点整備計画	三重県員弁郡東員町の全域	既存施設である保健福祉センターを子育て支援事業を総合的に行う拠点として整備し、保健、福祉、教育の連携した途切れのない子育て支援を行う。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
340	三重県	三重県多気郡大台町	ユネスコエコパークを活用した持続可能なまちづくり	三重県多気郡大台町の全域	「自然・健康・癒し・安全」などユネスコエコパークを背景とした農林産物への高付加価値づくりと、森林資源を総活用するため供給側と需要側の調整機能を兼ね備えた拠点を整備することにより買手市場からの脱却を図り、全国に類を見ない杉・広葉樹との複合的な林業モデルの確立への取り組みとして深化させる。これらユネスコエコパークのイメージ戦略による一連の取り組みにより、農林地の荒廃を防ぐとともに、地域資源を存分に活用したしごとを創出する持続可能なまちづくりへの歩みを着実に進めるものである。
341	三重県	三重県度会郡玉城町	歴史・伝統文化を活かした多世代交流・魅力創造再生計画	三重県度会郡玉城町の全域	当町の特色である歴史的まちなみや伝統文化財を活かし、多世代交流や伊勢志摩地域の魅力創造拠点として「玄甲舎(げんこうしゃ)」を増改築する。当該施設で実施する「郷土愛を育む寺子屋」「住民の健康をつくる集いの場づくり」「集客交流を促進させる魅力発信」などにより、郷土愛の醸成や地域内外の交流を促進させることで、町の認知度向上や地域の活性化による流入人口の増加および雇用機会の創出を図る。
342	三重県	三重県南牟婁郡御浜町	まちの賑わい創出と第一次産業を核とした地域産業活性化プロジェクト	三重県南牟婁郡御浜町の全域	本事業は、町の中心部である「道の駅パーク七里御浜」及びその周辺エリアを一体的に整備し、住民の快適な暮らしを確保するとともに、地域内外からの集客力を高め、人を呼び込み外貨を獲得することで町の経済活動の活性化に取り組みます。また、基幹産業である農業の持続的かつ安定的な生産体制や生産基盤の確立と生産者の所得を向上させることで、新規就農者やU/Iターン者の確保に繋げる一方、地域産品の販路拡大や加工品開発に取り組みます。また、既存事業者への支援を強化するなど雇用の創出と地域産業全般の活性化に取り組みます。
343	三重県	三重県南牟婁郡紀宝町	世界遺産等を活用した海・山・川の観光地域マネジメント計画	三重県南牟婁郡紀宝町の全域	当町は三重県の最南端にあって紀伊半島の南東に位置しているため、都市部とのアクセス不利地となっていた。しかし、近年、高速道路の延伸が進み、交流人口が増える好機をむかえ、当町もつ有用な資産である世界遺産「熊野川」「御船島」「七里御浜」や、日本の聖地ベスト100に選ばれた「神内神社」、温暖な気候に育まれる柑橘類、特に「マイヤーレモン」などを活用し、新たに地方創生加速化交付金で取り組んでいる事業を進展させるなかで、紀宝町の観光マネジメントを行い効果的にニーズに対しセールスを行っていくことを目的とする。
344	滋賀県	滋賀県	近江牛を核とした魅力ある滋賀づくりプロジェクト	滋賀県の全域	近江牛は最も古い歴史をもつ銘柄牛であり、日本三大和牛として全国的に高く評価されている。近江牛の安定供給のための生産基盤強化を図るとともに、産地と品質が結びついたブランド力に磨きをかけ、その魅力を観光資源として国内外に情報発信することにより、近江牛を核とした魅力ある滋賀づくりを推進する。
345	滋賀県	滋賀県	新琵琶湖博物館創造計画	滋賀県の全域	琵琶湖博物館に(1)団体客用の昼食・休憩スペース等の設置、(2)空中遊歩道「樹冠トレイル」の新設、(3)レストラン・ショップの機能充実、(4)国内博物館では初めての知的空間となる「おとなのディスカバリー」等の交流空間・交流機能の再構築、を行うことにより、滋賀県への集客を牽引するもの。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
346	滋賀県	滋賀県	「近江の地酒」醸造技術強化推進計画	滋賀県の全域	滋賀県工業技術総合センター別館(工業技術振興会館)に清酒の試験醸造施設を整備し、県内清酒醸造所に対する醸造技術支援の強化等を図り、もって地域産業の振興を図る。
347	滋賀県	滋賀県	ICTを活用した高収益農業の推進と農村地域活性化プロジェクト	滋賀県の全域	本事業は、県ICT農業推進拠点を整備し、民間事業者、大学、関係機関等と連携し、ICT農業の研究開発や実証試験、農業者や指導者への普及拡大を推進するものである。特に、ICTを活用した高収益農業を実践する農業者を育成し、移住施策に取り組み市町等と連携した新規就農支援を行い、地域資源を活かした魅力的で力強い農業の創造を推進する。あわせて、農業と商工・観光、医療・福祉などと連携したビジネスの創造支援を進め、成長産業となる農業の基盤を作る。
348	滋賀県	近江八幡市	近江八幡0次予防シェアリングプラットフォーム形成計画	近江八幡市の全域	近江八幡市における生涯活躍のまち「安寧のまち」形成に向け、課題が顕在化している武佐学区において、0次予防に係るプラットフォームの形成を図るため、武佐コミュニティセンター及び隣接する武佐コミュニティ消防センターを改修(リノベーション)し、拠点となる施設の整備を行うほか、事業推進の核となる官民連携の体制づくり、健康づくり情報・ノウハウ共有の仕組みづくり、健康な食事を入手しやすい環境づくりと担い手の育成、地域の困り事のソーシャルビジネス化支援を一体的に行う。
349	滋賀県	守山市	「本の森」新市立図書館と連携した創業・就業支援計画	守山市の全域	「本の森」新市立図書館と連携した「知の森」ナレッジ・フォレストを設置し、ビジネス(創業・就労等)の支援機能およびコミュニティの核となる高感度・高品質のカフェを整備し、創業就業・健康医療・子育て支援情報を効果的に提供することで、図書館の交流の場を活用し、新しいビジネスコミュニティを形成するとともに、守山市ごとをはじめ支援協議会による創業支援や中小事業者への経営支援を実施することで、雇用の創出・就業の促進を図り、地方創生における「しごと」づくり、および「ひと」づくりを推進するもの。
350	滋賀県	湖南市	「あるものいかし」の視点による観光資源の魅力向上・発信プロジェクト	湖南市の全域	湖南市は、市内観光資源の魅力が十分に発信されておらず、そのネットワーク化ができていない。このため、観光入込者数が少なく、滞在時間も短いことから、市の中心産業である第2次産業で稼いだ外貨が、観光・サービス等の第3次産業で市外に流出している。そこで、市内観光資源の魅力を高め、観光資源のネットワーク化を図るとともに、観光情報を効果的に発信し、入込観光客の数・滞在時間・消費額を増加させる。加えて、地域特産品の販売促進策や創業支援策により第3次産業の活性化を図り、市内経済循環を活性化させる。
351	滋賀県	高島市	ピワイチ拠点施設整備計画(道の駅藤樹の里あどがわ)	高島市の全域	本施設は、市内観光情報の発信をはじめ、地域産品の販売を通じて都市住民との交流拠点として大きな役割を果たしています。年間施設利用者は約89万人に達する市内最大の観光拠点施設です。多くの生産者等から特産品売り場への参加希望があるが、既存スペースではこれに応えることができないため、売り場の拡張を行い、施設収益の増加および地域の平均所得の向上を図るものです。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
352	滋賀県	高島市	ピワイチ拠点施設整備計画(農業公園マキノビックランド)	高島市の全域	本事業は、ピワイチの市内周遊ルートの拠点として農業公園マキノビックランドを整備するものです。センターハウス棟は本施設の中心であるが、収益に貢献しているジェラート、物販の休憩スペースが狭く、十分な集客につながっていません。このため、快適な休憩・喫茶のためのカフェスペースを新たに設け、サイクリストの誘客促進を図り、滞在時間延長、消費拡大による施設収益増につなげます。
353	滋賀県	東近江市	風土を生きしみんな育て未来に繋ぐ東近江農業活性化計画	東近江市の全域	本市の基幹産業である農業は、近畿有数の規模と生産量を誇るが、収益悪化等による農業後継者、就農者の不足等厳しい状況にあり、新たな展開が望まれている。そこで、農家、企業等が連携し、本市の農産物の生産拡大やブランド化、加工、販売、観光、体験、就農支援、さらに本市農業自体の売出し等をワンストップで総合的にマネジメントや発信する機能を強化し、「儲かる農業・夢のある農業」を実践するための拠点整備やマネジメント機能の構築等を通じて、地域の活性化や魅力向上を図り、雇用の拡大、交流・定住人口の増加を図る。
354	滋賀県	米原市	ピワイチ拠点整備計画(サイクリスト宿泊拠点)	米原市の全域	アウトドアに関心が高い層が多く利用するグリーンパーク山東内に、バイクラックや工具などを備えたコテージを整備することで、これまでの利用層に加えて、サイクリストの宿泊客も獲得する中で、ピワイチをはじめとしたサイクリストの宿泊拠点としての機能強化を図ります。また、ウェブカメラを利用して観光客へのより質の高いサービス提供と、市内周遊の動機付けを図り、滞在時間延長を促進することによる地域経済活性化を目指します。将来的には、カヌー体験機能なども追加する中で、ピワイチの宿泊拠点としての定着を目指します。
355	滋賀県	米原市	ピワイチ拠点整備計画(サイクリスト休憩拠点・トレッキング出発拠点)	米原市の全域	サイクリストへの魅力的なコンテンツ提供に向けて、本市のシンボルでもある伊吹山の登山口前に、伊吹山インフォメーションセンターを設置し、サイクリストの休憩拠点兼トレッキング出発拠点としての機能を持たせます。これにより、サイクリストに伊吹山や東草野の山村景観を含めたトレッキングという選択肢を提供し、滞在時間延長による地域経済活性化を図るとともに、ピワイチブランドに深みを持たせます。
356	滋賀県	滋賀県蒲生郡日野町	三方よし 近江日野まちなか観光交流推進計画	滋賀県蒲生郡日野町の全域	日野まちかど感応館を、戦国の城下町の風情と近江日野商人のまちなみを活かした「棧敷窓アート」や「日野ひなまつり紀行」などのまちなか観光交流イベントの拠点として整備し、地場野菜の販売、地場野菜等の調理販売による六次産業化、文化の町日野町で活動する多くの団体と観光客の交流によるまちの賑わいの創出と、地元産品や加工品の販売による地域経済の活性化のための事業を実施する。
357	京都府	福知山市	北近畿『知』の拠点を活用した地域力推進計画	福知山市の全域	「福知山公立大学」・「京都工芸繊維大学」を、『知』の拠点として、北近畿地域の地方創生の核として活用するため、様々なセクターとの連携プラットフォームを構築する。また、2大学との文理連携による大学資源を活用した産業人材育成、産業振興を進め、若者人口の流出を抑制する。また京都府・兵庫県をまたいで、共通の課題解決に向けた協働事業も推進し、大学と地域の魅力アップを図る中で、2大学への進学意欲の向上により、人材の域内循環を図り、大学と産官学金等が連携した北近畿モデルの発信を行う。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
358	京都府	宮津市	多世代交流型「住んでよし」のまちづくり推進プロジェクト	宮津市の全域	人口減少・地域活力の低下・産業の停滞といった負の連鎖を断ち切り、子どもから高齢者までの全ての世代が「住んでよし」と感じられる活気あるまちを実現するため、福祉・教育・地域交流・就労支援などの複数の公共施設機能を集約・複合化した交流拠点を市街地中心部に整備することにより、子どもから高齢者まで様々な世代の「人が集い、出会い、交流し、語り合える、まちづくりの場としての」空間づくりを通して地域の魅力向上による定住促進を図るとともに、地域雇用を促進し市民総活躍による持続可能な地域運営を目指す。
359	京都府	亀岡市	亀岡市への移住・定住促進計画	亀岡市の全域	人口減少が続く本市への移住・定住を促進し、「選ばれるまち」「住み続けたいまち」となり、地域活性化を図ることを目的として、「転出減」「転入増」「出生増」に取り組む。子育て世代のUターン支援、子どものころからのふるさと強化を中心に、子育て環境の充実、婚姻数の増加などを実施する。また、古民家の改装による移住相談窓口やお試し住宅の整備を図るとともに、当該施設を宿泊施設としても活用することで、雇用場所の確保や起業支援の場としての活用も図っていく。
360	京都府	向日市	向日市女性が輝く地域づくり推進計画	向日市の全域	(仮称)向日市女性活躍推進センターにおいて、市民活動団体や企業等との緊密な連携・協働の下、全体として隙間のない横断的・総合的な支援体制を構築し、女性が今よりもっと活躍でき、自分らしく輝き、仕事も子育ても充実するワークライフバランスを推進するための事業を実施する。
361	京都府	南丹市	観光・交流施設と地域資源ネットワークによる交流人口拡大プロジェクト	南丹市の全域	ソフト事業と観光・交流に関する施設の整備と充実により、拠点となる道の駅などと、特産品販売、農業体験のネットワーク形成を図り、最大限の交流人口の拡大により、地域経済全体の底上げを目指すため、①道の駅京都新光悦村の農産加工所の増築、②スプリングスひよしの農産物直売所の増築、③八木農村環境公園水室の郷のレストランラスの増築を行う。各拠点施設に交流人口の拡大が図れる機能を充実させ、自らも人を呼びこめる施設としての機能を果たし、各施設並びに地域を周遊させ、地域経済全体の底上げを図ることを目的とする。
362	京都府	京都府綴喜郡宇治田原町	宇治田原「訪れてよし」ふれあい「にぎわい」交流人口及び移住・定住人口拡大プロジェクト	京都府綴喜郡宇治田原町の全域	「訪れてよし」の取り組み強化のため、広い町域内の3つの拠点を一体的に整備することで外部から人を呼び込み、町域の入口(京都市・宇治市方面:西側)～中央(日本緑茶発祥の地)～奥側(滋賀・三重方面:東側)への人の流れを作るとともに、それぞれを展望施設、物販スペース等の確保、化石体験入りの施設として活用し、地元住民等による運営と収益性の確保を図ることにより、本町への交流人口の増加と全町的な拡大を図り、以て自立的・継続的な観光振興と町全体へ交流人口の増を図り、移住・定住者の増加にもつなげるもの。
363	京都府	京都府相楽郡笠置町	笠置町コンパクトタウン創生事業	京都府相楽郡笠置町の全域	本町の脆弱な限られた財源で、公共施設の統廃合をはじめ、行政コストを削減するとともに、小規模な多種多様な住民コミュニティ活動をしっかりと支え、自らの自立を促し、また新たな創生事業と協働できる拠点形成を図ります。これにより、若者から高齢者まで多世代の住民が集い、まちの活性化をもたらす機能と、住民の暮らしを守る機能が拠点に集積することとなり、人口をはじめ全てにおいて小規模ではあるが、それぞれの地域力が向上し、協働することにより、活き活き活躍できる「個性的でコンパクトなまちづくり」を目指すものです。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
364	京都府	京都府与謝郡伊根町	海の京都DMO地域活性化推進計画	京都府与謝郡伊根町の全域	伊根町の観光資源は伊根湾を取り囲むように立ち並ぶ「舟屋」である。1階が船揚場、物置、作業場、2階が居室となっており約230軒が群となって立ち並んでいる。観光地域づくりを目指す伊根町は、観光客の滞在時間延長による観光消費額拡大を図るため、舟屋群を望む場所にある役場書庫を改築し、新たな滞在観光拠点を整備し、まちの賑わい再生を目指す。
365	京都府	京都府与謝郡与謝野町	与謝野フードシステム強化計画	京都府与謝郡与謝野町の全域	食品工場から排出される残さを有効活用した有機質肥料「京の豆っこ」による環境に優しい土作りからの農業（自然循環農業）により、与謝野町産の高付加価値農産物（主に米）の生産を推進するとともに、当該農産物が食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業を経て、最終の消費者の食生活に至る食料供給の一連の流れ（フードシステム）で活かされる仕組みを強化することにより、農業の六次産業化、雇用機会の創出、新規就農者の確保を図る。
366	大阪府	池田市	(仮称)子ども・若者・地域支援クラスターを活用したコミュニティの活性化によるまちづくり	池田市の全域	廃校となった伏尾台小学校の施設を有効活用し、本市が掲げる「教育日本一」「子ども・子育て支援日本一」に向けた総合的な支援クラスターを整備する。そこで、地域住民・NPO・行政等が連携し、公設民営型のフリースペースの実施や若者の社会復帰・就労支援に加え、市民の文化活動やコミュニティビジネスの創業支援等を行うための貸室の設置、「子育て・コミュニティカフェ」の運営、子育て世代がレクリエーションを楽しめる機能の充実等、子ども・若者等の一貫した支援事業及びコミュニティの活性化・再生を図る事業を実施する。
367	大阪府	八尾市	近畿大学との連携による高齢化進展地域世代交流活性化計画	八尾市の区域の一部(桂小学校区)	用途廃止を行った旧市営住宅という地域の公共施設、公有地資源を目的外使用許可(使用料は全額免除)により、隣接市に所在する近畿大学へと貸与し、学生寮等とすることで、若者世代の定住を図るとともに、大学のサテライト研究及び地域の多様な世代が集う交流拠点、学生が新たなサービス等へ挑戦する場となる「チャレンジショップ」として整備することで、児童・生徒・学生の若者世代から高齢者世代まで、学生を中心とした若者世代による高齢者世代の見守り、生活支援、新たなサービスの創出といった仕組みを構築する取り組みを実施する。
368	大阪府	羽曳野市	～羽ばたきプロジェクト～ DMOとともに創る羽曳野まちづくり計画	羽曳野市の全域	百舌鳥・古市古墳群として世界文化遺産登録を目指す日本武尊陵及び、最古の官道の竹内街道沿いにある歴史的価値の高い家屋を、付加価値の高い宿泊施設、地域特産品を中心にブランド力の浸透を図るための地産地消レストラン、子育て世代、若者等が集えるアンテナショップ・カフェ、農業の活性化と地域特産物のブランド力の強化を推進する新商品開発施設等の、観光・産業・交流等の複合施設に改修し、DMOにより観光・移住・交流等のハブ拠点として収益事業を実施し、交流人口の増加、産業の再生と雇用の創出、移住定住を促進する。
369	大阪府	大阪狭山市	大阪狭山市(狭山池 池の駅)拠点整備事業	大阪狭山市の全域	狭山池が持つ自然や歴史、文化と融合した芸術的な活動の支援や事業を開催するための拠点を整備し、市の魅力情報を発信するとともに、市の農産物や物産品、福祉作業所の授産品等の販売を行う。あわせて、新たな物産品を開発するため、教育機関と連携を図り地域の農産物等を活用した6次産業化を進める。また、新たな雇用を創出するとともに、賃貸収入を事業運営費に充当するため、飲食事業者を誘致するためのテナント施設を併設する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
370	大阪府	大阪府南河内郡太子町	まち知る倍(まちしるべ)名産・資源を活用した シティセールス計画	大阪府南河内郡太子町の区域の一部(山田地区)	聖徳太子ゆかりのまち太子町には日本最古の官道「竹内街道」が当時の面影を残し、現在日本遺産登録に向け、近隣市町村と連携し取り組みを進めている。その竹内街道に近接する道の駅「近つ飛鳥の里・太子」では、販売スペースが手狭になり、ブドウ、みかんの本町特産品の売上額が減少している。そこで、まちな玄関として、また街道を訪れる方のゲートステーションとしての機能を強化するため、道の駅施設の増築を行い、販売スペースを拡充することで来訪者と販売額の増加により、地域活性化を図る。
371	兵庫県	兵庫県	放射光を活用した次世代材料開発の社会実装 拠点整備計画	兵庫県の全域	兵庫県では、世界最先端の科学技術基盤(大型放射光施設「SPRING-8」、X線自由電子レーザー施設「SACLA」、スーパーコンピュータ「京」等)が集積する強みを活かして、放射光科学・計算科学・材料科学の融合を図り、膨大なデータの解析から帰納的に材料設計の指針を得る新たな研究方法による材料開発を産業界に促す「兵庫県次世代材料研究開発プロジェクト」を展開。兵庫県ビームラインにおいて、新研究方法により得られた次世代材料に係る研究成果の社会実装を行い、県内企業の効率的な製品開発を促進する。
372	兵庫県	兵庫県	但馬牛血統保護(防疫体制強化)及び生産力 強化施設整備計画	兵庫県の全域	本県は全国で唯一、他県から種雄牛及び人工授精用精液を導入せずに和牛改良を継続し、但馬牛の純血統を守ってきた。その結果、「但馬牛」は、トップブランドとしての地位を築いているが、産地間競争は激化しており、能力向上や高品質化等さらなる研究開発が必要である。また、口蹄疫は、韓国等で再発が続き、国内への侵入リスクが非常に高い状態である。但馬牛種雄牛を管理・研究する施設の防疫体制を高め、持続的に但馬牛を供給できる体制を整えることで、但馬牛・神戸ビーフのブランド力強化と本県畜産農家の所得向上をめざす。
373	兵庫県	兵庫県	六甲地域の山上にぎわい拠点施設整備による 活性化計画	神戸市の区域の一部(六甲山地域)	六甲地域には豊かな自然はもとより、多彩で魅力ある資源が広範な地域に点在する。これらの地域資源を組み合わせて繋ぎ、ニーズに合わせた情報発信、各種イベント開催、六甲の魅力にふれあう機会等を総合的にプロデュースし、六甲地域全体のにぎわいづくりを進める主体の整備が課題となっている。このため、六甲地域の中心部に、山上にぎわい拠点となる、連携・情報発信・野外活動・防災といった複合的な機能を有する施設を整備することにより、六甲地域の多彩で魅力ある地域資源を活用し、新たな経済活動を促進し地方創生の深化を図る。
374	兵庫県	兵庫県	次世代ものづくり拠点整備計画	兵庫県の全域	県域全体で地域ごとの産業の特色を活かし、瀬戸内臨海部においては、航空機、ロボット、先端医療など、成長が見込まれる次世代産業に取り組み中小企業の集積を強化する一方で、内陸部では、繊維、皮革、金属加工などの地場産業で培われた技術を先端産業に応用できる新素材開発を進めるなど、県域が一体となって高付加価値の産業を育成していく観点に立つて、県域の7カ所の公設試験場、職業能力開発施設をひとつの大きな施設と見なし、それぞれの強みを活かした拠点整備を行うとともに、拠点間の連携を強化する事業を展開する。
375	兵庫県	兵庫県並びに兵庫県美方郡香美町及び新温泉町	世界に誇る「TAJIMA BEEF・KOBE BEEF」 情報発信拠点整備計画	兵庫県の全域	世界に誇る但馬牛・神戸ビーフについて①正確な情報発信、②本物の但馬ビーフ・神戸ビーフの提供を通じて、但馬牛・神戸ビーフの真の価値を後世に伝える。また、安定的供給のため③既存農家の規模拡大に加え、新規就農者による但馬牛増頭を推進し、但馬牛生産基盤強化を図る。地域資源を活用した地域産業の活性化への取組みを強化することで、①食肉消費量の拡大、②但馬牛生産地域である新温泉町・香美町での担い手等創出③新温泉町・香美町への交流人口の増加、④但馬地域の持続可能なまち作りを支える地域産業の振興を目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
376	兵庫県	神戸市	アスタ新長田「オールインワンオフィス」整備事業	神戸市の全域	阪神・淡路大震災からの復興事業として整備した「新長田駅南地区再開発エリア」において、地区外からの事業転入者の誘致、周辺地区への定着を目的に、公共のビジネス交流拠点の整備、地元のまちづくり会社やNPO等の主体による拠点施設の運営や異業種交流会開催などの効果促進事業を進めることで、震災以降の地区課題として残る屋間人口の回復、地区全体の再活性化を加速化させる。
377	兵庫県	姫路市	北西部活性化の拠点づくり	姫路市の区域の一部(林田校区及び伊勢校区)	伊勢自然の里・環境学習センターは、環境保全について学べる自然体験型の環境学習施設で、「田んぼの学校」などの活動支援及び環境ボランティア等の指導者育成も行う、生物多様性を体感できる施設である。 団体利用に配慮した整備やジャコウアゲハとカブトムシの森の新設、植物園と協働し市域周辺の希少水生生物を域外保全を可能とする環境整備を行うことにより機能を向上させ、学校の授業利用を促進し低年齢層への生物多様性の周知を図りつつ、利用者層の幅及び数を拡充する。
378	兵庫県	相生市	相生駅にぎわいプロジェクト	相生市の全域	相生駅前で観光客やビジネス客の滞留を促し、地域経済の活性化を図るため、西播磨地域の広域的な交通、観光案内等の各種情報の提供並びに6次産業品等の販売による地域の交流の場となる総合情報発信施設を整備するもの。
379	兵庫県	三木市	「新たな三木ブランドづくり」への挑戦	三木市の全域	三木市の平成27年国勢調査人口は5年前に比べて△4.7%となり、「若者に魅力のあるまちづくり」は喫緊の課題となっている。この要因の一つとして、従来から三木のまちなみのイメージが「伝統的」「男性的」な都市を連想するもので、それが若者離れにつながっていると考えられる。そこで、従来のまちなみのイメージに、「若者」「女性」「カジュアル」なイメージを追加した「新たな三木ブランド」をつくり、定住促進につなげる。
380	兵庫県	高砂市	歴史的まちなみの文化観光拠点整備プロジェクト	高砂市の区域の一部(高砂町)	江戸期以降の歴史的景観を今に残す高砂町。特に船着場として栄えた堀川の独特な景観は、当時の文化・歴史を現代に伝える重要な歴史的遺産となる可能性を秘めている。その区域の中心に江戸時代の海運業発展に大きく寄与した舟の帆で有名な「松右衛門帆」の祖、工業松右衛門の旧宅がある。近年老朽化し一部崩壊していたが、市へ寄附されたことを機に、観光の拠点として保存整備事業を実施し、併せて邸宅前の船着場の遺構を備えた駐車場・トイレ等を整備し、周辺の整備と一体的に進めることで観光文化交流拠点の整備を図る。
381	兵庫県	篠山市	神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ活用促進事業	篠山市の全域	人材育成拠点「神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ」による起業家育成等の事業をより効果的に行うため、関連施設を整備する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
382	兵庫県	養父市	養父市ヘルスダイヤモンドプロジェクト～食と健康をテーマにしたシルバー世代の就労拠点づくり事業～	養父市の全域	高齢者の生きがいづくりを推進し、健康寿命の延伸を図ることを目的とした、食が中心となる総合的な取組を行う拠点を整備する。
383	兵庫県	南あわじ市	陸の港西淡を拠点とした観光振興・地域活性化事業	南あわじ市の全域	本事業は、地域と吉備国際大学地域創成農学部との連携により生み出される農畜水産物や加工品、既存の南あわじブランド品等を販売するとともに、市内・市外を問わず地域密着型の情報や観光・交通情報を発信する情報案内スペースを併設することを目的として既存のバス待合所の増改築工事を実施する。 また、機能強化に伴いリニューアルした施設のPR等を行い、施設活用の効果を促進させる。
384	兵庫県	朝来市	ダム風がいざなう人集い・輝き・育つ異空間 ロックフィルテラス整備事業計画	朝来市の区域の一部(多々良木地区)	市が指定管理制度で運営してきた農林業体験実習館「みのり館」があるが、近年の施設利用者の減少により閉館を余儀なくされた。閉館後の地域は閑散とし、閉塞感が漂い地域の元気は失われた状況にあったが、当該交付金を活用し、地域の蘇生と創生を図るべく、現在地方創生事業として実施している「人財育成事業」と絡め、当該地域を人財育成の拠点としてアウトドア体験機能を備えた施設として改築する。
385	兵庫県	宍粟市	森林王国宍粟の稼げる観光拠点づくり計画	宍粟市の区域の一部(波賀町)	道の駅みなみ波賀を、農産物直売所、特産品販売所、レストラン及び特産品加工工場としての複数の機能を一体的に発揮し自然薯やブルーベリーなどの特産物の6次産業化の推進を通じて収益の相乗効果を生む観光拠点施設となるよう整備する。具体的には、イトイン機能を持つ多目的スペースを建設するとともに農産物直売所と特産品販売所の売り場面積を拡大し互いに隣接させ収益の向上を図る。併せて、グリーンツーリズム推進事業や農産物集配販売促進事業を実施する。
386	兵庫県	たつの市	「(仮称)大正ロマン館」を核とした地域観光・地域産業振興計画	たつの市の全域	歴史的な町並みが残る景観形成地区において、地域の地場産業である淡口醤油の歴史を象徴する施設を、観光等で本市を訪れる人に最初に立ち寄っていた観光交流拠点・情報発信拠点、特産品のアンテナショップとして整備し、地区内の見どころや店舗、特産品等の紹介を行い、これらを有機的に連携させ発信するとともに、この場所ではできない“食べる”“体験する”“買う”を提供する場とする。そして、通過点となっている観光を、滞留・滞在型の観光とすることで市全体の経済効果を高め、定住促進・雇用創出に繋げる。
387	兵庫県	兵庫県神崎郡福崎町	もちむぎの恵みで、みんなが元気！特産もち麦を核とした地域活性化計画	兵庫県神崎郡福崎町の全域	農林業体験実習館「春日ふれあい会館」を農業者の6次産業化を支援するための加工所として整備し、もち麦を使った体験型ツーリズムの受入体制を整え、もち麦を生産する生産者、もち麦を加工販売する生産者、もち麦を食する消費者、そして、地域住民が、もちむぎの恵みで、みんなが元気になる好循環サイクルを構築する。 併せて、地域遊覧所、地域コミュニティ活動の拠点として機能強化を行う。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
388	兵庫県	兵庫県佐用郡佐用町	南光自然観察村整備による自然体験・観光地域づくりとまちの魅力ブラッシュアップ事業	兵庫県佐用郡佐用町の全域	今後の人口減少・公共施設等総合管理の観点から過大な新規の施設整備は控えながらも、既存施設の魅力増進・利活用促進に重点を置き、付加価値を与え施設の魅力の磨き上げを行うことによって、まち全体の魅力のブラッシュアップを行い、交流人口の増加を図っていく。そのため、本町の自然体験・観光交流拠点施設である南光自然観察村について、特に人気の高いツリーハウスを増築することによって、施設全体の魅力をさらに高めて集客増を図るとともに水害時等の一時避難所としての機能も充実にさせ、まち全体の観光・交流人口の増加を図る。
389	奈良県	葛城市	道の駅ふたかみパーク當麻の機能向上による観光消費促進事業	葛城市の全域	本施設について機能向上及び隣接する道の駅かつらぎとの棲み分けを図るべく、農産物処理加工施設としての機能及び国定公園内にある立地を活かし、市内の農産物等を使った加工品(主に小麦を使った餅や本市農産物を使ったおでん等を想定)を調理・販売するテナント2ブース及び加工品の保存スペースを増設するとともに、登山客をはじめとする来場者に向けた休憩スペースの増築を行う。また、事業の実施に伴う本施設への来場者の増加に備え、効果促進事業として駐車場の増設工事を行う。
390	奈良県	奈良県生駒郡三郷町	農業振興による雇用創出事業計画	奈良県生駒郡三郷町の全域	農業振興を目的としたNPO法人の立ち上げと拠点となる施設の整備を行い、三郷町とNPO法人が連携して、耕作放棄地を活用した町の特産物(黒豆、こんにやく、芋)等の生産・販売を通して、雇用の創出と移住による人材確保に取り組みるとともに、農業の担い手確保、耕作放棄地の減少という課題の解決を図る。
391	奈良県	奈良県北葛城郡上牧町	女性が社会で活躍しながら子育てできるまち推進計画 ～女性×テレワーク×英語教育～	奈良県北葛城郡上牧町の全域	子育て期間中の女性が社会で活躍しながら子育てできるまちづくりを推進するため、場所と時間にとらわれない働き方を実現できるテレワークの導入とともに、子どももそばで安心して働ける環境整備として、ワーキングスペースと託児スペース等を併設した事業モデルの横展開に取り組みることによって、女性のワークライフバランス向上の推進に伴う合計特殊出生率の改善に努めるほか、他の地方創生事業との連携により、子育て世帯の移住・定住の促進や地域活性化、地域の学力向上など様々な相乗効果の創出を図るもの。
392	奈良県	奈良県北葛城郡広陵町	広陵ローカルイノベーション事業	奈良県北葛城郡広陵町の全域	西谷公園は昭和62年3月に供用開始された計画面積2.1haの近隣公園であり、既設の管理事務所(平屋建 建築面積204.5m ²)を解体撤去し、自治集会所、公園管理事務所、カフェや野菜売り場などを併設した複合施設として改築する。公園の管理は自治会に指定管理として委託し、園内の利用を促進させる公園づくりを行う。
393	奈良県	奈良県吉野郡大淀町	農業と商工業が生みだす道の駅の新たな魅力創出事業	奈良県吉野郡大淀町の全域	本町はお茶、二十世紀梨とともに歴史深い産地であり、また吉野エリアへの交通の要所であるため、本町にある『道の駅』を農業者・商工業者・住民・行政の『力』が集まる『まちの拠点』と位置づけ、「(6次産業化商品)を作る」「(6次産業化商品)売る」「(6次産業化商品の野菜を)出す」という3つの拠点整備を行い、「地域の稼ぐ力」を生み出す6次産業化関連事業を実施し、本町の自立した新たな魅力を創造する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
394	奈良県	奈良県吉野郡下市町	下市の拠点整備事業による地域が元気になるまちづくり計画	奈良県吉野郡下市町の全域	多世代の住民等が活躍できる拠点整備を行う。交流推進・産業振興・情報発信等の拠点整備、多地域多世代の交流拠点整備、コミュニティの更なる推進拠点整備などを行う。「(少し)儲ける」ことなどが、生きがいづくり等につながり、継続的な取り組みとしていく。少子高齢化の町であるが、多世代多地域が元気に活躍するまちづくりを行う
395	奈良県	奈良県吉野郡黒滝村	小さな拠点づくり再生計画	奈良県吉野郡黒滝村の区域の一部(堂原地区)	林業に代わる新たな産業活性化策として今まで支援が施されていなかった農業に着目し、生産・加工・販売による「6次産業化」を推し進め、空き校舎である旧中学校を活用し、1階部分を食品加工、新たな産業の開発、研究を行う食の6次産業の拠点施設として、又、現公民館が老朽化、耐震機能を備えていない理由から公民館機能を2階部分に移し、他の多目的ホールで実施しているスポーツクラブの運営を当施設に集約し、地域の多世代交流拠点施設として整備する。
396	奈良県	奈良県吉野郡下北山村	森と生きるしごとづくり	奈良県吉野郡下北山村の全域	現在下北山村の山林は40年から50年生の搬出材適正林齢に達して来ている山林が多くなってきている。総合戦略にも位置づけている新たな林業経営としての自伐型林業による取り組みにより、山林の管理及び利用を行い、又村内で木材を加工するなど新たなシステムを確立することで、林業を核とした仕事づくりを行い、地方への人の流れを作り出す。
397	奈良県	奈良県吉野郡東吉野村	東吉野村小さな道の駅拠点整備計画	奈良県吉野郡東吉野村の区域の一部(鷺家地区)	人口減少や少子高齢化等の過疎化が進む本村において、個人商店の減少により買い物に困窮する人が出て来ている現状を打開するため、京阪神方面との交流の玄関口となる村の北西部、国道166号線沿いに立地し農産物の加工のみを行っている既存施設を、村に今までなかった、食料品や生活用品、地元特産品等一つの施設で購入できる売店を始めとする複合的な機能をもつ施設とする。 また、新たな特産品を開発する事により、農家の所得の向上や遊休耕地の解消、新規雇用の創出といった、生涯健康で暮らし続けられる仕組みづくりを目指す。
398	和歌山県	和歌山県	和歌山発ものづくりイノベーション拠点整備計画	和歌山県の全域	グローバル競争の激化に伴い我が国の経済を牽引する産業分野が大きく変化している中、本県では、いわゆる重厚長大型の産業が依然として県内経済の主要部分を担っており、県内産業全体の収益性は低下し続けている状況にある。 本計画では、県内中小企業の競争力強化の中核的役割を担う和歌山県工業技術センターにおいて、開放型研究施設「ラボ棟」の整備による技術支援機能の充実等を図り、イノベーションが県内各所で連続して発生し、更に周辺の県内企業にも連鎖・派生して、県内経済全体が成長していくことを目指す。
399	和歌山県	和歌山県	龍神地鶏を用いた新たなブランド地鶏の商用開発・生産振興等による地域再生	和歌山県の全域	300年以上にわたり龍神地鶏の保存がなされてきた旧龍神村のある田辺市では、若者を中心に人口の流出が続いており(最近の10年間で8.8%減少)、特に、旧龍神村など山間地域ではその傾向が顕著で過疎化が進行している。 本計画では、新たな観光資源として、稀少な龍神地鶏を活用したブランド地鶏の商用開発及び生産振興等に取り組むことにより、本地域の活性化を図っていく。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
400	和歌山県	和歌山県	データを活用したわかやま創生推進計画	和歌山県の全域	<p>県は平成28年9月、データの利活用により、産学官のさらなるレベルアップを図るとともに、本県が日本のデータ利活用拠点となることを目指して、データ利活用に関する本県の取組方針や施策をまとめた「和歌山県データ利活用推進プラン」を策定した。</p> <p>本計画では、新たに設置する「和歌山県データ利活用推進センター(仮称)」を中心として、民間企業等に対するデータ利活用の推進やデータを活用した行政課題に関する研究、県内高等教育機関におけるデータサイエンス人材の育成等に取り組む。</p>
401	和歌山県	岩出市	いわでもよいよい推進事業による地域再生計画	岩出市の全域	<p>観光振興による地域再生を図るため、岩出市根来地区において、平成26年度から観光施設「ねごろ歴史の丘」の整備を進めてきた。今年度、道の駅として登録を受ける予定であり、観光拠点として一層の機能充実を目指す。新たな拠点施設を建設し、団体利用が可能なトイレ、休憩施設、観光情報施設、物品販売所を設ける。また、平成31年度に開催されるねりんピックに向け、隣接するスポーツ施設と連携し、一層の集客を目指すため、プロモーション活動、イベント等の観光促進事業を行い、さらなる観光振興、雇用の創出を図る。</p>
402	和歌山県	和歌山県伊都郡かつらぎ町	地域資源を活用した交流人口増加プロジェクト	和歌山県伊都郡かつらぎ町の全域	<p>本町は、多くの歴史的・文化的資源や豊かな自然環境を有しているが、十分な周知や活用が図られておらず、交流人口の増加や地域活力の向上に結び付いていない。広域幹線道路の整備により増加が見込まれる交流人口の取り込みを図るためには、埋もれている地域資源のPRや受入体制の整備が必要であることから、総合的な観光拠点を整備することで交流人口の増加を促進し、地域での周遊を促していく。</p>
403	和歌山県	和歌山県伊都郡高野町	高野町DMCを核とした観光まちづくり	和歌山県伊都郡高野町の全域	<p>高野町DMCを核とした観光まちづくりの拠点として、(仮称)高野町ビジターセンターとして改築し、観光インフォメーションのワンストップ窓口として、地域資源を活用した新たな観光まちづくりの総合的な施設整備を行う。(仮称)ビジターセンター内には、移住交流スペースや、地域の農産物の販売スペースなどを併設し、交流人口の拡大を図ると共に、移住定住の推進、地域の活性化に寄与できるセンターを設立する。</p>
404	和歌山県	和歌山県有田郡湯浅町	湯浅町「輝く魅力発信！」特産物流通物販計画	和歌山県有田郡湯浅町の全域	<p>これまで湯浅町では、グルメ開発や特産品のPR活動を通して消費者の購買意欲を高める取組みを進めてきたものの、それらを受け止める施設が存在していない。そのため、湯浅町の特産品や伝統工芸品、本町に関する書籍などを取扱う施設を整備し、醤油醸造で栄えた町の成り立ちや歴史的な魅力を発信するスペースを設け、町の魅力を存分に伝えるほか、訪れる人々が休憩し、交流できる場を設けることで、気軽に立ち寄れる施設とし、観光客を中心とした消費単価の向上を図り、地域経済の活性化による所得向上、雇用の創出につなげる。</p>
405	和歌山県	和歌山県有田郡広川町	観光拠点施設の総合的な整備を核とする地域活性化と定住促進計画	和歌山県有田郡広川町の全域	<p>本町の既存観光拠点施設である広川町立ふれあい館と滝原温泉ほたるの湯を整備する。ふれあい館については、観光客の食事・休憩・買い物だけではなく、地域住民の生活必需品買い物施設として機能を拡大する。町内唯一の温泉宿泊施設であり都市農村交流施設である滝原温泉ほたるの湯は改築を行い、観光客のみならず同地域を訪れる都市住民の受入拠点施設としての魅力向上と機能を強化。これら施設を有機的に連携させ町内滞在時間を増やし、町内消費拡大による観光商工業を振興し、仕事・雇用を創出、人口流出抑制、定住促進を図っていく。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
406	和歌山県	和歌山県有田郡有田川町	廃園保育所リノベーション整備事業計画	和歌山県有田郡有田川町の全域	本町では、平成28年3月末に統合により3つの保育所が廃園となりました。そのうちの1つの保育所をリノベーションし、民間が起業するための場を提供し、利益を生み続けるための活用を行うことで、持続可能な運営の仕組みづくりをし、地域の活性化に繋がります。そして、施設の利用により、住民や地域外からの多くの客が集い、多世代交流ができる憩いの場、子育てを楽しめる環境づくりとしての役割を担う施設として事業展開を行います。
407	和歌山県	和歌山県日高郡美浜町	日の岬・アメリカ村の再生とふるさと教育	和歌山県日高郡美浜町の全域	カナダ資料保存のための呼びかけやカナダ資料館資料の引取り、タウンウッチングを実施する。公民館や古民家を活用し、地元産物を食べられる漁師レストランやふるさと資料館、ゲストハウス等を整備。ふるさと教育充実のため、移民関係授業や教養講座を実施。歴史的な国際性から、カナダ人対応やインハウンド拡大のため、英語版「語り部ジュニア」を養成。パンクバーに生徒中心の使節団を派遣し、高齢カナダ移民のインタビューを録画、使節団の帰朝後、移民シンポジウムを開催。地域コミュニティの場として、旧三尾小学校を活用。
408	和歌山県	和歌山県日高郡みなべ町	住み続けたい～地域の交流拠点施設によるまちづくり計画	和歌山県日高郡みなべ町の区域の一部(高城地域)	少子高齢化が進む中山間地域である高城地域において、小さな拠点である高城公民館をトレーニング教室や介護予防サロンなどの機能を持たせることにより、高齢者の憩いの場を増やし、活気あふれる集いの場を実現し、高齢者の生きがいづくりの支援、多世代との交流などを図ることを目標とする。
409	和歌山県	和歌山県日高郡日高川町	加工施設を核とした日高川町美山地域再生計画	和歌山県日高郡日高川町の区域の一部(美山地域)	日高川町の美山地域は、日高川の上流で山間部に位置している。美山地域の女性で構成する生活改善グループ美山支部は、従来より地域資源を活かした加工品づくりを進めてきた。その中でも最も好評なのが「イタドリ(当地方の方言で「ごんぼち」)を使った全国でも珍しい加工品の「ごんちゃん漬け」である。しかし、近年、シカの食害により激減しており、和歌山県林業試験場の指導の下で耕作放棄地を活用し栽培をしている。今後、栽培面積を拡大していく予定もあり、生産量の増大と新たな商品の開発を図り地域再生に取り組んでいきたい。
410	和歌山県	和歌山県西牟婁郡白浜町	白浜町ITビジネスオフィス整備計画	和歌山県西牟婁郡白浜町の全域	企業誘致を推進することにより、雇用機会の創出及び労働人口の流入による地域活性化を目的とする。目的を達成するため、本町における企業誘致拠点施設の整備を行う。
411	和歌山県	和歌山県西牟婁郡すさみ町	多世代交流による「生涯活躍」のまちづくり	和歌山県西牟婁郡すさみ町の全域	当町の海・山に囲まれた自然豊かな立地条件と充実した子育て施策による「安心して子育てができるまち」を広く内外にPRを行うとともに、町民が健康で明るい生活を営み、生きがいや仲間の輪を広げる場の拠点となる施設を整備し、多世代交流による健康で生涯活躍のまちづくりを目指す。また、「健やかに子育て!はつらつと生涯活躍のまちづくり」をスローガンに人口流出を少しでも和らげ、子どもが少ないからこそできる1人1人に行き届いた施策で子育て世代の移住定住を促進する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
412	和歌山県	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町	にぎわい拠点施設整備計画	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町の全域	観光宿泊施設が集中する町内中心部に物販販売拠点施設を整備し、那智山等観光名所から観光客の流れを町の中心部へ呼び込みます。観光客の滞留時間を長くし、地元住民の利用と併せて町内での消費拡大を狙います。町内の特産品を一カ所で販売することで、那智勝浦町の魅力PRを図ります。
413	和歌山県	和歌山県東牟婁郡串本町	地域資源を生かすアウトドア拠点整備事業計画	和歌山県東牟婁郡串本町の全域	波が穏やかで魚種が豊富な橋杭海水浴場は、フィッシングカヌーの絶好のフィールドで、付近の大型ホテル宿泊客が楽しめる海洋アクティビティ等の整備が求められている。地方創生加速化交付金を活用し、フィッシング・カヤックやスタンドアップパドルボードを購入し、「アウトドア拠点施設」として整備した。春～秋の3シーズン常時観光客が利用できる体験メニューとして確立していくためには、フィッシング・カヤック等を海の家付近に常時保管し、スムーズに観光客に貸し出しを行うことができるよう艇庫の整備を行う。
414	鳥取県	鳥取県岩美郡岩美町	小さな拠点づくり及び移住定住促進による農山漁村の持続プラン	鳥取県岩美郡岩美町の全域	誰もが安心して元気に農山漁村で暮らし続けられる環境整備を図るための拠点施設として、築100年を超え耐震改修が急がれる廃校舎を解体し、敷地内に複合施設「ユニバーサルデザインしごと・交流センター(仮称)」を整備することで、高齢者・障がい者・子育て中の若者の就労等を支援する団体の連携促進、効果的な収益の創出、各団体の事業拡大を図るとともに、高齢者・障がい者・子育て中の若者・子ども等の交流を促進する。
415	鳥取県	鳥取県日野郡日野町	金持神社の集客力を活かした賑わいづくり、雇用創出の拠点・遊休商業施設の再生プロジェクト	鳥取県日野郡日野町の全域	過疎化による地域の衰退が著しい本町において、大規模な遊休商業施設を整備し、店舗や事業所等の開設を行い、消費拡大による地域経済の活性化及び雇用創出を図るとともに、賑わいづくり、交流人口の拡大を図る
416	鳥根県	松江市	中海周辺地域再生計画	松江市の全域	汽水湖「中海」周辺は、特色ある企業群、豊かな水産資源、風光明媚な自然環境、陸海空の交通物流インフラが整うなど高いポテンシャルを持つ。これらを活かし、地方創生を推進するため、国営中海干拓事業で生じた埋立地を再活用し、水陸両用機を核にした地域振興を図る。この水陸両用機は、山陰両県の観光振興、小型航空機関連産業とのビジネスマッチング、交通便利性の低い地域の新たな移動手段にもつながる。将来的には、離発着場背後地に民間活力を取り込み、持続的に新産業、新需要を生み出すローカルイノベーション拠点を形成していく。
417	鳥根県	鳥根県飯石郡飯南町	小さな拠点「はな茶屋」の拠点整備と若者創業者支援計画	鳥根県飯石郡飯南町の全域	本町は、日本創生会議では鳥根県の町村で唯一消滅自治体とならなかった地であるが、人口約5,100人と小規模であり、2035年には生産年齢人口が約半減する状況となっている。持続的な生活環境を整えるには先代から次世代へとつなげていく流れを作る必要があるため小さな拠点を整備し、地域交流促進と生活支援サービスの充実を図る。若者と高齢者の地域交流を加速させることにより、地域が課題としている外貨獲得と自立に向けて、若者の起業を支援し、人口減少に歯止めをかけ、若者から高齢者が生涯活躍できる環境を整える。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
418	島根県	島根県邑智郡川本町	「学び」による人財と経済の循環創出プロジェクト	島根県邑智郡川本町の全域	<p>本事業は既存施設を改修し、新しい人の流れを創出する、多世代交流学習施設として拡充強化を図るものである。世代間、地域間交流の創出、都市部から町内の高校へ入学する高校生(しまね留学生)の増加、町内ヘイターシップで訪れる大学生の受け入れにより、多世代が学び合う交流施設としての魅力化を図り、次世代の「まち(地方)の担い手」育成を行う。あわせて本事業では新たな雇用と、地産地消等を強化することで地域経済の活性化を図ることで人財と経済の循環を創出する。</p>
419	岡山県	岡山県	ものづくり産業の「強み」を伸ばす拠点整備による地域活性化計画	岡山県の全域	<p>県の研究機関として、先端技術分野から地域産業支援まで幅広く対応している工業技術センターにおいて、本館及び実験棟の特殊空調設備を整備することにより、通常の空調設備では対応できない温湿度域をコントロールし、より精密かつ安定した測定及び評価を可能にし、県内製造業中小企業の技術向上に寄与することにより県内企業の生産性の向上や他分野への進出、産業の高付加価値化を促進し、地域の経済の活性化を図り、おかやま創生を実現する。</p>
420	岡山県	岡山県	企業的経営体を目指したICT対応牛舎整備による地域活性化計画	岡山県の全域	<p>畜産経営の大型化に対応するため、畜産研究所でICTを取り入れた施設の機能強化を図り、効率的な飼養管理技術等の研究開発を行うとともに、展示・普及と関係者の研修、教育に活用する。ICT対応型和牛哺育牛舎整備は、哺乳ロボットを活用し、効率的な哺育育成技術の開発と展示・普及による和牛の増頭を図る。また、ICT対応型TMR体系和牛繁殖牛舎整備は、国際化に対応できる和牛繁殖経営体を育成するため、ICTを活用したフリーバーン飼養管理方式を展示普及し、県内和牛経営の規模拡大の促進と飼養頭数の拡大を図る。</p>
421	岡山県	岡山県	ものが生まれ、ひとが育つ拠点整備による地域活性化計画	岡山県の全域	<p>岡山県立青少年農林文化センター三徳園をリニューアルし、市町村や企業等との研修交流施設として機能強化を図るとともに、ものづくり企業等が取り組む高機能農業機械の開発等に必要なモニタリング調査に活用するなど、新たな技術開発や課題への解決につながる支援を行い、若い世代を中心とする幅広い人材が、地域産業を支える人材として育成・定着され、高品質なものづくりをはじめとする地域産業が活性化することで、社会増につながる好循環の創出を目指す。</p>
422	岡山県	岡山県	おかやま生き活き文化拠点形成プロジェクト	岡山県の全域	<p>岡山市中心部の後楽園、岡山城に隣接する天神山を中心とした地域に設置されている県立2文化施設(ルネスホール、天神山文化プラザ)の特色を生かした施設の機能強化を行う。この機能強化により、文化に親しむ県民の満足度を高めるとともに、本県の文化発信拠点として地域の魅力を高める取り組みを進め、観光誘客と地域の活性化につなげる。</p>
423	岡山県	津山市	アート&デザイン賑わい拠点整備事業	津山市の全域	<p>本市は、歴史、文化、自然といった多くの観光資源を有しており、現在、これらを活用した滞在型観光のまちづくりを進めている。</p> <p>中でも、重伝建地区を含む城東地区には風情のある町家やレトロ建築の建物等が集中している。</p> <p>その1つで、現在は未利用となっている旧洋学資料館をアーティスト作品や地元のデザインプロダクトのギャラリー、クラフトショップ、カフェやマーケットといった多目的スペースを有するアート&デザインの拠点として整備し、観光客及び交流人口の増加を図ると同時に地域に利益を創出する。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
424	岡山県	笠岡市	多世代が集まり賑わう笠岡西地区再生計画	笠岡市の区域の一部(笠岡西地区)	昭和末期まで地域住民の憩いの場であった映画館や大衆浴場が多数あり、若者から高齢者まで多くの人で賑わっていた笠岡西地区で、長く地域住民に利用されているコミュニティハウスを改修し地域の拠点を再生させることで賑わいを取り戻し、多世代が交流し合う地域コミュニティの活性化を図りたい。
425	岡山県	笠岡市	笠岡諸島生き生き交流促進計画	笠岡市の全域	笠岡諸島及び笠岡諸島への玄関口に視察整備を行うことにより、域学連携等の拠点化を強化し、笠岡諸島の限界集落化した地域の継続を図る新たなモデルケースとする。また、施設整備により、各拠点施設が互いが連携することで、笠岡諸島全体の振興に繋げる。さらに、民間企業と連携し、超高齢化した島しょ部住民の島内移動を支える新たな移動手段の確保を目指して共同で研究を行うとともに、積極的な導入支援を行うことで、過疎高齢化に悩む地方の離島から地域活性化のモデルケースを示す。
426	岡山県	井原市	日本三選の星空を活かした移住定住促進プロジェクト	井原市の全域	本市美星町の星空という地域資源を活用し、国際ダークスカイ協会が取り組む世界規模での星空保護活動の取組に賛同し、国内初の星空保護区の認定に向けた取組を進めて交流人口拡大を図る。その受け皿となる宿泊施設「星の郷アクティブヴィラ」の宿泊機能を増強するとともに、平成28年度より実施している「いばらぐらし体験ツアー」により都市部の移住希望者へ本市をアピールし、移住定住を真剣に考えたいというニーズに対応するため、美星町にいばらぐらし体験住宅を整備することで、移住定住促進に結びつける。
427	岡山県	井原市	日本三選の星空を活かした交流人口拡大プロジェクト	井原市の全域	本市美星町の星空という地域資源を活用し、星空や宇宙に興味のある女性をターゲットにした宙(ソラ)ガールイベント、関西圏や首都圏でのシニアプロモーション事業、そして国際ダークスカイ協会が取り組む世界規模での星空保護活動の取組に賛同し、国内初の星空保護区の認定に向けた取組を進めることで交流人口拡大を図る。その受け皿となる宿泊施設「星の郷アクティブヴィラ」の宿泊機能を増強し、観光客数の底上げや宿泊者数を増加につなげ、星空保護区の拠点施設として整備する。
428	岡山県	赤磐市	あかいわ体験・滞在型観光推進プロジェクト	赤磐市の全域	赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく、体験・滞在プログラムの企画や情報発信の取組や別途地域再生計画で推進している吉井川流域広域観光連携事業と連携調整を図りつつ、本市所有の観光施設について、固定化した訪問客層の解消と新たな訪問客層の開拓により観光・滞在客の増加を図るため、訪問客や観光客の多様な滞在・体験ニーズに応える受入れ環境や拠点を未来型の滞在・体験型拠点として整備する。
429	岡山県	真庭市	「美しく甘い山里:みかも」の地域資源を活用した地域振興プロジェクト	真庭市の区域の一部(美甘地域)	美甘地域は、山里ならではの農林産資源が豊富であり、この資源を活用した特産品開発、商品化、販路開拓及び販路拡大にとりくんでいく。特にヒメノモチ、山菜、アマゴを利用した自立した6次産業化の仕組みを地域関係者の連携により構築することで、生産、加工、販売促進及び販売拡大を図り、農業生産量の増加と付加価値の促進による雇用の創出及び担い手を確保していくものである。このことで人口流出に歯止めをかけ、自信と誇りを持って住み続けられる地域を創出していく。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
430	岡山県	浅口市	キラリと光る天文のまちあさくちプロジェクト	浅口市の全域	浅口市の持つ「天文のまち」としての資源・イメージを活用して、観光拠点施設の整備・充実や、新たな観光資源の創出、教育プログラムの充実などを一体的なプロジェクトとして実施し、「天文のまち」としての魅力をさらに高め、交流人口の増加、産業の活性化、定住促進につなげ、高齢化及び人口減少に歯止めをかける。
431	岡山県	岡山県和気郡和気町	温泉施設を活用した交流促進施設整備計画	岡山県和気郡和気町の全域	和気町は、観光資源の少ない町であるが、岡山県南部では数少ない温泉施設「和気鶴谷温泉」を有している。現在、地方創生推進交付金を活用して、近隣市である赤松市・瀬戸内市とともにDMOの設立に向けて取り組んでいるところであるが、和気鶴谷温泉施設がその拠点となるためには、施設の改修や新たな取組で魅力向上を図ることが必要である。 和気鶴谷温泉の魅力向上を図ることで、観光拠点として町内外から観光客を呼び込み、交流人口を増加させ、本町の活性化を目指す。
432	岡山県	岡山県真庭郡新庄村	道の駅を核とした小さな拠点整備による地域活性化計画	岡山県真庭郡新庄市の全域	建設から20年以上経過した道の駅を魅力ある施設に改修するとともに、住民向けの日用品販売や農産物直売機能等の商業機能を強化する。また、移住・定住・観光の総合窓口を設置するとともに、レゾや接客サービスの向上を図り、売上を伸ばすことで、雇用や新しい人の流れを創出する。この取組により、住み続けたい気持ちや醸成し、高齢化及び人口減少に歯止めをかけることを目的とするものである。
433	岡山県	岡山県英田郡西粟倉村	ローカルベンチャーの活躍を支える 施設整備事業	岡山県英田郡西粟倉村の全域	ローカルベンチャーのためのインキュベーション施設や、製品開発のためのラボ機能を有した保育所を、全て村内の木材と人材と技術を活用し建築から管理運営まで一体的に整備を行うことにより、村内ローカルベンチャーの事務所不足や子育て不安を解消し、ローカルベンチャーのさらなる創出を図るとともに、研究開発や新事業分野への進出に対する支援を通して、村内ローカルベンチャーの成長を促進し、地域経済や雇用環境の安定化を図る。
434	広島県	広島県	東部工業技術センター 製品開発拠点整備事業	広島県の全域	電気・電子機器関連製造業の集積地に位置する東部工業技術センターにおいて、計測精度を高めるためシールドルームの機能を強化するとともに、妨害電力測定装置を新たに導入する。 これにより、地域の企業が、近隣で精度の高い検査を実施することができるため、製品開発期間の短縮による生産性向上及び国内外市場の要求に即応した製品の投入が可能となり、収益性の向上が図られる。地域企業がこうした活動を活性化させることにより、地域経済の発展と新たな雇用創出につなげる。
435	広島県	竹原市	食を通じた観光・産業振興推進計画	竹原市の区域の一部(忠海地区)	竹原市には、中国地方で唯一の「海ぶどう関連商品」や「小吹のたけのこ」など、市場価値の高い農林水産資源があるものの、関係者の高齢化や担い手不足等から近年低迷を続けており、農林水産物の高付加価値化により、販売の促進と生産性を高め、農山漁村の所得向上や雇用の創出を図ることが喫緊の課題となっている。 そのため、たけのこ「食による観光まちづくり・郷土産業振興館」を整備し、観光産業と連携した農林水産物の新たな特産品づくりと「食」への利用拡大による第1次産業の担い手の確保や所得向上に取り組む。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
436	広島県	三原市	水産物の安定供給及び消費者へのサービス向上計画	三原市の全域	<p>現在課題となっているタコの保冷施設に係る賃料や輸送時間の削減・短縮を図るとともに、迅速な対応による消費者へのサービス向上を図るため、三原市漁協直営の冷凍保管施設を整備する。</p> <p>整備した施設に近接する漁協敷地内及び道の駅において、タコの販売を強化するとともに、タコ以外の魚類の新たな冷凍加工商品の開発に取り組むことにより、新規販路の開拓、既存販路の拡充による売上増加や漁業者の所得向上を図る。</p>
437	広島県	三原市	地域商業活性化・地方創生人材育成に向けた地域密着型情報発信拠点整備計画	三原市の全域	<p>小規模店舗や商店街単位での情報発信、顧客ニーズに対応する新たな取組の周知を行い、商店街(中心市街地)の振興や市内の商業活性化を図るとともに、既存店舗の継続・継承、新規出店、それらによる安定した地域経済や雇用の確保に向け、「コミュニティFM」を整備する。</p> <p>整備したコミュニティFMは、商店街や地域活動団体等が中心となり、市民参加型のメディアとして運営を行うことで、ヒト・モノ・コトが集まりつながるプラットフォームとして確立し、地域の維持・活性化に向けた地方創生に向けた人材育成の役割も担う。</p>
438	広島県	福山市	地域住民の活動を支える身近なまちづくりの拠点づくり計画	福山市の全域	<p>市民生活・福祉の向上等を図るために整備してきた公民館やコミュニティセンター、ふれあいプラザなどの地域交流施設は、その多くが建築後30年以上を経過し、今後10年から20年の間に一斉に更新期を迎える。今後、人口減少社会を迎え、社会保障関係費の増加等、財政状況が厳しさを増すなか、多様化する市民ニーズや地域課題、様々な世代の交流による絆づくりなど、各地域で行われている多様な地域活動を支える身近な拠点となるよう、地域交流施設の保有総量の縮減を図りつつ再整備し、住民主体の地域社会の実現をめざす。</p>
439	広島県	三次市	元気むら作木体験型観光地域づくり推進計画	三次市の区域の一部(作木地域)	<p>三次市を代表する観光・交流拠点施設「江の川カヌー公園さくぎ」の附属施設として、利用者からの要望が最も多い入浴施設を整備することで、カヌー公園全体の機能向上による利用者の満足度向上や、地域と連携した体験型観光プログラムの充実等に取り組み、観光・交流人口の増大と観光消費額の拡大により地域経済の活性化を図るとともに、観光地域づくりの推進によりコミュニティビジネス等を担う人材の育成や定住人口の拡大などにつなげ、少子高齢化や人口減少に歯止めをかけることをめざすものである。</p>
440	広島県	広島県安芸郡熊野町	筆の都くまの定住促進計画	広島県安芸郡熊野町の全域	<p>廃止された公民館を改修し、「子育て支援施設」、「移住・定住情報発信拠点施設」、「就業支援施設」、「地域コミュニティ施設」など複数の機能を持つ、定住促進拠点施設を整備する。</p> <p>安心して子育てができる環境を構築し、子育て世代の移住・定住の増加に繋げるとともに、移住体験等により本町の魅力を発信し、“住みたいまち”“住みつけたいまち”として、人口減少の抑制を図る。</p>
441	広島県	広島県安芸郡坂町	子育て支援の推進による地域活性化計画	広島県安芸郡坂町の区域の一部(小屋浦地区)	<p>小屋浦地区は、子育て支援事業は充実しているが居住施設が不足し人口が減少していることから、平成32年度末までに廃止予定の雇用促進住宅小屋浦宿舎を買取り、現在の空き部屋60戸のうち、59戸を子育てサロン等において子育て世帯に必要な設備等のアイデアを基に子育て支援住宅等として改修するとともに、1戸を子育て支援センター及び移住・定住デスクとして改修を行い、改修後の運営は、指定管理者制度を活用し民間のノウハウを取り入れたものとするにより、小屋浦地区の人口増及び子育て世代の流入による地域の活性化を図る。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
442	広島県	広島県山県郡北広島町	北広島町スポーツ・レジャー拠点整備事業	広島県山県郡北広島町の全域	日本で初めての地域密着型クラブチームソフトテニスクラブの活用とグリーンツーリズムにより滞在型観光から宿泊型観光へ誘導し、低迷する宿泊利用者と観光消費額の増加を図る。また、豊かな自然と高品質の野菜などの地域財産を充実させて観光消費額の一層の増加を図る。
443	山口県	山口県	スポーツを通じた交流人口拡大推進事業	山口市の区域の一部(維新公園四丁目地区)	高い宣伝効果を有するプロスポーツを始めとした大規模スポーツイベントの開催や東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致等の取組を積極的に進めいくため、維新百年記念公園陸上競技場を改修し、サッカーJ1公式戦をはじめとした大規模大会や大きなイベントの誘致が可能な環境を整備することにより、集客力や情報発信力など、多様な力を有しているスポーツを活用して交流人口の拡大を図る。
444	山口県	山口市	農村における交流拠点形成事業計画	山口市の区域の一部(阿東地域)	山口市阿東地域は、若者の流出と高齢化により基幹産業である農林業が衰退している。こうした中で、道の駅「願成就温泉」は、本市と萩市、津和野町の観光周遊ルート上に立地し、広域観光における交流拠点としての地理的な優位性と、地域住民の憩いの場としての温泉機能を有することから、過疎地域にあっても多くの交流の創出が期待できると考える。本計画は、道の駅「願成就温泉」の機能強化整備と同時に、地域や施設の特性を活かしたソフト事業の展開を通じて、交流人口の拡大と、農林業の活性化、地域雇用の創出を目指すものである。
445	山口県	萩市	定置網復活！雇用の創出と地域の拠点づくりプロジェクト	萩市の区域の一部(田万川地域)	24年ぶりに伝統漁法“定置網”が復活することを機に、道の駅を全面的に改修する。全国モデル道の駅「萩しーまーと」の経験・知恵を活用し、地元での鮮魚の流通・販売を図り、漁協婦人部による新商品の開発と農産物等特産品の売上げ向上を図る。これにより、定置網だけでなく道の駅での雇用に拡大し、就業人口の更なる増加と、地域資源を活用した観光・交流の促進で生産者の所得向上に繋げる。また地域住民が集うサロンを設置して、多世代の交流を図り、道の駅を拠点にした地域の創意・工夫ある、まちの賑わいを創出する。
446	山口県	防府市	道の駅「潮彩市場防府」の賑わい創出・収益向上事業	防府市の全域	水産総合交流施設である、道の駅「潮彩市場防府」においては、「更なる賑わい」と運営事業者の「稼ぐ力」の創出に向け、事業戦略の策定等に着手している。この取組にあわせて、多様な客層ニーズへの対応や、観光客をはじめとした更なる誘客、来場者への円滑な観光情報の提供などの課題に対応するため、「みなとオアシス三田尻」全体の整備と相まって、施設の機能強化、各種プロモーション活動、テナント事業者への研修等を行い、市内観光のゲートウェイ機能を有する同エリアの中核施設としての確立を目指す。
447	徳島県	徳島県及び徳島県那賀郡那賀町	とくしまカヌー・レガシー創出事業	徳島県那賀郡那賀町の全域	2020年に向けたドイツカヌー代表チームの誘致活動の「レガシー」として、カヌースプリント競技の拠点施設(とくしまカヌー・レガシーセンター)を整備するとともに、スマート回廊にカヌーを加え、スマート回廊を訪れる観光客に対するカヌー体験教室や国内外のカヌー競技者の合宿受け入れなどを通して、那賀町に「カヌーのまち那賀町」という地域ブランドを確立させ、交流人口の拡大へと繋げる。そのため、同施設にはカヌー艇庫のほか、カヌー体験教室や合宿などにも利用できるよう、更衣室やシャワー室等を整備する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
448	徳島県	阿南市	あなんスマート・ワーク創造拠点施設整備計画	阿南市の全域	サテライトオフィスを誘致するモデル施設を建設し、進出を検討している企業に対して「お試しオフィス」や「レンタルオフィス」としての利用を提案しながら、サテライトオフィス誘致拡大をめざす。
449	徳島県	美馬市	「穴吹川～剣山」滞在型インバウンド推進美馬市再生計画	美馬市の全域	「穴吹川～剣山」ルートを活用し、インバウンド誘客を推進することで、全市へと波及させ、流動人口の増加及び滞在時間の延長に結びつけることで観光関連産業及び農林業分野において「儲かる」産業へ結びつけていく。
450	徳島県	徳島県名東郡佐那河内村	食業工房さなごうち整備計画	徳島県名東郡佐那河内村の全域	地域資源（農産物を含む地場産材）を利用した加工品の製造・販売施設普及「食」と「職」の起業をチャレンジする者が使用する加工施設と滞在施設を整備することにより、起業移住者の育成と新たな仕事づくりを実施する。
451	徳島県	徳島県那賀郡那賀町	那賀町ドローンのまち創出計画	徳島県那賀郡那賀町の全域	徳島県版ドローン特区を活用し、現在林業業務の効率化における実証実験等を行っているが、高度ドローンオペレータの養成、また町有地（森林）を活用したレース場・練習施設の整備を行いドローン特区のランドマークとする。 様々な可能性を秘めるドローンに関する新たな職の創造を模索するとともに、注目度の高いドローンを絡ませ情報発信を行うことにより、新たな観光誘客や周遊観光を促進し、交流人口の拡大へと繋げていく。
452	徳島県	徳島県海部郡美波町	住民参画の伊座利の活性化計画	徳島県海部郡美波町の区域の一部（伊座利地区）	地域住民の日常生活の拠点となる多世代交流・多機能ワンストップ拠点施設を整備することで、地区内での生活機能を向上させるとともに、移住定住事業の拠点、地域産品の紹介・販売の拠点、災害時の避難所などの機能を持たせ、持続可能な地域コミュニティを目指す。
453	香川県	丸亀市	丸亀市広島地域再生計画	丸亀市の区域の一部（広島地区）	旧広島中学校をコミュニティセンターをはじめとする複合施設に改修し、住民の利便性と住環境の向上を図り、島民のコミュニティ活動や島外者による活動の拠点とすることで、相互の交流を深め、移住・定住の機会創出を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
454	香川県	さぬき市	さぬき市滞在型観光推進のための拠点施設整備計画	さぬき市の全域	<p>スポーツ合宿誘致を推進するため、さぬき市自然休養村内の自然休養村センターみろく荘を宿泊施設へと改修するほか、アウトドアツーリズムを推進するため、バーベキューハウスの拡張整備を実施する。さらに、公園管理計画に基づく管理によって自然公園という特色を常時保持していくとともに、市内温泉宿泊施設を活用した企画の検討、地域イベントの支援や本市特産物を扱ったイベントの開催、多様な宣伝媒体を活用したPR活動を実施する。</p> <p>これらの取組みにより、本市での長時間滞在を推進し、地域経済の活性化へとつなげていく。</p>
455	香川県	三豊市	「みとよ未来創造館」を核とした多世代交流による地域のにぎわい創出事業～住みたくなる「強く、やさしく、楽しい三豊」の実現に向けて～	三豊市の全域	<p>市役所本庁舎前にある現高瀬町農村環境改善センターを改修し、新たに公民館機能と図書館機能を加えた「みとよ未来創造館」を整備する。続いて、隣接する公民館・図書館の跡地に、新たに地域子育て支援の拠点「(仮称)みとよっ子ランド」を整備する。</p>
456	香川県	香川県小豆郡土庄町	コネクトのしよう計画	香川県小豆郡土庄町の全域	<p>遊休町有施設を改築し、連携した大学を基本とする学生や関係者等が中・長期滞在可能な交流拠点を整備する。</p> <p>整備した施設を拠点として、地域住民・企業等と島外の大学等との連携交流を推進し、地域活性化のための意見交換や共同研究、フィールドワークなどを実施することにより、新たな仕組みづくりや官民協働によるまちづくりを推進し、販路拡大、雇用・移住・定住促進、観光振興、地場産業の振興、教育・スポーツ振興、人材育成などさまざまな分野での事業展開につなげ、地域活性化を図る。</p>
457	香川県	香川県仲多度郡琴平町	小さな拠点ネットワーク形成プロジェクト	香川県仲多度郡琴平町の全域	<p>本町の人口は、昭和30(1955)年をピークに減少しており、平成22(2010)年には9,967人となっています。また、本町の年齢3区分別人口をみると、年少人口、生産年齢人口は減少傾向にあります。</p> <p>一方で、老年人口は増加傾向にあり、平成2(1990)年には、年少人口を逆転して多くなっており、平成22(2010)年には、全体の約34%を占めるようになっていきます。今後、人口減少に歯止めをかけるとともに、若い世代の定住者を増やしていくことが重要となります。</p>
458	香川県	香川県仲多度郡琴平町	地域資源を活用した賑わい創出プロジェクト	香川県仲多度郡琴平町の全域	<p>本町は、江戸時代より栄えた典型的な門前町で日本有数の観光の町として、年間約300万人を超える観光客が訪れている。また、表参道を中心に町内に点在する歴史的建造物が数多くある。その歴史的建造物を改修することにより、交流人口の拡大による地域の活性化に向け、施設整備を実施する。これによりスポット観光から滞在交流型観光へと転換を図り、満足のできる観光地域づくりを進める。また、移住定住につなげる施策として、コミュニティスペースとして整備するなど、コミュニティ活動しやすい環境づくりにも取り組む。</p>
459	香川県	香川県仲多度郡まんのう町	まんのう町ものづくり施設地域再生計画	香川県仲多度郡まんのう町の全域	<p>10年前に廃校となった仲南東小学校の管理棟及び校舎棟を、(仮称)まんのう町ものづくりセンターとして用途や機能を変更するとともに性能を向上させ付加価値を与える。農産物の生産拡大や研修・研究、特産物の加工を行うとともに商品化に取り組み販売まで行う。廃校の利活用を図るとともに、6次産業化によるものづくり拠点施設に模様替えし、地域の小さな拠点及び交流の場をつくる。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
460	愛媛県	松山市	新たな温泉施設と連携した温泉文化発信プロジェクト	松山市の区域の一部(道後温泉地区)	道後温泉の中心となる国の重要文化財「道後温泉本館」は年間80万人の入浴客を受け入れているが、平成29年秋に開催されるえひめ国体後の適切な時期から長期にわたり保存修理工事に着手することとしている。工事中は長期にわたり観光客の減少が見込まれており、更なる魅力付けを行い経済影響の減少を少しでも食い止めていく必要がある。そのため、昭和59年に改築を行ってから30年を経過し老朽化している構の湯をより魅力的な施設となるよう改修し、工事期間中の入浴客の受け皿の一つとして選ばれる施設となるよう整備する。
461	愛媛県	新居浜市	四国初！移住促進拠点施設としての国家公務員宿舎活用プロジェクト	新居浜市の全域	移住(検討)者向けの良好な居住環境を整備するため、立地条件のよい国家公務員宿舎を本市において取得したうえで、必要な改修工事を施し、移住促進住宅として活用する。また、現在策定中の「新居浜市企業城下町版CCRC基本構想」と連携して、当該施設をアクティブシニア層の移住を促進するためのネットワーク施設としても活用するほか、愛媛県や近隣市との連携した移住促進施策の推進や、現在策定中のシティブランド戦略に基づく効果的なPRを実施することで、定住・交流人口の増加につなげる。
462	愛媛県	大洲市	地域資源を活用した交流拠点再生計画	大洲市の全域	本市の東部に位置し、宿泊・入浴・飲食等が可能な大洲市交流促進センター「鹿野川荘」について、地域資源を活用した魅力の向上やサービスの差別化等により利用者数の増加や観光消費額の拡大を図るために、必要な整備を行う。 また、鹿野川荘に隣接する鹿野川湖や点在する観光資源をつなぐサイクリングコース等を活用し、魅力ある観光メニューの開発・提供に取り組むとともに、移住・定住支援センター等と連携し、移住促進にもつなげる受入体制の整備や情報発信等を図る。
463	愛媛県	西予市	四国西予ジオパーク・ビジターセンターを中心とした観光客の周遊プロジェクト	西予市の全域	平成16年に5町が合併し誕生した西予市では、旧町の特徴を活かしつつ一体感のあるまちづくりを展開するため、ジオパーク認定に向け地域住民と取り組んできた。その結果、「四国西予ジオパーク」として認定され、知名度向上や地域活性化に大きく寄与している。しかし、ジオパークに触れて体験できる場所は点在しており、観光に効果的に結びつけるためには特化した総合窓口が重要になる。そこで、道の駅に観光客のニーズに沿った案内やジオガイドとを繋ぐ新たな案内施設の整備を行い、観光客と市内総生産の増加を目指す。
464	愛媛県	西予市	歴史的町並みを活かした観光まちづくり拠点整備プロジェクト	西予市の全域	西予市は、重要伝統的建造物群保存地区に町並み観光客と四国八十八所霊場の巡礼者(お遍路さん)がくつろぐことのできる休憩所を設置しており、地域住民の集会所もここに併設されている。これらの機能は残しつつ「四国西予ジオパーク」の情報発信を含めた観光案内や、市特産品の販売機能を加えた施設へ改修を行うことにより、町並みの賑いを創出する。また市内ハンドメイド作家の協働ワーキングスペース等として利用できる多目的スペースを併設し、子育て世代のしごと創出を支援する。
465	愛媛県	西予市	働く女性を支援する子育て応援環境整備プロジェクト	西予市の全域	西予市は過疎地域に指定され、市内事業所が少なく事業所内保育が進んでいない。そこで市内で働く女性の子育てニーズに対応するため、西予市民病院が運営する事業所内保育事業と西予市福祉事務所が運営する病児保育事業の複合施設を新設整備する。場所は、市民病院の隣地を予定し、病院勤務者以外の地域住民であっても保育を必要とする子どもの入所を可能とする。子育て世代が安心して働くことができる環境を整備することにより、移住希望者に対しても魅力となり、移住から子育てと仕事をスムーズにつなぐ好循環の発生が見込まれる。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
466	愛媛県	西予市	子育てするなら「せいよ」しろかわ森の保育園プロジェクト	西予市の区域の一部(城川町)	城川町中心部にある城川保健福祉センターを改修して、保育の拠点となる施設を整備し、公共施設の集約化及び家族が望む子育て支援によりIUターン促進を図る。施設内には、子育てに関する相談窓口の設置、一時預かりが行えるスペースや地域住民が利用できるスペースも併設し、移住希望者を含め住民の孤立を生まない取り組みを行う。施設改修には木育に対する考えを導入し、市産材を多く使用することや木製のおもちゃ等を準備することで、未来を担う子どもたちの健やかな成長を促し、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。
467	愛媛県	西予市	行ってよし・住んでよし・せいよ移住・定住・安住プロジェクト	西予市の全域	西予市では、少子高齢化・過疎化の影響により年間平均で約600人の人口減少が続いていることから中心地から離れた小規模小学校の統廃合が実施されており、それに伴う公共施設の利活用が課題となっている。そこで、本計画では廃校となった小学校の教員宿舎を移住希望者向けのお試し移住体験施設として整備し、地域づくり組織に業務委託を行うことで、地域の自主的な交流促進と移住希望者の負担軽減を図り、地域の人口減少に歯止めをかけることを目的とする。
468	愛媛県	東温市	温泉のあるコミュニティ施設を核とした地域経済活性化拠点の創設	東温市の全域	農産物直売所「さくら市場」の機能を強化した、「さくらの湯観光物産センター」を新設することで、東温市産品を原材料とした新規ブランドや地域で生産・製造される名物商品である「とうおんブランド」創出のために必要な情報やサービスの提供、及び地元産品販売のプラットフォームを構築し、地域に根ざした強い産業構造の構築と就業機会の拡大、更に集客力の向上と交流人口の増加を図り、地域経済活性化に向けた地域の拠点施設として整備する。
469	愛媛県	愛媛県西宇和郡伊方町	伊方町水産物ブランド化推進計画	愛媛県西宇和郡伊方町の全域	種苗生産のための施設を、現在の東北仕様の施設からマダガアワビ等に適した伊方仕様の施設に改修するとともに、大学や県水産試験場等の研究機関や地元漁業者等が連携した取り組みを進めるためのスペースを新たに整備することで、関係者の連携による、伊方町の海域に適した種苗生産から放流、採取に至る技術体系の試験・普及のための環境、及び種苗の安定供給の体制を確立し、漁獲高の増を実現することで漁家所得の向上を図る。
470	高知県	高知県	高知県における土佐ジロー生産流通体制強化計画	高知県の全域	高知県産業振興計画で進める「地産外商」を進めるため、県内での土佐ジローの飼養羽数を増加を目指す。①種卵(雛)の生産供給体制を強化、②施設整備事業による土佐ジロー農家の規模拡大への支援、③各団体が行うPR活動や商談会等への参加などに対する支援、④卵を使った加工品づくりを実施する。
471	高知県	高知県	高知県の林業の未来を担う人材の確保・育成計画	高知県の全域	平成27年度の基礎課程の開講に加え、平成30年度には専攻課程(森林管理コース、林業技術コース、木造設計コース)を追加開講し本格開校としている林業学校に、大型実習棟を整備することで天候に左右されない実習場が確保できることから円滑な学校運営を行うことができる。また、大型実習棟内に本格的な架線シミュレーターを設置し、架線技術者を養成する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
472	高知県	高知県	外商強化に向けた食品加工の高度化計画	高知県の全域	高知県工業技術センターの食品加工棟を模様替えし、食品衛生法に基づく試作品の営業許可を企業が取得できる環境を整備し、展示会等での試験販売を可能とすることで、消費者意見を取り入れた商品改良やコスト計算などにつなげ、“売れる新商品”の開発・販売を促進する。
473	高知県	高知県	地域資源を活かしたもののづくりの外商促進計画	高知県の全域	高知県は日本有数の石灰石の産出地であり、恵まれた鉱物資源を背景に、県内では古くから石灰製造業が発展してきた。これらは重要なアルカリ資源として日本の製造業を支えているが、昨今、ユーザーからメーカーに対して品質管理体制の強化が要求されており、支援組織である工業技術センターには分析技術に関するトレーサビリティが求められている。そこで、工業技術センターの分析評価技術を向上させることにより、ユーザーからの要求に応え、地域資源を活かしたもののづくりの振興を支援する。
474	高知県	高知県	国際観光推進計画(国際観光情報発信等拠点整備)	高知県の全域	近年、高知新港への外国クルーズ客船の来港が増加しており(H27:3回、H28:26回、H29:44回 ※見込み)、本県における受入拠点の整備が急務となっている。また、超大型客船の来港も増加していることから、数千人を超える乗船客を対象とした情報発信の強化、物販機能の強化などが必要である。このため、外国人観光客の受入機能を持つ施設を整備し、併せて本県の情報発信、展示、物販等を常時行うなど交流人口の増加や国内外に向けた情報発信の拠点化を目指す。
475	高知県	須崎市	須崎市海洋スポーツパークを拠点とする地域活性化プロジェクト	須崎市の全域	須崎市浦ノ内湾における海洋スポーツを軸に地方創生に資する施策を展開することで、東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」実現をはじめ、企業や大学等のスポーツ会館の誘致につなげる。 そして「須崎と言えば海洋スポーツの拠点」というブランドの確立で、さらなる交流人口の増加や地域の活性化が図られ、自然を楽しむ移住者の増加やブランド力の向上による企業誘致を目指す。
476	高知県	四万十市	四万十市おもてなしの環光地づくり事業計画	四万十市の全域	本市は、四万十川に代表される魅力ある自然環境や、山川海の豊かな地域産品などに恵まれている。これら本市の特色を十分に活かし、本市が進める四万十観光クラスターの形成において拠点施設となる四万十川に並行して走る国道441号沿いの2つの観光・宿泊施設の改築等(リノベーション)を行い、多様化する観光客のニーズを受け止め、競争力を強化し、集客の効果を最大限発揮させることで、滞在型・通年型の観光地づくりを進め、観光振興による地域活性化を図ります。
477	高知県	高知県安芸郡奈半利町	地域資源を活用した拠点づくり計画	高知県安芸郡奈半利町の全域	奈半利町は、基幹産業である一次産業の衰退、若者の流出、人口減少が進行し、まちの活気が失われつつある。そこで、町全体を一つの集落ととらえた集落活動センターを設立し、ここを拠点に行政と民間が協働して、地域特産の農林水産物資源を活かした生産・加工・流通販売を一体化とする「6次産業化」等の地域活性化施策を複合的に進め、地域の核となる人材を育成しつつ、産業の振興、雇用の創出、移住促進により、人口減少に歯止めをかけ、産業・生活・福祉といった様々な活動を実施し、町全体の地域コミュニティの再生を目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
478	高知県	高知県長岡郡本山町	本山町アウトドアの里拠点づくり事業計画	高知県長岡郡本山町の全域	高知県の中央山間部に位置する本町を含む近隣4町村では、「アウトドアの里づくり」に向けて受け入れ体制を確立し、広域観光事業での自立を目指している。そのため「食」「体験」「泊」の分野で各地域の強みを磨き、観光面での経済活動への展開を目指している。本山町ではアウトドア拠点施設の設置を計画し、自然を活かした体験アクティビティの受入や体験ツアー、観光情報の発信等、拠点施設の活用により、いつでも自然体験や各種の体験アクティビティを楽しむことの出来る地域として受入体制の充実を目指している。
479	高知県	高知県土佐郡土佐町	さめうら湖を核とした観光拠点・食の拠点づくり計画	高知県土佐郡土佐町の全域	本町における観光客を滞在させる拠点施設“さめうら荘”において、ブランド牛“土佐あかうし”料理の提供や、さめうら湖のロケーションを活かしたウォータースポーツやサイクリング・ランニングイベント等による人口交流の拡大を更に発展させるために、物販スペースの拡充やさめうら湖のロケーションを活かした魅力あるレストランスペースへの見直しを実施するものである。さめうら荘を活用し、観光イベントや特産品の物販等を更に展開することで、町内の観光客の滞在日数、観光消費の拡大等による地域での観光振興の底上げにつなげる。
480	高知県	高知県土佐郡大川村	大川村移住・定住促進計画	高知県土佐郡大川村の全域	離島を除いて日本最少人口で、なおも人口減少、高齢化が進み続けている本村では、村民一丸となって何が何でも「400人の人口を守る」ことを念頭に官民協働の連携体制で取り組んでいる。 人口を維持していくためには人口の自然増だけでなく、村外からの移住者を呼び込んでいく、人口の社会増を達成していく必要があり、雇用の場の確保と住環境の整備により、永続的に大川村の人口400人を維持する仕組みを本事業で確立する。
481	高知県	高知県高岡郡佐川町	「チームさかわ」による小さな拠点整備計画	高知県高岡郡佐川町の区域の一部(斗賀野地区)	佐川町斗賀野地区は少子高齢化の進行にともない地域活動の停滞、担い手不足が危惧されている。また、地域住民が主体となって取り組んでいる活動は多いが、活動の拠点となる施設がないため、マンパワー及び情報収集・発信が集約できず、個々の活動に留まっております。斗賀野地区全体での活動にいたっていない。そのため、地域のハブ機能となる集落活動センター(小さな拠点)を整備し、情報の収集・発信はもとより、地域住民同士をつなぎ、コミュニティ維持・強化及び新たな経済活動・雇用創出につなげる。
482	高知県	高知県高岡郡越知町	株式会社スノーピークと連携した奇跡の清流 仁淀川 発着の滞在・体験型観光拠点施設整備による満足度の高い観光地づくり	高知県高岡郡越知町の全域	越知町には仁淀川や横倉山など自然を活かした観光資源があるが、宿泊施設がほとんどなく滞在型観光による経済効果が希薄である。 仁淀川や横倉山観光の出発点である「宮の前公園」と、仁淀川体験観光の着地点「日ノ瀬清流公園」に滞在型観光拠点施設を整備することで、越知町への人の流れを作り滞在型観光による地域経済の活性化につなげる。またそれぞれの施設の整備運営を(株)スノーピークとの連携により行うことで、アウトドアカーの持つ知識と全国的なブランド力を活かした交流人口の増加と満足度の高い観光地づくりを目指す。
483	高知県	高知県高岡郡梶原町	小さな拠点 集落活動センター推進事業(地域交流滞在拠点施設改修事業)	高知県高岡郡梶原町の全域	地域の拠点となる廃校施設の活用が交流人口の拡大を目指すうえで重要なことから、宿泊滞在施設として整備を行う。具体的には、町が宿泊施設として活用できるような建築基準法等の法律に適合した施設への改修を行い、整備後は地域運営組織である「集落活動センターおちめん」が旅館業法に基づく簡易宿所の営業許可を取得し、運営を行う。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
484	高知県	高知県高岡郡日高村	着地型観光宿泊施設整備事業による施設を拠点とした地域の魅力化事業	高知県高岡郡日高村の全域	宿泊施設を整備し、地域住民の「おもてなし」を地域の魅力として活用し、地域ならではのプログラムを地域おこし協力隊とともに展開することで、交流人口の増加をはかり、移住定住へつなげる。地域の観光施設「屋形船」や村内に2つあるゴルフ場とも連携をはかり、日高村における新たな観光プログラムを展開する。
485	高知県	高知県高岡郡日高村	「村の駅ひだか」を拠点とした地域活性化計画	高知県高岡郡日高村の全域	村が出資(出資率85.32%)した第3セクターである観光案内所を併設した直販施設「村の駅ひだか」の観光拠点化を進めるために、店舗を増築するものであり、村内の特産品や加工品の販売コーナーやイトインコーナーの拡張整備により、来店者のニーズにあった商品展示等で施設の魅力を高め、観光事業の推進を図るとともに交流人口の拡大を図る。
486	高知県	高知県高岡郡日高村	日高村と村外を繋ぐ小さな拠点整備事業計画	高知県高岡郡日高村の全域	宿泊施設の無い本村に都市圏在住者をターゲットにした低額宿泊施設を整備する。特に、都会での生活に不満や疑問をもつ方に、地域おこし協力隊のもつネットワークを活かし情報を直接届けることにより、着実に都市圏からの訪問者を増やす。また、宿泊機能に加えて「食」をキーワードにしたレンタルスペースを提供することで、利用者に自己実現の場所として日高村を感じてもらおう。それらと併せて、村内の既存の取り組みや事業者、魅力ある住民と連携し、移住定住につなげる事業として実施する。
487	高知県	高知県幡多郡黒潮町	「あったかふれあいセンターよりあい」を活用した「地域の拠点づくり」	高知県幡多郡黒潮町の区域の一部(大方地域)	本町の人口は、平成27年に1万2千人だったが10年後には1万人以下まで減少する見通しである。また、町内61地区中52地区が限界・準限界集落となっており、地域の担い手不足、コミュニティの存続が大きな課題となっている。更には、担い手となる世代の人口も少なく、地域活力の原動力となる子どもも減少傾向と、その世代をどう呼び込むかも課題である。そこで、これまで小規模で多機能な福祉の拠点として活用してきたあったかふれあいセンターの機能を地域課題に応じて拡充し、地域活動の拠点となることで地域の活力の維持を図る。
488	福岡県	福岡県	CAE支援ラボの拡充整備によるものづくり中小企業の技術高度化支援	福岡県の全域	福岡県工業技術センター機械電子研究所(北九州市)に県内ものづくり中小企業が付加価値の高い製品を効率的に開発するためのCAEを核としたものづくり支援体制を総合的に強化・拡充することにより、企業競争力を向上させ、福岡県の産業振興を加速する。
489	福岡県	福岡県	高分子材料開発ラボの総合的整備による高付加価値ゴム・プラスチック製品開発支援	福岡県の全域	福岡県工業技術センター化学繊維研究所(筑紫野市)に県内ものづくり中小企業が付加価値の高い製品を効率的に開発するための高分子複合材料の試作・評価機能を整備し、ゴム・プラスチック製造業の高付加価値製品の開発を支援するとともに、福岡県工業技術センター機械電子研究所のCAE支援ラボと連携して労働生産性の向上を図ることにより、企業競争力を向上させ、福岡県の産業振興を加速する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
490	福岡県	福岡県	直売所と連携した地域観光の拠点機能強化及び漁業の6次産業化による漁村活性化計画	福岡県の全域	近年の気候変動に対応した特産水産物の生産安定技術の開発に必要な試験、研究施設、また、漁業者が行う高品質な水産加工品の開発に対する支援のために必要な高い機能を有する加工施設の整備を実施する。
491	福岡県	福岡県	障害者に優しい農業大学校を活用した農業における障害者雇用促進計画	福岡県の全域	農業の知識や経験のない障害者が農家等へ派遣・雇用される前に、農業大学校1か所で行っている作物についての作業体験・実習と知識の習得ができ、障害の種類や適性に応じた農業技術を学ぶことによって、障害者の農業での雇用拡大を図るため、農業大学校の栽培施設や視聴覚教室等を障害者にとって安全で作業性が良い環境に整備する。
492	福岡県	福岡県	福岡県農林業総合試験場の最先端化による農業者の所得向上・地域雇用の創出計画	福岡県の全域	近年の気候変動下でも高品質な農産物が安定的に供給できる技術に加え、IoTやAIといった先進的な技術を活用し、品質や生産性の向上、省力化に対応できる栽培技術の開発、また、農産物に含まれる機能性成分の含有量増加に向けた管理技術の開発等に取り組むために必要な研究施設を整備する。
493	福岡県	北九州市	旧安川邸活用計画	北九州市の区域の一部(戸畑区夜宮地区)	戸畑区の夜宮公園に隣接している安川家の旧邸宅とその周辺を市の新たな観光拠点として改修・整備するため、意匠、耐震調査や建築、駐車場、外構工事を行う。また、整備後は、民間活力を活用した喫茶や飲食の提供等により、世界遺産等との周遊性を高めるとともに、インバウンドの取り込みを図る。
494	福岡県	福岡市	福岡市インバウンド観光客集客促進計画	福岡市の全域	福岡市に訪れるインバウンド観光客やMICE参加者の消費を地域経済に取り込むことを目標に、博多エリアの歴史文化資源を再ブランディングし、インバウンド観光客等のスムーズな回遊や消費活動を促進することで、新たなしごと・雇用の創出やまち歩きボランティア等様々な市民の活躍の機会の拡充を図る。具体的には、地方創生拠点整備交付金を活用し、インバウンド観光客向けの回遊拠点として福岡アジア美術館を改修し、アート作品と本でアジアの美術文化に触れることができる魅力的な空間「アート・ブック・ラウンジ」を整備する。
495	福岡県	久留米市	耳納北麓グリーンアルカディア観光推進計画	久留米市の区域の一部(田主丸町、草野町、大橋町、善導寺町、山本町、山川町、御井町及び北野町)	観光の産業化(稼ぐことができる観光の実現)により地域経済を活性化し、新たな雇用を創出するため、「久留米市田主丸ふるさと会館」を、観光の拠点、DMOの活動の拠点となる施設として再整備し、既存の取り組みを活かしながら、エリア内の観光資源を連携させたブランディング、情報発信や周遊の仕組みづくりなどを行うことにより、国内やインバウンドの観光客の誘客を強化する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
496	福岡県	直方市	産業振興を活性化するための拠点施設整備計画	直方市の全域	ADOX福岡を電源に関する国際規格に完全準拠及び電気自動車の評価に対応させるべく改修工事を実施する。これにより、国際規格完全準拠を要求する顧客及び電気自動車メーカー及びその関連企業に対する依頼試験の受注機会を増やし、未対応となっている製品検査にも対応できることで、市内外の企業の事業促進や販路拡大にも繋がり、この施設の利用企業数を増加させ、ADOX福岡の収益増加につなげる。
497	福岡県	飯塚市	庁舎を活用した筑穂地域コミュニティ拠点づくり事業	飯塚市の区域の一部(筑穂地区)	筑穂地域全域において、安心して住み続けることができる環境を維持・整備するために、筑穂庁舎エリアを基本とし、複数の集落からなる経済・生活圏をネットワークで結んだ「小さな拠点づくり」を進めることとしており、行政だけではなく地域コミュニティ組織と連携、協働し、持続可能な地域づくりに取り組むとともに、当該地区での取組をモデル事業とし、市内他地区への横展開を図る。
498	福岡県	田川市	ジビエ(狩猟肉)食品加工施設整備計画	田川市の全域	ジビエ(狩猟肉)の解体・加工施設の整備と併せ、加工や商品開発等に関する研修参加への助成により、ジビエに関わる人材の養成、商品のブランド化及び6次産業化の推進等による地域活性化を図る。
499	福岡県	田川市	高度実践型未来農業者輩出計画	田川市の全域	市の特産品であるパプリカを中心に、栽培から流通販売、農業経営までを実践型で修得できる研修施設を整備し、次代を担う企業的な農業者「未来農業者」を育成することにより、強い農業の実現、新産業の創出及び地域経済の発展を図る。
500	福岡県	柳川市	柳川観光「有明海と干拓地を活用した潜在力強化事業」計画	柳川市の全域	柳川市の観光は、年間130万人もの観光客が訪れている一方で、日帰り・通過型の観光地であることから観光消費額は低い状態にある。 そこで、日本一の干満差を誇る大自然「有明海」を観光資源と捉え、有明海に面した干拓地域に連なる、むつごろうランド、グラウンド、下水・こみ等の環境関連施設、伝統漁法くもで網、ひまわり園の各施設を「チャレンジ・キャンパス柳川」としてつながりのある再構築を図り、柳川観光第2のエンジンを創出する。
501	福岡県	八女市	観光による矢部地区活性化計画	八女市の区域の一部(矢部地区)	急激な人口減少と高齢化が加速している八女市矢部地区において、既存の観光施設と新たに整備する滞在施設等を活用し、一体的な観光ルート等の創設による観光流入人口の増加や観光客の滞在時間の延長及び消費金額の増加、また波及効果として、農業の活性化による矢部地区の経済の活性化を図る。具体的には地区内の物産館「袖のさと」や今回建設する滞在施設および福岡市に本店しているアンテナショップを活用する事業展開を行う。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
502	福岡県	八女市	八女の森とまちによる循環型のまちづくり計画	八女市の全域	八女市において、旧八女郡役所を地域商社の情報及び交流の発信拠点施設として整備する。地域商社では、住宅・オフィスのリノベーション事業を展開し、八女産木材の付加価値向上を図る。また、民間資本による里山住宅の建築等も実施する。
503	福岡県	筑後市	「恋のくに」観光によるにぎわい創生事業	筑後市の全域	筑後市の観光において、南部の船小屋地域を除いては入込客を誘導するための環境が整っておらず、滞在時間が短く、入込客が市内での消費につながない。この課題を解決するため、「恋のくに」というキーワードでネットワーク化して市内周遊システムを構築し、「恋のくに」のイメージを広げ、深化させていくことにより、選ばれる観光地域づくりを目指す。
504	福岡県	行橋市	棒市地区地域コミュニティ活性化による地域力強化プラン	行橋市の全域	小学校、郵便局、認定子ども園、放課後児童クラブ等の施設を集約させ、小さな拠点として取り組む。核となる施設として、買い物の利便性の向上や地域コミュニティの活性化を図れる機能や、農業の振興を図るための農産物の直売が行える施設を備えた、「地域交流センター」及び「ふれあい広場」の整備を行い、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域経済の循環を促進させ、日常生活に必要な機能が失われることなく維持・確保され、安心して暮らし続けることができる地域にするための拠点を形成する。
505	福岡県	中間市	創業支援によるまちの賑わい創出プロジェクト	中間市の全域	市内にチャレンジショップを新設し、起業したくても起業できない方を支援し、雇用の創出を図る。また、将来的にはまちづくり法人に運営・管理を任せ、施設の収益事業を実施して継続的な運営を行わせていく。さらに、施設の整備だけでなく創業者に対して経営のノウハウを学ぶためのセミナーの実施や空き店舗の情報提供等、創業しやすい環境を作り出すための支援制度も充実させていき、地域経済の活性化による経営の安定化を図り、仕事の創生及び労働人口の流入超過を図っていく。
506	福岡県	春日市	地域コミュニティ運営拠点の強化による地域活性化プロジェクト	春日市の全域	地域コミュニティ拠点施設である地区公民館を活性化させるために、1階ホールを拡張させ隣接する文化施設や公園広場との融和を目指した「オープンカフェ」を整備し、地域住民の交流促進による地域住民の連帯感の深化、地域の支え合い活動の活性化等による地域解決力の強化を図り、もって活力ある地域の維持・向上を目指すものである。
507	福岡県	福津市	地域観光拠点を軸とした「農水産業×観光」地域活性化強化プロジェクト	福津市の全域	福津市は、福岡市と北九州市の両政令市のほぼ中間に位置し、その利便性と豊かな自然を背景に、ベッドタウンとして発展し、人口増加傾向にある。その一方で、基幹産業としての農水産業は後継者不足と高齢化が課題となっている。市内には3つの直販所があるが営業時間を通じた農水産物を補充できず、大きな機会損失を生んでいる。そこで、市が主導となって関係者間の合意形成を図り、新たな仕組みづくりをおこなうことで、地域経済循環を促す。また世界文化遺産登録の国内推薦等を追い風に、交流人口も増加させ、地域活性化を高める。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
508	福岡県	うきは市	うきは地域総合商社等施設整備事業	うきは市の全域	うきは地域総合商社は、特産のフルーツの1次産品やこれを加工した加工品、鉱工業製品を市外に積極的に販売し、外貨を稼ぐ組織づくり・仕組みづくりを実施するために設立し、地方創生加速化交付金を活用し、事業を展開してきた。さらに、活動の質と量を上げるため、市内の観光農園や窯元等での体験と市内飲食店での役務サービスを組み合わせた着地型観光商品の企画、販売等も計画している。このような事業を推進するための組織(うきはの里(株)営業推進部)が活動する拠点として当該施設を整備するものである。
509	福岡県	うきは市	山村空間を活かした体感型観光拠点整備事業	うきは市の全域	調音の滝公園は、水源の森百選に選ばれ、調音の滝をはじめ、流水プール、森林セラピーロード、湧水活用のそらめん流し交流施設を有する市内トップの人気公園である。しかし、施設自体の魅力が低いこともあり、利用者も伸び悩み、地元で経営する交流施設も高齢化で運営が厳しい状況である。一方、平成30年夏には、隣接する八女市星野村とトンネルが開通する予定で、回遊観光による経済効果が期待される。このような状況に対応し地方創生を推進するため、公園施設の大規模改修により、機能の向上を図るものである。
510	福岡県	うきは市	観光による生産性を高めるための「うきはツーリズム・ステーション」整備事業	うきは市の全域	吉井観光会館土蔵は、重要伝統的建造物群保存地区にあるが、RESAS分析では、当地区の滞在時間は短く、また、市観光消費調査でも、一人当たりの観光消費は1,000円に満たない等、観光客が十分な魅力を得られていない状況である。そのため、情報発信向上のための情報コーナー、観光客が長時間滞留できる交流スペース、町並みの回遊性向上のためのレンタサイクルステーション、町並み案内のガイドの拠点、賑わい創出のためのイベントスペース、インバウンドに対応したトイレ等、施設機能アップの改修整備を行うものである。
511	福岡県	うきは市	文化的建築物の活用による新たなビジネスの創出事業	うきは市の全域	鏡田屋敷及び居蔵の館は、重要伝統的建造物群保存地区にあるが、自治体が経費を負担して公開施設としている程度で、文化的暮らしを体験的に伝える活用までには至っていない状況で、観光入込客も伸び悩んでいる。文化的建築物の保護と活用のバランスをとることにより、収益をあげる地域資源・観光資源と進化できるため、文化財としての価値を損なわずに機能アップして活用するための改修を行う。特に、厨房の改修等を行い、地元の事業者による地域の食材を活かした飲食スペースと、地域の伝統的くらしをマッチさせた収益施設を目指す。
512	福岡県	嘉麻市	嘉麻市観光拠点整備計画	嘉麻市の全域	本市の強みである自然、歴史、文化、食材を活かし、廃校となった小学校校舎等を活用した観光拠点施設の整備を柱に観光産業の振興を図る。観光拠点施設を中心に関連する市内事業者における新規事業支援と地元住民の雇用促進、「見る・触る・食べる」をキーワードとする嘉麻市体感型観光メニューの提供で本市の魅力を発進し、交流人口の拡大と定住の促進を図る。
513	福岡県	朝倉市	朝倉市新規就農支援プロジェクト	朝倉市の全域	本市が所有する朝倉農業高校跡地を活用し、新規就農者への施設園芸作目として推奨しているトマトの栽培方法等の実習、並びに産学により農業経営や技術の理論等を学ぶ研修事業を行うための農業用ハウス及びトラクター等の農業用機械を整備し、隣接市町村及び関係機関との連携による就農相談及び総合的支援、並びに就農後の経営安定を図るための支援を実施する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
514	福岡県	福岡県筑紫郡那珂川町	まちづくり×ローカルベンチャー創造プロジェクト	福岡県筑紫郡那珂川町の全域	博多南駅に直結した博多南駅前ビルをリニューアルし、『駅=多くの人が入り混じる』といった特性を最大限活かし、多様な主体が入り混じる新鮮な場として位置付け、2階交流エリアでは、まちづくり機運の高揚を図る場を整備し、3階チャレンジエリアでは、「しごと」をテーマに創業支援やオフィステナント、コワーキングスペースを整備し、まちづくり人材と起業家の相乗効果による新たなビジネスの創出や地域課題の解決を図ることを目的として「まちづくり」と「ローカルベンチャーの創造」を一体的なプロジェクトとして実施する。
515	福岡県	福岡県遠賀郡水巻町	特産品を活用した地域産業振興プロジェクト	福岡県遠賀郡水巻町の全域	特産品の「みずまきでかんにんく」を活かし、地域産業に活力を与える。季節野菜であるでかんにんくの加工品製造を行う事で、通年での事業化と雇用創出に繋げる。生産者、販売事業者、商工会、金融機関、専門家、行政からなる協議会が運営主体となり、生産量が増加する「みずまきでかんにんく」を乾燥・加工・保管するための加工施設を整備する。地域の特産品産業を牽引し、地域事業者の所得向上を目指すと共に、町内の飲食店ででかんにんくご当地グルメを展開するなど、町全体でみずまきでかんにんくの消費を拡大し、まちおこしを行う。
516	福岡県	福岡県遠賀郡水巻町	周遊拠点を核としたエリア活性化プロジェクト	福岡県遠賀郡水巻町の全域	町内外から訪れる公園利用者を主なターゲットとし、カフェやコミュニティスペースを整備すると共に、本施設を拠点・基点として観光情報の発信を行い、町内の各所へ周遊を促す事で、消費の拡大だけでは無く、地域の賑わいや事業者のビジネス機会の創出を図る。また、コミュニティ施設として地域おこし協力隊等の導入もを行い、隣接する公園での交流イベント等を行い、地域の新たなコミュニティ形成を行う。更に、チャレンジショップとしての運営もを行い、町内での創業者の排出を図る。
517	福岡県	福岡県遠賀郡遠賀町	法人誘致による地域福祉の向上と雇用の創出計画	福岡県遠賀郡遠賀町の全域	遠賀町は、人口の自然減と高齢化の伸長が著しいが、子育て支援のため母子保健事業、保育料の細分化による保護者負担の軽減、中学生までの子供医療の助成などの町独自の事業を展開している。しかし20歳代の人口減や子育て世代の流出といった課題が生じている。そのため、特別支援型子育て施設を課題解決のための中核施設と位置づけ、NPO法人との連携のもと、新たな子育て支援事業の立ち上げを行うことで、地域福祉の向上、働き方改革及び雇用創出につなげ、子育て世帯の人口増と定住人口の底上げを図ることを目的とするものである。
518	福岡県	福岡県遠賀郡遠賀町	アグリJAPAN遠賀菜の花プロジェクト	福岡県遠賀郡遠賀町の全域	遠賀町は、北九州都市圏の拡大に伴って農村のゆとりと都市の活力を併せ持つ生活都市として発展してきたが、農業従事者数、農業産出額が年々減少している。そこで、品質面を重視した作物としての競争では伸びしろが大きいと考えられる菜種をキラーコンテンツとし、農業の活性化を狙う。農業を安定した雇用の場とし、農業離れによる人口流出を食い止め、さらには、ブランド化商品による雇用確保を図り、若い世代の人口を増やす。
519	福岡県	福岡県嘉穂郡桂川町	桂川町地域資源活用計画～けいせんアグリテイメントプロジェクト～	福岡県嘉穂郡桂川町の全域	あらゆる角度から本町の課題解決を行うために「桂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。①笑顔ある「まち」の創出、②希望ある「ひと」の創出、③活気ある「しごと」の創出、④魅力ある「個性」の発揮、の4つの柱に沿った施策を実施し、将来にわたり本町が活力ある持続可能な地域であり続けることを目標とし、住民ひとりひとりが主役の、桂川町の「地方創生」の具現化に取り組む。【住民が主役で、地域資源を高付加価値化】、【桂川町の中心産業である、「農」資源を高付加価値化する「アグリテイメント」】

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
520	福岡県	福岡県朝倉郡筑前町	ファーマーズマーケットみなみの里を拠点とした新たな仕事おこし計画	福岡県朝倉郡筑前町の全域	食の拠点として整備した農産物直場所「ファーマーズマーケットみなみの里」の施設を拡充・有効活用することで農家所得の向上、雇用促進、新たな農作物の栽培などの地域振興を図る。具体的には、弁当製造施設を新設し、地元産の米や野菜を原料とした弁当等の製造・販売を行う。また、弁当の容器・内容とも地元産にこだわった新商品を開発することにより、新たな仕事おこしを行う。
521	福岡県	福岡県朝倉郡東峰村	東峰村ゲストハウス拠点整備計画	福岡県朝倉郡東峰村の区域の一部(竹地区)	本村の竹集落にゲストハウスを整備し、都市部の家族連れには「いなか暮らし」の場を、移住希望者には「お試し住宅」として提供する。移住希望者や観光客の滞在費用の経済的な負担軽減と村民との交流の場としてのホリデーワーキング制度を確立する。さらに、通遊型観光の現状を滞在・交流型観光へ転換を図るため旅行代理店等の提携による宿泊プランを企画しながらゲストハウスの利用向上を行う。
522	福岡県	福岡県三潁郡大木町	持続可能なまちづくり 稼ぐ力とコミュニティ維持の土台づくり計画	福岡県三潁郡大木町の全域	空き施設である旧大莞保育園を改修し、校区コミュニティ活動拠点として整備し、コミュニティの維持を図る。また、シェアオフィス機能を持たせることで、保育サービス事業者の誘致により子育て世代の所得向上を図る。また、農産品等の販売力強化、新たな起業による雇用の場の創出、移住定住促進のため、生産面・販売面・居住面の全てを包括的にマネジメントする専門機関としての駅敷地内に「大木町地域創業・交流支援センター」を施設整備し、事業の総合窓口としての機能と移住定住の機能を併せ持つワンストップ窓口として設置する。
523	佐賀県	佐賀県	行政空間の集客(収益)施設化事業～佐賀県庁・佐賀城公園の賑わい・高い空間化事業～計画	佐賀県の全域	佐賀城周辺の公共空間を「使い手目線」の空間となるようリノベーション(再編集)するため、地下食堂整備事業、佐賀城公園整備事業、岡田三郎助アトリエ増築事業、県庁屋上展望ホール整備事業を実施する。 また、エリアマネジメント主体を設置し、種々のイベントを仕掛けていくため、エリアマネジメント主体設置育成事業を施設整備と併せて実施する。
524	佐賀県	佐賀県	観光・地域活動拠点の整備による重伝建地区「肥前浜宿」の観光動線「面」化推進計画	佐賀県の全域	佐賀県の西南部に位置する鹿島市の肥前浜宿地区を中心とした観光客の周遊性向上及び地域の担い手であるNPO等の活動の活性化を目的に、佐賀県が事業主体となり、既存施設を活用しながら、地域内外の交流拠点となる施設を整備する。
525	佐賀県	佐賀県	伊万里港へのポートセールス拠点整備による物流活性化→地域活性化計画	佐賀県の全域	伊万里港は、古くから諸外国との海上交通の要衝として重要な役割を果たしており、現在は東アジアに至近距離という地理的優位性を活かし、外貨コンテナ貨物取扱個数では九州第4位となるまで成長している。しかし、伊万里港の利用促進のためのポートセールス施設がコンテナヤード内にはなく、また視察や見学等の対応についても安全性の確保に苦慮している。このため、伊万里港コンテナヤードセンターを整備し、港湾運送事業者とともに官民一体となってポートセールスに取り組み、伊万里市はもとより県内全域の産業及び地域の振興を図る。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
526	佐賀県	佐賀県	絶好のロケーションを活かした公営キャンプ場のリニューアル・リブランディング～稼げるキャンプ場を目指して～	佐賀県の全域	波戸岬海浜公園キャンプ場を民間事業者の企画協力を得ながら、どこにでもあるキャンプ場のイメージから脱却、「九州最強の公営キャンプ場」とすることにより、九州における自然体験事業とその周辺事業のメッカとなることを目指すとともに、名護屋城跡等の観光資源とともに、佐賀県北部の交流人口を増やし、周遊性を高めることで、時間消費・購買消費を高め、地域経済の活性化を目指す。
527	佐賀県	佐賀県	佐賀県クリエイティブプラットフォーム形成計画	佐賀県の全域	クリエイティブなプラットフォームを形成し、その地域の発信力を高めていくため、有田地域の機関、団体等の連携を図り、クリエイターが潜在して活動でき、クリエイターや地域内外の人が交流し、そのことを地域の魅力とともに発信をすることのできる環境を整備する。
528	佐賀県	佐賀県	IT農業における世界No. 1の実現と他産業への展開	佐賀県の全域	地域社会の活性化のためには農業の担い手を確保することが急務であり、このため「稼げる農業」の確立に取り組んでいる。その実現のためにはより一層の省力・低コスト化や農産物の高品質化・安定生産（ブランド化）が重要であり、これらを実現する革新的技術の開発が必要である。このため、ICT等を活用した革新的技術の開発により、ブランド力強化、省力化をはかり、農村地域における雇用の増大と官民による共同研究で培われる技術を他部門へ展開することにより、ICT関連企業のあらたなビジネスモデルの創出へつなげる。
529	佐賀県	佐賀市	佐賀藻類マテリアル活用推進事業～新産業創出プロジェクト～	佐賀市の全域	産官学金の連携によって藻類マテリアルを利用した新産業を創出させるための体制の整備として、「さが藻類産業推進協会」を設立し、企業への情報提供や販路開拓、企業間のマッチングなどの支援を行う。また、研究開発の拠点となる「さが藻類産業研究開発センター」の施設整備を行い、推進協会会員企業に対する包括的な技術支援を行う。
530	佐賀県	伊万里市	豊かな大地と海を生かした波多津まちづくり計画	伊万里市の区域の一部(波多津町)	当事業は、住民主体のNPO法人が積極的に取り組むコミュニティ・ビジネスについて、事業継続に必要な収益を確保するための事業拡大を支援する「稼ぐ地域」づくりのモデルとなるものである。 外部有識者や地域おこし協力隊などを活用し、新しい人の流れを生み出すことにより、自立したまちづくり活動となることが期待され、波多津町モデルを他地区へと拡大することにより伊万里市の地方創生に大きく寄与するものとなる。
531	佐賀県	神埼市	王仁博士顕彰公園施設整備事業	神埼市の全域	神埼市竹原地区に「王仁天満宮」と刻まれた石祠が安置されている。本市では百済から日本へ論語と千字文を伝えた、日本の歴史書「記紀」にも登場する王仁博士の歴史遺産(地域資源)として捉え、古代より繋がる日本と韓国の歴史ロマンを感じることが出来る観光施設として王仁博士顕彰公園を整備する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
532	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	多世代交流拠点整備プロジェクト	佐賀県三養基郡基山町の全域	基山町の合計特殊出生率(H20～H24)は1.25と低く、今後高齢化が急激に進行することが予想される。そのため、子育て支援、高齢者支援施策が急務となっている。そのため、既存の福祉施設「老人憩の家」を全面改修し、多世代の交流拠点として整備することで、各世代の孤立化を防止し、世代間交流事業の契機となる取組を促進する。そして、誰もが活躍できるまちづくりの拠点として、民俗芸能、地域文化の継承を図り、まちの活力と人財の創生をめざす。
533	長崎県	長崎県	日本一のクロマグロ・トラフグ養殖の生産力強化・輸出拡大計画 ～完全養殖・最高級品種の安定生産技術開発～	長崎県の全域	長崎県の重要な産業の一つである水産業において、養殖クロマグロや養殖トラフグなどの収穫量は全国1位となるなど有益な資源を有するが、養殖用人工種苗の安定生産・高付加価値、低生産コスト養殖技術等の開発・導入が求められている。そのため、これら魚類等の新規技術開発に資する長崎県水産試験場の研究機能を強化し、①海外マーケットをターゲットとした完全養殖クロマグロの輸出拡大による外貨獲得、②国内高級志向の消費者をターゲットとした高付加価値トラフグの生産拡大による長崎県産水産物のブランド確立と魚価向上につなげる
534	長崎県	長崎県	幻の高級魚「クエ」を水産県ながさがが誇る次世代ブランド化推進計画 ～高付加価値魚種の量産体制の確立～	長崎県の全域	長崎県の重要な産業の一つである水産業において、特に、需要が拡大しているクエなどの高級魚の生産量が全国1位となるなど、他地域には存在しない有益な資源を有しているが、クエの養殖生産技術は近年導入されたばかりであり、技術開発による安定した収益性の高い養殖産業の育成が求められている。そのため、生産、加工、流通、販売までが一体となった施策推進に向け、入口となる栽培漁業センターの整備によって、出口となる販売の段階で高い付加価値を持つ水産物の生産体制を確立し、水産業のみならず関連産業全体の活性化を図る。
535	長崎県	長崎県	海外販路拡大に向けた遠隔輸送対応いちごの造成及び全国初の次世代園芸施設を活用した高糖度トマトの安定供給技術の確立計画	長崎県の全域	本県の園芸野菜の主要品目である「いちご」、「トマト」は、高品質が評価され関西や関東でも販路を拡大しているが、「ゆめのか」(いちご)の後継となる独自ブランドの造成や、高糖度トマトの高収量の生産技術確立し、国内・海外での販路開拓を進めることで更なる収益向上を図る必要がある。このため、農林技術開発センターにおいて、新たなブランド候補を選定するため成分分析や輸送性の試験を行うための施設、生産技術開発に向けた統合環境制御施設設備の高軒高温室などの整備を行い、新品種・新技術の県内産地への展開を図る。
536	長崎県	長崎県	贈答用高級中晩柑ブランドの造成・普及によるみかん産地の構造改革・販路拡大計画	長崎県の全域	本県の温州ミカンの産出額は全国5位と優れた品目であるが、温州ミカンが大勢を占めていた市場で、近年「中晩柑」の取扱いが増加し、市場の4割弱を占める重要な品目となっている。本県の生産者も将来のミカン産地のあり方を見据えて、高単価の本県独自の中晩柑の品種造成を求めているが、今後の導入期間を踏まえると早急に品種開発が必要。このため、農林技術開発センターにおいて、独自品種の開発に寄与する設備を整備し、カンキツ農家の収益向上を目指す。
537	長崎県	長崎県	クルーズ乗客・乗員を対象にした県産品販売拡大拠点施設整備計画	長崎県の全域	近年、アジア地域のクルーズ市場が拡大し、長崎港に寄航する国際クルーズ客船の寄港回数は全国2位(平成27年度)を誇るが、国際ターミナル内に県産品取扱店がないため、クルーズ船の乗員・乗客に対する県産品やその県内取扱店のPRが不足し、県産品購入に繋がっていない。このため、国際ターミナル内に高品質な県産品を取り扱うセレクトショップを設置し、PR及び販売を行うことで、県産品等の消費拡大に繋げる。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
538	長崎県	杵岐市	二次交通整備による交流人口拡大計画	杵岐市の全域	本市では、島ブーム減退、地域間競争激化により、福岡市から高速船で僅か1時間という好立地でありながら、観光客数が減少している。本市には、弥生時代の国指定特別史跡「原の辻遺跡」をはじめ、日本遺産認定第一号を受ける歴史遺産や九州でも随一を誇る砂浜が点在、杵岐牛、杵岐焼酎などの多くの特産も豊富に揃っており、まさに実りをもたらす島として多くの観光資源を有している。しかし、二次交通の不足・不便さが支障となっていることから、電動自転車起爆剤とし、本市の魅力ある観光資源を満喫して頂き、交流人口の拡大を図る。
539	長崎県	五島市	しまの世界遺産受入環境整備計画	五島市の区域の一部(久賀島)	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を目前に控え、久賀島内には、観光交流拠点施設も飲食提供施設もない状況である。このため、誘客効果を確実に地方創生に結び付け、久賀島内の観光関連産業の構築を図ることを目的に久賀島内の中央部に位置する古民家を改修し、来訪者の観光交流拠点施設として整備する。この取り組みを通じて、久賀島内の地域資源(食・体験・景観)を掘り起し、久賀島のブランド力強化を図ることで、観光産業の構築だけでなく、農林水産物の販売力を推進する。
540	長崎県	南島原市	廃校施設を拠点とした若手芸術家招聘による地域振興及び観光振興計画	南島原市の全域	廃校となった施設を、芸術家、地域、行政の連携と協働のもとにリノベーションを行い、幅広い層の市民が気軽に芸術文化に触れる機会やアーティストと交流する地域交流プログラムなどを開催する芸術文化の拠点とする。同時に、地域コミュニティの活性化とそれに伴う新たな地域活動の創造の場として活用することで、地域活性化の拠点施設としても活用し、廃校施設を中心とした本市の地域振興と観光振興を図る。
541	長崎県	長崎県西彼杵郡時津町	時津町民総活躍プロジェクト「時津町東部コミュニティセンター」拠点整備事業計画	長崎県西彼杵郡時津町の全域	地方創生加速化交付金を活用して計画づくりを進めている「時津町民総活躍プロジェクト」を実現するために、その拠点施設として「時津町東部コミュニティセンター」の改修を行い、交通の要衝として賑わっていた当時の活気を取り戻すことで、交流人口を拡大し、地場産品の販売力を高め、地元飲食店や商店街の活性化につなげる。そこで得たエネルギーにより、新たな特産品の研究や、海の幸、山の幸を活用した加工品の開発を行い、新たな雇用を創出し、Uターンや移住者の増加につなげ、人口減少に歯止めをかける。
542	熊本県	熊本県	産業技術拠点高度化プロジェクト	熊本県の全域	県内の豊かな自然や生産物を活かした自然共生型産業の創出を目指すため、その先行事例として、「米ゲル」と「ナノセルロース」による新たな事業展開を促進する。また、高精度3Dものづくり基盤の強化を行い、復興に向けて経済の力強い発展を促し、地方創生を実現する。
543	熊本県	熊本県	農業・農村活性化のための担い手育成・交流拠点整備プロジェクト	熊本県の全域	次代の本県農業を担う優れた農業経営者の養成を図るため、農業に関する高度な知識及び技術と農村社会人として必要な幅広い応用及び社会性を備えた人材を育成する

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
544	熊本県	熊本県	次世代型平坦地域農業ローカルイノベーション拠点形成プロジェクト	熊本県の全域	これまで生産者の経験や勘に頼る部分が大きかった栽培技術を民間企業や大学等の幅広い産業の英知を結集しながら、IoT技術を活用した「次世代型施設園芸技術」を確立することで、機能性成分を活用した商品化や出荷予測システムによる有利販売につなげ、農家所得の向上による本県農業の競争力強化と農業を基軸とした地域活性化を実現する。
545	熊本県	熊本県	クロマグロ養殖研究機能の強化プロジェクト	熊本県の全域	クロマグロ種苗生産技術開発に必要な海水ろ過室の整備を行うとともに分業方式によるクロマグロ生産体制(くまもと型養殖モデル)により県内にクロマグロ養殖を振興し、養殖業の経営安定化を図り、人口減少問題を抱える沿岸地域の地域経済の維持・発展に取り組む。
546	熊本県	熊本県	攻めの中山間地域のための新たな茶業モデル拠点形成プロジェクト	熊本県の全域	高付加価値のブランド茶とともに消費者ニーズに沿った多様な茶生産に向けて、農業分野の枠を超えた官民連携による効率的且つ低コストな茶栽培・製造技術確立することで、生産者の経営安定化と地域のしごとづくりにつなげ、将来に亘る持続可能な中山間地域づくりを実現する。
547	熊本県	熊本県	県産材利用促進のための研究開発・技術支援の拠点強化プロジェクト	熊本県の全域	県内の充実した豊富な森林資源の活用するため、木造住宅での地域材のさらなる利用拡大と公共建築物や非住宅建築物等の木造化による地域材の利用拡大を図るのに必要な低コスト・高品質な乾燥材生産技術の開発、及び接着重ね材等の県産材を使った木質材料や工法の技術開発及び企業等に対する開発支援、並びに広葉樹資源を活用した製品開発を可能にする技術支援拠点としての施設整備を熊本県林業研究指導所にて実施する。あわせて木造住宅や公共建築物等の木造化に対する地域材利用の普及促進を実施する。
548	熊本県	熊本県	中山間地域における果樹農業の好循環拠点形成プロジェクト	熊本県の全域	温州みかんの新たなオリジナル品種の開発、トップブランドであるデコポン(不知火)の更なる高品質化、温暖化に対応した病害虫の早期判断と対策技術、落葉果樹(柿・梨・栗)の鮮度保持・貯蔵技術を開発することにより、本県果樹農業の生産性を上げ、収益性の向上につなげることで、中山間地域における果樹農業の好循環の形成による地域の活性化を図る。
549	熊本県	熊本県	阿蘇の景観維持のための高原農業モデル拠点形成プロジェクト	熊本県の区域の一部(阿蘇地域及び上益城地域)	阿蘇草原の野草堆肥を活用して生産した自然循環型農産物のブランド化を図ることで農家経営の安定を実現するとともに、IoT技術を活用した省力・低コスト化技術の開発・普及による中山間地域の担い手不足の解消や、鳥獣被害にも合わない品目の導入・高付加価値生産、農商工連携による加工品の開発・販売を一体的に取り組む。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
550	熊本県	熊本県	「旅客ターミナル」を核とするみなと活性化プロジェクト	熊本県の区域の一部(熊本市西区)	熊本港フェリーターミナルのリノベーション等で観光・物産・交流の拠点機能を強化することで、しごと創生と交流人口の拡大を図り、観光客、フェリー利用者、地域住民など多くの人が賑わうエリアを創出する。
551	熊本県	熊本市	熊本市西部地域産業振興・まちづくり拠点創出計画	熊本市の区域の一部(西区)	本市において、地域の農産物の展示・販売を行う販売所や観光地域づくりに効果的な温浴施設に加え、地域住民が参画し、地元農家による販売所での地域産品の検討・開発、観光施策の検討や観光客向けの観光案内、退職後の新規就農等を検討する人材の育成等に活用することが可能な多目的機能を付加させた複合拠点施設を整備し、域外から、多くの人を呼び込みながら、地域農産物の販売収益の増加、観光客の周遊性の向上に伴う観光施設における収益の増加等を図り、地方創生を実現していく。
552	熊本県	八代市	コミュニティビジネスによるしごと創生・地域活性化プロジェクト	八代市の区域の一部(旧八代郡坂本村)	坂本町住民全員が構成員となる坂本住民自治協議会を中心に地域経済の活性化と雇用の創出、交流人口の拡大などを目的とし、体験型観光を中心としたコミュニティビジネスを実施する。また、それらの活動拠点として、広域交流センター「さかもと館」敷地内にイベント交流施設を増築し、必要な設備・備品類を整備する。
553	熊本県	人吉市	相良歴史回廊エントランスセンターを拠点とした日本遺産人吉球磨地域活性化計画	人吉市の全域	人吉市は歴史文化資源に恵まれ、平成27年に周辺町村とともに日本遺産として認定されたが、これを契機として活かすためには、文化財を活かした観光の仕組みづくりが喫緊の課題である。さらに、日本遺産ブランドとして確立し、商品やサービスの開発等を行い、文化財の保存活用から雇用を創出していかなければならない。これらに対応するため、地域に観光客を周遊させるガイド機能、日本遺産ブランドプロデュース機能、官民協働マネジメント機能をもつ拠点を整備し、日本遺産による地域の収益増、雇用創出、地域活性化を図る。
554	熊本県	人吉市	人吉市「小さな拠点」整備事業～一人ひとりが生き生きと輝くまちを目指して～	人吉市の全域	中原コミュニティセンターの改修を行うことで、機能強化と利便性の向上を図り、施設の収益増加を目指す。また地域の高齢者宅への配食と見守り活動を兼ねた「給食ボランティア事業」を拡充し、実施回数及び対象者を増やすことで、地元食材の購入等で地元商店の活用が図られ、域内消費の拡大による地域経済の好循環を創出する。併せて、高齢者をはじめ地域住民の働く場を作り出し、雇用の場の確保に繋げる。
555	熊本県	水俣市	地域交流、多世代交流による地域の元気づくり計画	水俣市の全域	本事業は、現在、地域における子育て支援や保護者の交流の拠点となっている「水俣市こどもセンター」を整備改修し、地元農産物の販売、地元の食材を使った「地のもんカフェ(仮称)」を設置し、地元林産材製品の展示・販売等により、地域経済の活性化・雇用創出につなげるとともに、人々が安心して暮らし、働き、子どもを産み育てられ、真の豊かさを実感できるまちづくりを進めるための各種事業を行う「水俣市地域／多世代交流センター」として活用していく。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
556	熊本県	玉名市	天水市民センター建設事業	玉名市の全域	<p>玉名市では、行政運営のスリム化を図るため、散在した公共施設集約化の必要性が高まっており、また、人口減少対策として新しい産業創出が必要となっている。</p> <p>そこで、公民館、農村女性研修センターなど散在する4公共施設を集約し、複合施設として整備するとともに、農産加工室等の機能を強化することで6次産業などの新産業の活性化拠点とする。</p> <p>この整備により、6次産業などの産業の賑わいを創出し、複合施設のメリットを活かし、市民が将来にわたって安全安心で豊かな生活を営むことができる住みやすいまちづくりを目指す。</p>
557	熊本県	菊池市	きくち田舎暮らし移住・定住推進計画	菊池市の全域	<p>旧小学校の教室をリニューアルすることで、サテライトオフィスや若手芸術家のアーティスト活動、地元NPOとの交流を通じた活動の場とし、“住まい”と“しごと”の両方の支援による移住・定住を推進するとともに、移住を検討する際の活動拠点として利用できる短期滞在の体験施設を整備し、きくち暮らしを体験してもらうことで、Uターンなどの移住希望者の移住・定住率の向上を図る。</p>
558	熊本県	菊池市	泗水地区賑わい創出プロジェクト	菊池市の区域の一部(泗水地区)	<p>泗水地区は、本市でも人口減少率が低く、中心拠点は人を呼び込むための立地の良さや多数の施設を有しながら、そのポテンシャルを十分に発揮できておらず、地域経済が低迷している状況にある。</p> <p>そのため、当該地域における孔子公園を整備することで、体験・感動型観光プログラムを実施する際の拠点とするとともに集客力のあるイベントを開催し、周辺施設等とも連携を図りながら公園だけでなく泗水地区における交流人口の増加を図り、賑わいを創出する。</p>
559	熊本県	宇土市	温泉利用プログラムによる「元気」創造計画	宇土市の全域	<p>宇土市健康福祉館は公営の温泉施設であるが、主な利用者は市内の住民に留まり、新たな収益を生み出す取組みは行われてこなかった。</p> <p>今回、九州では4番目となる厚生労働省の「温泉利用プログラム型健康施設」の認定に向けて施設の機能強化を行い、域外からの「新しいひとの流れ」を創造する。併せて、本市で生産される健康食材を活用した「健康ランチ」を販売することで、域内経済の活性化を図り、地方創生の実現につなげる。</p> <p>(温泉利用プログラム：温泉入浴指導、健康体操、栄養管理された食事の提供等を一体として実施するもの)</p>
560	熊本県	合志市	食と農による人と地域経済の健康づくり推進計画	合志市の全域	<p>持続可能な地域経済の創出を目指し、本市ではこれまで、農業の高付加価値化や機能性食品の商品化等に取り組んでいる。</p> <p>これらの取組みを推進する市総合センター内にあるレストランがあるエリアでは、市庁舎の合同庁舎化や商業施設の開発等により人の流れが変わることが予想される。この環境変化を地域経済の活性化につなげるため、レストランの機能強化と熊本地震で被災した市総合センターの復旧を図るとともに、民間等と連携した健康と地域経済の好循環を図る取組みも展開し、地域産業の多様化と賑わいの創出を目的とするものである。</p>
561	熊本県	合志市	文化による地域活性化推進計画	合志市の全域	<p>持続可能な地域経済を目指し、本市では新たな地域産業の育成に向けて、成長産業とされるマンガやアニメなどのコンテンツ産業に着目し、クリエイターを目指す若者の人材育成や映像制作会社との連携協定の締結、マンガミュージアムの整備などに取り組んでいる。</p> <p>これらの取組みをさらに加速するため、マンガミュージアム及び周辺施設を新たな観光交流拠点として一体的に整備するとともに、集客イベントや起業創業の支援、コンテンツ企業の誘致など様々な取組みを展開することで、地域産業の多様化と賑わいの創出を図るもの。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
562	熊本県	熊本県玉名郡玉東町	玉東町賑わいのまちづくりプロジェクト	熊本県玉名郡玉東町の全域	町の地域資源を活かし、基幹産業である農業においての新たなビジネス創出を図り、農業の活性化を目指したしごとづくりの促進と、国指定となった西南戦争遺跡群の活用による観光振興の取り組みでの雇用の創出など、まちの魅力の向上に取り組み、交流人口や移住・定住人口の増加、地域経済の活性化を図る。
563	熊本県	熊本県玉名郡南関町	南関町農産物活用プロジェクト	熊本県玉名郡南関町の全域	農産物(米・なす・南瓜・トマト等)や特用林産物(タケノコ)を利用した“売れる”加工品の製造や新商品の研究開発等を行い、農業所得及び第一次産業生産額の向上を図るため、町の中心部に加工品開発センターを新設する。
564	熊本県	熊本県玉名郡長洲町	金魚の館を核とした地域商社によるしごと創生事業	熊本県玉名郡長洲町の全域	長洲町の「金魚の館」の横に新たにカフェテリアとして建物を整備し、地場産品等を活用した飲食物等の提供をはじめ、販売スペースを設置し、来場者の滞在時間の増長と消費拡大を図ることができるとしての機能を向上させる。また、新たな雇用を創出し、地域産業の活性化と地域の交流人口の拡大を図るため、厚生労働省の「実践型地域雇用創出事業」による町内の地場産品を活用した商品等をより付加価値の高い新規商品として開発、販売していくとともに、町内商工業者や金融機関と連携して「地域商社」を設立し、施設の運用を実施する。
565	熊本県	熊本県玉名郡和水町	廃校を活用した交流促進プロジェクト	熊本県玉名郡和水町の全域	廃校の教室の一室を活用して、「田中城跡」の遺物や当時の田中城を復元した映像などを楽しめる交流拠点スペースを整備し、地域の交流・文化活動の発信拠点とするともに、町内の小中学生などの学習の場として活用する。 さらに、地域資源である「八つの神様ご利益めぐり」などの観光情報などの町の魅力発信機能の強化を図り、観光PRグッズの展示・販売を行い、交流人口の拡大による経済波及効果を高める。
566	熊本県	熊本県玉名郡和水町	道の駅等を拠点とした魅力あるまちづくりプロジェクト	熊本県玉名郡和水町の全域	道の駅きくすいを中心に、カヌー体験ができる菊水カヌー館、キャンプやバーベキューができる江田川水辺公園、古民家宿泊体験や木工やガラス細工などの体験ができる肥後民家村などがあり、町では一歩観光エリアとして整備している。 今回の事業により、菊水カヌー館にウッドテラス、玄関スロープ及び厨房等の整備を行い、カフェ機能の追加及び休憩機能を強化することにより、アウトドアの拠点化を推進し、道の駅等の周辺施設と連携して利用者の滞在時間の延伸と周遊性を高める。
567	熊本県	熊本県阿蘇郡南小国町	町を住みよくなる小さな拠点作りプロジェクト	熊本県阿蘇郡南小国町の全域	既存の施設、総合物産館きよらかの全体的な改修を行う。バリアフリー機能高めるほか、備品を整備し、農産物の加工販売を始めることで、地元高齢者の買い物拠点としての機能を強化。子育て世代にも優しい設備を整え、多世代交流スペースを整備する。また、館内の観光協会も整備し、温泉地を訪れる宿泊客や観光客の温泉地以外への立寄り推進することで、地域への波及効果を高める。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
568	熊本県	熊本県阿蘇郡西原村	「日本一元気な西原村」再生促進プロジェクト	熊本県阿蘇郡西原村の全域	本村は、熊本市圏に近接し、交通アクセスの利便性や自然環境に恵まれ、人口が増加してきた。熊本地震により、基幹産業の被災や観光客入込が減少し、回復に厳しい状況である。このため、新たに人を呼び込みのための、拠点施設を整備し、情報発信・雇用創出に取組み、定住人口の拡大を図ることを目的とするものである。
569	熊本県	熊本県阿蘇郡南阿蘇村	白川水源周辺環境整備事業	熊本県阿蘇郡南阿蘇村の全域	白川水源は、昭和60年には年間130万人を越える観光客が訪れていたが、その後は人口流出により地元地域の衰退・不況により観光客が激減したため、今回、白川水源公園を整備し、周辺の活性化・かつての賑わいを取り戻すための事業である。
570	熊本県	熊本県上益城郡御船町	吉無田高原観光振興プロジェクト計画	熊本県上益城郡御船町の区域の一部(田代地区)	本町では、恐竜博物館や吉無田高原「緑の村」など、子どもが楽しめる地域資源が多く、地方創生加速化交付金を活用して、子ども連れ家族をターゲットに「化石発掘体験」の産業化を目指している。今回、熊本地震の影響で観光客が減少しているが、九州中央自動車道「上野IC(仮称)」が新たにインフラ整備されることで、観光を主体とした交流人口の増加が期待される。新たな人の流れを取り込むためにも、各種団体と連携し、農産物の販売促進や滞在型観光を核とした拠点整備を行うことで、新たな雇用と経済の好循環を創出する。
571	熊本県	熊本県上益城郡嘉島町	嘉島町産業活性化・雇用創造プロジェクト	熊本県上益城郡嘉島町の全域	本町において新しい施設を整備し、複数の施設の機能を1施設に集約することで、施設の維持管理コストの低減を図るとともに、これまでの福祉サービスの提供に加え、ふれあい喫茶、レンタルオフィス及びWEB注文サービスの新たな取組みを継続的に実施できる体制を整えることで、地域産業の活性化や経済の好循環、若い世代の雇用を生み出し、地方創生を実現する。
572	熊本県	熊本県上益城郡益城町	益城町創生「ウーマンドリーム」プロジェクト	熊本県上益城郡益城町の区域の一部(津森地区)	昨年度策定した「四賢婦人記念館を活用した地域ビジョン」を見直し、ふるさと学芸員や地域住民、学校、企業、農家等が連携しながら、女性教育や防災教育を軸に修学旅行生や企業研修等呼び込むことで、交流人口の拡大による経済活性化や雇用創出を図る。その拠点となる「四賢婦人記念館」の機能を拡充し、観光施策や農業、商工、福祉等の各分野を連携し、多様な施策を展開していく。将来的には、物産や観光等のマネジメントとマーケティングを一体的に担う地域商社を設立し、自立的、安定的に経済の好循環を創出する体制を構築する。
573	熊本県	熊本県八代郡水川町	豊かな農産物を核とした農業振興と魅力ある雇用創出プロジェクト	熊本県八代郡水川町の全域	若い世代が地域に留まるためには、基幹産業である農業、商工業といった地域産業が強化され、6次産業化による新たな魅力ある雇用の場の創出が課題となっているなか、農産物の加工技術開発・研修の拠点施設である農産加工研修センターを増築し、水川町まちづくり振興会による地域の農産物を使った特産品開発・製造の取組みを支援することによって、生産者の農業所得の向上、担い手の確保はもとより、新たな魅力ある雇用の創出を目指すものである。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
574	熊本県	熊本県葦北郡津奈木町	つなぎまちブランディングプロジェクト	熊本県葦北郡津奈木町の全域	津奈木町においては、若い世代の進学や就職による人口流出「社会減」が進み、年少人口・生産年齢人口が減少傾向にあり、若い世代の転出を減少させる必要がある。そのため、本町の基幹産業である農林水産業の担い手・労働力の確保や所得を向上させ、安定した雇用の創出をめざすために、町の特産品の販売拠点である物産館グリーンゲイトの施設整備を行い町の魅力を発信していく。
575	熊本県	熊本県球磨郡多良木町	小さな拠点を核とした産業創出プロジェクト	熊本県球磨郡多良木町の区域の一部(久米地域)	公民館の機能を強化・拡充し、山林資源の活用により、一定の副収入を得る仕組みを構築する。安定した雇用を創出することにより、経済的・文化的にも自立した地域社会の実現を目指す。このような地域資源を活かしたローカルビジネスの展開を核として、新たな産業創出を行う。
576	熊本県	熊本県球磨郡多良木町	体験型ツーリズムプロジェクト	熊本県球磨郡多良木町の区域の一部(黒肥地域)	日本遺産をはじめとする社会資源と豊富な農林資源を最大限に活用し、グリーンツーリズムと連携したヘリテージツーリズム活動などを軸に据えた観光振興を図ることで、交流人口の増加を目指すとともに、農林業振興や観光振興による地域経済の活性化に繋げる。観光産業を、地域活性化のための総合産業として機能させるために、公民館を拠点に「見る」観光から「体験」主体への観光へ移行させることを推進する。
577	熊本県	熊本県球磨郡湯前町	終着駅効果と地域資源活用による地域活性化戦略	熊本県球磨郡湯前町の全域	駅周辺を魅力あるエリアとし、施設そのものの収益性を高めたり、周辺施設への経済波及効果を生むため、駅周辺の既存施設の機能改善や機能追加を図るとともに、観光客を受け入れる組織体制の強化を図る。
578	熊本県	熊本県球磨郡湯前町	農産物加工施設を核とした地域資源活性化プロジェクト	熊本県球磨郡湯前町の全域	湯前町農産物加工施設における販売力の強化のため、販売スペース及び貯蔵保管室を増築することにより、生産量及び販売額アップを行う。併せて、地域農産物を活用した特産品や新商品の開発、新規販売先の開拓などについて支援することにより、6次産業化を促進する。加えて、地元食品関係企業と連携し、栗の生産と1次加工を地域で行うことで、農地の有効活用と農工商連携による地域産業の活性化につなげる。
579	熊本県	熊本県球磨郡水上村	水上村岩野地域定住促進再生計画	熊本県球磨郡水上村の区域の一部(岩野地区)	子育て世代のニーズに応じた子育てしながら安心して働くことができる環境を構築し、村外への人口流出に伴う人口減少と定住化による出生数の低下を防ぎ人口減少に歯止めをかける。 地域住民による子どもたちの郷土学習や体験学習への連携を更に充実させ、「地域の子どもは地域で育てる」「将来の水上村を担う子どもたちを育てる」との思いの中で、地域住民や保護者に子どもたちの教育に関心を持ってもらい、親しみやすく地域の住民全体で子育てを支援する地域を目指す。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
580	熊本県	熊本県球磨郡相良村	相性が良くなる村 にぎわい創出事業	熊本県球磨郡相良村の全域	「茶湯里」は、都市と農村の交流を目的とした施設として温泉・プール・宿泊棟・レストラン・物産館・茶室を備えた総合交流施設であり、村の中核施設として機能している。この度、茶室を「離れ」として改修②日本遺産指定による施設の高齢者対応改修③体験ツアーの展開などの事業によって、より幅広い客層からの集客力アップが望めることから、観光・農林水産業・地域内外交流などの拠点として、地域ぐるみの活動を振り起すとともに、物産館では新たに発掘した農作物を販売し、ブランド化も推進することで、村全体の収益力向上を目指しながら、地域経済の活性化を推進していく。
581	熊本県	熊本県球磨郡五木村	五木源(ごきげん)生活プロジェクト	熊本県球磨郡五木村の全域	五木村への人の流れを創出し、また、雇用人材の流出を抑制するため、不足している住居の場として既存の「林業センター」を改修し住居を確保するとともに、村産材の活用と普及啓発活動を実施することで村産材の利用促進が図られ、林業を始めとする労働力の確保に繋がって雇用の創出が図られる。その他、空き家バンクへの登録の呼び掛けを行い、住居確保を進めることにより、移住定住の情報発信や相談会などでの啓発が図れる。本計画では五木村への人の流れを創るとともに、人材の流出を抑制することにより加速化する人口減少をくい止めたい。
582	熊本県	熊本県球磨郡山江村	農山村における地域資源を活用した雇用の創出と地域活性化計画	熊本県球磨郡山江村の全域	稼げる「しごとづくり」の実現に向け、村内農地を有効活用し農産物の生産向上に取り組む。特に特産物である「やまえ栗」のブランド力を強化し、担い手育成、販路拡大・6次産業化など積極的に展開を図る。また、住民が主体となって地域課題に取り組み、自ら解決に向けた地域づくりを進める施策を展開する。併せて村内の伝統建造物や地域文化・活動など地域資源を活用し、交流人口を拡大させるとともに郷土への誇りや愛着を深めることで人口の流出を抑制し地域コミュニティを維持・存続を図り、定住人口の増加に向けた地域活性化に取り組む。
583	熊本県	熊本県球磨郡球磨村	一勝地交流センター整備計画	熊本県球磨郡球磨村の全域	一勝地交流センターにおいて、短時間のうちに多数で来館する傾向にあるラフティング客や外国人観光客に対し、現在の施設では利用できるスペースが狭かったり浴室の給湯不足などといった支障が生じていることから、浴室、レストラン、宴会場、フロント、厨房等各箇所の機能強化等を図り、一時的に増加する入込客にも対応できるよう改修するとともに、球磨村の観光拠点として将来にわたって活躍できる魅力ある施設とする。
584	熊本県	熊本県球磨郡球磨村	一勝地地区賑わい創出計画	熊本県球磨郡球磨村の全域	観光案内所、シルバー人材センター事務所、コミュニティバス停留所、タクシー事業者の営業所等の複合施設としての機能を有し、本村の交流拠点としての役割を担う施設でもある一勝地駅において、観光情報発信スペースの拡充や常設の物販スペース等を設置することで、観光施設や物産施設としての機能をさらに強化し、当該施設及び周辺施設における収益性を向上させ、さらに、チャレンジショップを設置し、常設の物販スペースとは差別化した商品販売することで、新商品のブランド化や意欲のある若者の起業へとつなげていく。
585	熊本県	熊本県球磨郡球磨村	渡地区小さな拠点整備計画	熊本県球磨郡球磨村の全域	渡地区の交通の拠点、球磨川でのラフティング等の観光の拠点となっている施設であり、複合的な施設としても活用している渡駅において、コミュニティバス・JR・タクシーの乗り継ぎの利便性向上と施設全体のバリアフリー化、レンタルオフィスとして活用できるスペースの整備を行い、小さな拠点としての機能をさらに高め、小さな拠点と各集落との間の人の流れを活性化させ、賑わいを創出する。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
586	熊本県	熊本県球磨郡あさぎり町	くるたび幸福 あさぎり町計画	熊本県球磨郡あさぎり町の全域	<p>おかどめ幸福駅周辺は、本町の総合戦略のテーマで掲げる「健康」と「幸福」の「幸福」に関するシンボリック場所であるとともに、町の観光の玄関口となる施設である。今回の施設整備を契機として、この施設を拠点に特産品開発や観光客の誘致に様々な主体が連携して取り組むことで、観光振興を通じたことを創出し、それによって新たな雇用を生み出すもの。</p>
587	大分県	大分県	大分県版第4次産業革命「Oita4.0」推進計画	大分県の全域	<p>IoT、ビッグデータ、人工知能、ロボット・センサーの技術的ブレークスルーを活用する『大分県版第4次産業革命Oita4.0』の取組として、大分県IoT推進ラボ(仮称)を立ち上げ、このラボを中心に、IoT、AIを活用した地域課題解決型プロジェクトを創出する。</p> <p>また、業務用ドローンの開発、テスト、製造、サービス(操縦)の一体化によりドローン産業の集積を図り、西日本の拠点化を目指す。</p>
588	大分県	別府市	敢えて「オフサイド」することをめざしてべっぶ竹の駅(Beppu Bamboo Base)が絆(つな)ぐ伝統的工芸品とインパウンドの連結拠点整備プラン	別府市の全域	<p>別府市竹細工伝統産業会館を竹産業活性化に関する支援機能を具備した施設へと強化整備するとともに、施設の駐車場や空きスペースを活用した竹製品等の販売と飲食機能(「竹カフェ・Bamboo Café)を整備することにより本施設を「べっぶ竹の駅(Beppu Bamboo Base)」として生まれ変わらせ、観光拠点としての機能強化を図ることによって観光による交流人口と竹工芸への購買とをマッチングすることが期待でき、竹産業の収入増加が期待されるとともに、新たな雇用にもつなげることができる。</p>
589	大分県	豊後高田市	昭和の町拠点施設利用促進事業計画	豊後高田市の区域の一部(中心市街地活性化区域)	<p>本市の中心市街地のまちづくりは、「昭和30年代」をコンセプトにまちづくりを進め、商店街の修景事業や図書館、市民に親しまれる中央公園の改修など、ハードとソフト両面でまちづくりに取り組み、全国的にも成功事例として、平成24年度にまち交大賞を受賞している。しかしながら、観光ニーズの変化等により観光客が減少傾向にある。</p> <p>そのため、観光拠点施設の昭和ロマン蔵と中央公園の魅力アップを行い交流人口と移住者数の増加を図り、地域に合った産業振興を推進し、訪れたいくなる、住みたいくなるまちづくりを行う。</p>
590	大分県	宇佐市	子育て世帯移住促進プロジェクト	宇佐市の全域	<p>宇佐市は人口ビジョンに将来総人口5万人を目標に掲げて取り組みを進めているが、過疎化が進展する市内周辺地域への移住促進を図るためには、子育て世帯等の現役世代のUターン者の増大が必要となる。そこで、将来総人口5万人を維持するため、過疎化が進展する市内周辺地域への移住促進を図り持続可能な地域社会の構築するため、子育て世帯をメインターゲットとした新たな取り組みにより、周辺地域の活性化や労働人口の流入により1次産業等の担い手づくりにつなげ、強い地域づくりを目的とするものである。</p>
591	大分県	由布市	地域拠点施設整備による多様な地域参加型活力再生計画	由布市の区域の一部(庄内地域)	<p>周辺の複数集落をひとつのまとまりとする新たな地域コミュニティ組織を設立し、当該地域における旧大津留小学校校舎を組織の拠点施設として整備することで、農産物の再興を起点として、農産物の販売や地元農産物を使用したカフェを開催するなどコミュニティビジネスを展開しながら、特産品開発などにも取り組み、地域の魅力を磨き、地域の活力につなげる。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
592	大分県	大分県東国東郡姫島村	サテライトオフィス等整備推進計画	大分県東国東郡姫島村の全域	<p>本村は、人口約2千人の大分県唯一の一島一村の離島であり、過疎化、少子高齢化や雇用の場の不足等、様々な課題が山積みしている。</p> <p>本村が維持・発展するためには、本村の実情に適した企業誘致を推進し、就業機会の確保及び新たな産業の創出が必要不可欠である。</p> <p>そこで本計画により、IT関連企業やBPO（コールセンター等）など、働き場所にとらわれず、離島でも業務可能なオフィス系企業の誘致を推進するため、オフィスとなる施設を整備するとともに、進出企業の初期投資等に対して支援する。</p>
593	大分県	大分県速見郡日出町	日出町空き工場再生計画	大分県速見郡日出町の区域の一部（川崎工業団地）	<p>日出町が所有する「日本テキサス・インスツルメンツ日出工場」跡地を活用し、空き工場の再生を目指す。本施設を複数の企業が区分して使用できるように整備することで、中小企業などが参入しやすい施設に改修し、空き工場の企業誘致拠点化を目指す。中小企業等の設備投資を促し、企業の生産性を向上させ新たな雇用を生む場として空き工場の再生を目指す。交通アクセスや自然環境等の住環境に恵まれた本町に「しごとをつくり」「人を呼び込む」好循環を促すことで、活力ある発展の町の実現を図りたい。</p>
594	大分県	大分県玖珠郡玖珠町	豊後森機関庫周辺整備事業計画	大分県玖珠郡玖珠町の全域	<p>当町において文化遺産、地方創生拠点である、豊後森機関庫エリアにおいて民間と共同による障がい者等の雇用の場の創出、交流人口増に向けた整備を行う。</p>
595	宮崎県	宮崎県	食品加工研修ラボ整備事業	宮崎県の全域	<p>本県の農産物生産県としてのポテンシャルと農業大学の先駆的取組を基軸に、農業大学校内に、本県の食農産業のイノベーションを起こす場として、農業大学校生、農業高校生、地元食品関連企業、農業者が、本県フードビジネスの現状・課題を共有しながら、食品加工等について学び、また、相互連携、マッチングを行う施設を整備し、県内食品製造業が求める人材の供給と農業者の経営多角化、地元食品関連産業の売上げ拡大を支援することで地域経済の活性化と雇用創出を図る。</p>
596	宮崎県	宮崎県	みやざき地頭鶏種鶏増殖施設整備事業	宮崎県の全域	<p>本県認証ブランド品目である「みやざき地頭鶏」の生産拡大を図るため、県畜産試験場に種鶏増殖施設を整備し、県が行う種鶏供給業務を民間へ移管することで、新たな生産体制によるひな供給拡大を図る。併せて、農家戸数の増加や育成率の向上を推進し、生産量の増加を図るとともに、関連産業との連携により、新たな加工品の開発や海外輸出に取り組み、経済の活性化を図る。</p>
597	宮崎県	宮崎県	ローカルイノベーション促進施設整備事業	宮崎県の全域	<p>本県の特性や強みを生かしたIoT、フードビジネス等の成長産業の育成を図るため、宮崎県工業技術センター・食品開発センターにおいて、今後のIoT推進を見据えた次世代型電波暗室整備及びフード・オープンラボの機能強化を図るための客観的な「おいしさ」評価を実施する官能評価室を整備し、県内ものづくり企業の製品開発力、試験・評価分析能力のさらなる強化やマーケットインの観点からの食品開発を促進する。</p> <p>また、企業がイノベーションを持続的に生み出すための、産学官の連携体制構築による支援等の強化に取り組む。</p>

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
598	宮崎県	延岡市	東九州バス化構想「食」による賑わい創出計画	延岡市の全域	近年、東九州自動車道や九州中央道の延伸により延岡市は本格的な高速道路時代を迎えている。この高速道路の無料区間を共有する大分県佐伯市と連携し、請求力のある「食」を観光の柱とした地域づくり「東九州バス化構想」に取り組んでいる。 このようなコンセプトのもと、「鮎やな」食事棟を「食」の拠点として整備することによって、「鮎」はじめとした本市の「食」の魅力や年間を通じて発信し、ブランド力の向上を図り、交流人口の増加、「食」の関連産業への相乗効果につなげ、地域経済の好循環を生み出す。
599	宮崎県	日向市	JR日向市駅を核とした観光・物産拠点強化プロジェクト	日向市の全域	JR日向市駅に設置している地域情報センター「まちの駅とみたか」は、日向・入郷圏域の情報発信や物産販売、観光交流拠点として期待されているが、スペースが狭小であるため期待する効果が得られていない状況。今回、一般社団法人日向市観光協会が、外国人観光客の受入体制を強化するために、隣接する民間施設に移転・拡充することに伴い、「まちの駅とみたか」を全面的に改修し、日向・入郷圏域の物産販売機能や地域情報発信機能を拡充し、圏域の観光・物産拠点としての機能強化を図り、観光消費の拡大を目指すことを目的とする。
600	宮崎県	えびの市	「アウトドアシティえびの」ブランディング計画	えびの市の全域	自然豊かなえびの市の観光・交流スポットとして連日多くの来場者が訪れる「道の駅えびの」の敷地内に、アウトドア・アクティビティに触れ、楽しむための拠点施設を新たに整備し、アウトドアを含む観光情報の提供、各種アクティビティの紹介や受付、アウトドア用品のレンタルや販売等を行う。また、アウトドアに関する専門的な知見、経験、ネットワークを有する専門家の派遣を受け入れ、幅広くアクティビティ活動を展開することにより、交流人口の拡大と観光振興を通じた地域経済の活性化を図る。
601	宮崎県	宮崎県東諸県郡綾町	綾ユネスコエコパーク「知の拠点」を活かした地域再生計画	宮崎県東諸県郡綾町の全域	「綾ユネスコエコパーク 知の拠点」を整備し観光客等のワンストップ・サービス及びグリーン・ツーリズム、エコ・ツーリズムの実践により「エコパーク」の付加価値を高め、新しい客層の開拓を一体的なプロジェクトとして実施することで、綾の産業観光の新たな魅力を興す。
602	宮崎県	宮崎県東臼杵郡諸塚村	諸塚村地域DMO拠点化計画	宮崎県東臼杵郡諸塚村の全域	諸塚村観光協会では、世界農業遺産に認定された当該地域の自然景観、伝統的な農林業、神話などの豊富な地域資源を活用し、特産品などの自主財源を開発、促進する事業や移住定住のための交流事業の推進によって、地域社会や伝統的な農林業が次世代に継承できる地域づくり組織として、村、自治公民館組織、商工会等の関係団体と協力し、観光客等にワンストップで体験・周遊型観光等の情報提供を行う地域DMOの認定を目指す。あわせてしいたけの館21を改修し、その拠点として、村民および観光客等の利用しやすい施設として活用する。
603	宮崎県	宮崎県東臼杵郡椎葉村	未来へ繋ぐ地域づくりモデル計画	宮崎県東臼杵郡椎葉村の全域	地域のコミュニティ機能に観光や移住・定住を図るための複合的機能を持つ施設を整備し、あわせて地域ごとの状況に応じた地域住民による未来づくりに取り組む環境を整え、住民と行政、地域外からの力が一体として地域の活性化や集落支援、産業の振興等を図り、若者等を含めた居住しやすい環境づくりを行う。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
604	宮崎県	宮崎県東臼杵郡美郷町	美郷町移住・定住促進プロジェクト	宮崎県東臼杵郡美郷町の全域	生産年齢人口減少の対策として、創業支援や企業誘致を推進するほか、様々な産業への新規就業者に対する受入体制を充実するとともに、職業体験・インターンシップ(お試し滞在)を促進し、本町と町内産業の魅力を発信を図るため、移住・定住促進の拠点施設を整備する。
605	鹿児島県	鹿児島県	「鹿児島と世界をつなぐ」国際クルーズ受入観光拠点施設整備による地域活性化計画	鹿児島県の全域	鹿児島県では観光立県の実現に向けて、農林水産業など関連産業を含めた総合産業としての観光振興に集中的に取り組んでいる。 マリナーボートかごしま及び北ふ頭を含む鹿児島港は、活火山の桜島や紺碧の海である鹿児島湾などに類を見ない素晴らしい眺望を有しており、そこに新たに観光拠点施設となるクルーズターミナルを整備し、海外観光客の物販・交流スペース等を設置することなどにより、雇用の創出を図るとともに、多くの外国人観光客が来鹿することで、交流人口の拡大、地域の活性化を図る。
606	鹿児島県	鹿児島県	花き新品種・新技術開発によるかごしまブランド産地育成計画	鹿児島県の全域	全国有数の産地である本県花きについて、生産を取り巻く環境の変化や消費動向等に対応するため、農業開発総合センターの花き研究部門を本部に移転・集約し、バイオテクノロジーなど他の研究部門との連携強化のもと、新たなニーズに対応した新品種の育成や、現場の課題を解決するための新技術開発に取り組む。 研究成果を現場に普及させ、かごしまの花の消費拡大を図ることで、競争力の強いかごしまブランドの産地が育成され、花き生産の担い手確保や雇用の創出により、農業及び関連産業の安定的な成長と地域経済の活性化を目指す。
607	鹿児島県	鹿児島県	スポーツ合宿を通じた交流促進等による地域活性化計画	鹿屋市、垂水市、曾於市及び志布志市並びに鹿児島県曾於郡大崎町並びに鹿児島県肝属郡東串良町、錦江町、南大隅町及び肝付町の全域	大隅地域は、県内でも特に人口減少や高齢化が進んでおり、観光振興にもさまざまな課題を抱え、地域の活力低下が懸念されている。そのため、同地域にある自転車競技場を九州本土で初めての走路周長333.33mトラックに改築することにより、他県の競技場と差別化し、現在整備を進めている大隅陸上競技トレーニング拠点施設をはじめとする県有施設や地元市町の体育施設と連携して、スポーツ合宿誘致の動きを加速することにより交流人口を拡大させ地域全体に大きな経済効果や活性化をもたらす原動力とする。
608	鹿児島県	鹿屋市	菅原小学校跡地利活用による地域活性化計画	鹿屋市の全域	本土最南端の佐多岬に至る美しい海岸沿いに立地し、三方を海に囲まれた素晴らしい景色を有する菅原小学校跡地を官民連携により、体験型スローツーリズムの拠点施設として整備することで、本市の魅力アップにつなげるとともに、当該施設を誘客促進の起爆剤にして、さらなる交流人口の拡大と地域内消費の増加による地域経済の活性化につなげていく。
609	鹿児島県	垂水市	観光交流施設「垂水市南の拠点」エリア開発推進計画	垂水市の区域の一部(浜平地区)	当市は、薩摩半島と大隅半島との海陸運送の要衝にありながら、ただの「通過点」に留まっている現状にあり、地域の経済効果を十分に生み出せていない状況にある。 本計画は、観光交流施設設の駅の事業計画とともに、魅力ある拠点エリアづくりを展開することで、収益性を高める観光戦略を進めることで、「通過点」であった当該地域を、「目的地」へと再生させ、「ヒト」と「モノ」の流れを受け止め、地域経済を刺激することを目的とするものである。

第41回認定 地域再生計画の概要

別紙

番号	都道府県	作成主体名 <small>(地方公共団体名)</small>	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要
新規計画 613件					
610	鹿児島県	鹿児島県鹿児島郡三島村	みしま村農業活性化による地域再生計画	鹿児島県鹿児島郡三島村の全域	<p>島の地域資源(農林資源)を使った特産品を高付加価値化し、島外へ販売することで、地域の活性化を図ることを目的として以下の3つの取り組みを行う。</p> <p>①島の産物をより高く販売するための三島村の地域ブランド構築と島の特産品の共通ブランド化 ②6次産業化の推進と新たな産業創出による雇用の確保、観光資源の開発を目的とした黒島への酒造場建設(特区制度を活用)と芋焼酎の製造と黒島の酒造場での焼酎製造に向けた3島でのサツマイモ生産量の拡大 ③農林水産資源を活用した新たな特産品の開発と販売の開拓、販売</p>
611	鹿児島県	鹿児島県鹿児島郡十島村	十島村多世代交流・地域連携プロジェクト	鹿児島県鹿児島郡十島村の全域	<p>本村は小規模多島村で、介護保険摘要の介護福祉施設・認定保育所等の設置が困難な地域であるが、急激に進む高齢化の中、高齢者の「住み慣れた島々で最後まで過ごしたい。」という強い思いや積極的な定住対策により若い世代の転入が多く、児童・生徒を含め未就学児が増加している中で、子育て世代からの保育支援・放課後の学童などの要望が強く、地域では、高齢者の見守り支援などの介護予防や高齢者の社会参加・支え合い体制づくりを望んでいることから、子どもから高齢者までが集える場所の提供を図る。</p>
612	鹿児島県	鹿児島県大島郡徳之島町	ヘルシーブランド確立拠点整備計画	鹿児島県大島郡徳之島町の全域	<p>琉球大学の学術研究により、機能性が確認された在来作物であるアマシミアザミを乾燥・粉末加工する施設を整備し、健康・美容関連企業へ提供(販売)する体制を構築する。そのことにより、長寿の島である奄美群島のブランドイメージを活用した稼げ農業を確立する。</p>
613	鹿児島県	鹿児島県大島郡知名町	おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点整備事業	鹿児島県大島郡知名町の全域	<p>鹿児島県大島郡知名町は、外海離島としての地理的な不利性に加え、総人口及び若年人口の減少並びに高齢化の進展による各種産業の担い手不足、特殊な気象条件による農作物被害、入込観光客数の低迷、情報通信基盤の格差、各種産業不振による雇用機会の縮小等が恒常化し、地域経済の閉塞感が蔓延している。これら課題に対応する為、多様な主体との連携を促し、それらを有機的に結びつける仕組みを構築することにより、沖永良部発の新産業の創出・既存産業の高付加価値化につなげ、多様な働き方を創出し、人口減少に歯止めをかける。</p>